

学修の手引き

第 4 学 年
(Segment 8)

2022 年度



東京女子医科大学
医 学 部

目 次

東京女子医科大学設立の精神	1
東京女醫學校設立主意	2
序 言	3
東京女子医科大学の目的	5
東京女子医科大学医学部における 4 つのポリシー	6
MD プログラム 2011 について	9
学部教育を通じて達成する医師としての実践力	10
医の実践力_アウトカム・ロードマップ	12
慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ	15
カリキュラムの構造	17
週間の授業予定	18
セグメント 8	
I 学修内容	20
II 到達目標	
A. 包括的到達目標	21
B. 科目別シラバス	
・基幹科目	
<<臨床入門>>	
「麻酔・周術期管理」	24
「救命救急医療」	31
「基本的治療法」	38
「診療の基礎」	46
「入門型臨床実習Ⅱ」	76
「臨床基礎実習」	114
ローテーション表	131
生化学・免疫	134
血液	136
輸血療法	138
病理診断	140
微生物	142
気道管理 /FIRST AID	144
法医 (中毒学)	146

心電図	148
心エコー	150
腹部エコー	152
内視鏡	154
東洋医学	156
医療安全	158
臨床研究	160
CPC	162
放射線診断演習	164
・縦断教育科目	
「至誠と愛」の実践学修	167
「国際コミュニケーション」	190
「健康管理」	200
基礎研究医養成プログラム	205
III Team-based learning (TBL)	207
IV 試験科目・試験日程	213
客観的臨床能力試験 (OSCE)、問題解決能力試験 (P-SAT)	
V リソースパーソン一覧表	217
VI 第4学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員	219
VII 選択科目	221
VIII 講義・実習時間割表	223

東京女子医科大学設立の精神

I. 建学の精神

東京女子医科大学は、1900年（明治33年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952年（昭和27年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998年（平成10年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

II. 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアラシヤ蓋シ一步ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音樂學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ缺點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス淺學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主 鷺山彌生 識

序 言

学 長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは2017年度に改訂されたMDプログラム2011（2011年度1年生より導入）であるが、その原形は1990年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして2018年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MDプログラム2011では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の

改善が行われた。2018年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。

本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第1条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野に必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における 人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第1条 本内規は、東京女子医科大学学則第1条第2項及び東京女子医科大学院学則第1条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第2条 医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

- (1) 「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。
 - (2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。
- 2 医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。
- (1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。
 - (2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における4つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学のおよび臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、チュートリアル、チーム基盤型学修、『至誠と愛』の実践学修の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA (Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT (Computer Based Testing)、OSCE (Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT (Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC (Clinical Clerkship) OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、『至誠と愛』の実践学修評価、チュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（「至誠と愛」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3親等以内の親族に本学医学部同窓会至誠会の会員または準会員がおり、高等学校等の推薦に加えて、至誠会の推薦を受けた者を対象として、面接、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（指定校推薦）では、指定校からの推薦書から本学の建学の精神と理念を理解しカリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーに適性の高い志望者であることを確認し、さらに志望者に対して医師となる使命感、適性、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、「至誠と愛」の理念の下に本学のカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成しようとする強い意思を、面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病

めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 (機関レベル)	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与(卒業)率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与(卒業)率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科 (課程レベル)	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文のIF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果(達成度)を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

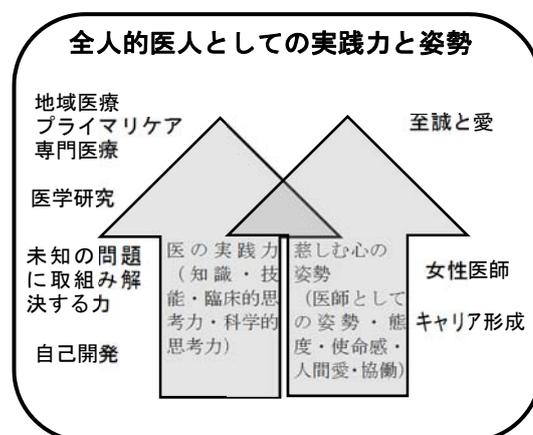
- 1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
- 2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
- 3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
- 4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

- 1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
- 2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
- 3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・チュートリアル教育を通じて学ぶ。
- 4) 医師として人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
- 5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
- 6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
- 7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力

医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する6個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する5個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時まで達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2年）、中学年（3/4年）、高学年（5/6年）で達成すべき具体的な目標をロードマップとして表している。



アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

I 医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力
 - A. 医学的知識を医療に活用できる。
 - B. 診断・治療・予防を実践できる。
 - C. 基本的技能を実践できる。
2. 問題を見つけ追求する力
 - A. 解決すべき問題を発見できる。
 - B. 問題を深く追求できる。
 - C. 未知の問題に取り組むことができる。
3. 問題解決に向け考え実行する力
 - A. 適切な情報を集め有効に活用できる。
 - B. 解決方法を選び実行できる。
 - C. 結果を評価できる。
4. 情報を伝える力
 - A. 患者に情報を伝えることができる。
 - B. 医療情報を記録できる。
 - C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
 - A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
 - B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
 - A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
 - B. 医療倫理を理解し実践できる。
 - C. 研究倫理を理解し実践できる。
 - D. 社会の制度に沿った診療を行える。

II 慈しむ心の姿勢

1. 患者を理解し支持する姿勢
 - A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
 - B. 家族・患者周囲に配慮できる。
 - C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
 - A. 目標を設定し達成するために行動できる。
 - B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。
 - C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
 - D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
 - E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
 - A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
 - B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
 - A. 自分の判断を説明できる。
 - B. グループを先導できる。
 - C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
 - A. 患者に希望を与えられる。
 - B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム・ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1,2年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 人体の正常な構造と機能を説明できる。I-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。I-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。I-1-A-(1-2)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① データを読み解読できる。I-1-B-(1-2)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 実習に必要な技能を実践できる。I-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。I-1-C-(1-2)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。I-2-A-(1-2)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 仮説を導くことができる。I-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。I-2-B-(1-2)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 既知と未知の問題を明らかにできる。I-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。I-2-C-(1-2)-②
3,4年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-① ② 全身の疾患、外的要因による異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。I-1-B-(3-4)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 問題の優先度および重要度を判断できる。I-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。I-2-A-(3-4)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 問題の科学的重要性を評価できる。I-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。I-2-B-(3-4)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 事例から自分の知らないことを発見できる。I-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。I-2-C-(3-4)-②
5,6年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。I-1-A-(5-6)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 臨床推論を実践できる。I-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。I-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。I-1-B-(5-6)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的医療技能を実践できる。I-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。I-1-C-(5-6)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。I-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。I-2-A-(5-6)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者の病態の原因を検索できる。I-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。I-2-B-(5-6)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者から新しいことを学べる。I-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。I-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。I-2-C-(5-6)-③

	3. 問題解決に向け考え実行する力			4. 情報を伝える力		
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。	A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。
1,2年 ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。 I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考慮することができる。 I-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考えられる。 I-3-C-(1-2)-②	① 自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。 I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③	① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。 I-4-C-(1-2)-① ② 相手の理解に合わせて、説明できる。 I-4-C-(1-2)-② ③ 自己学修の結果を適切に伝えられる。 I-4-C-(1-2)-③
3,4年 ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③	① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②
5,6年 ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③	① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-① ② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-②	① 診療録を適切に記載できる。 I-4-B-(5-6)-① ② 処方箋を適切に発行できる。 I-4-B-(5-6)-② ③ 症例要約を作成できる。 I-4-B-(5-6)-③ ④ 死亡診断書記入法を説明できる。 I-4-B-(5-6)-④	① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。 I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④

	5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。	B. 根拠に基づいて診療を行える。	A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。	B. 医療倫理を理解し実践できる。	C. 研究倫理を理解し実践できる。	D. 社会の制度に沿った診療を行える。
1,2年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 現象の原因・機序を検索できる。I-5-A-(1-2)-① ② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。I-5-A-(1-2)-② ③ 情報の信頼度を評価できる。I-5-A-(1-2)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 根拠に基づいて解決法を判断できる。I-5-B-(1-2)-① ② 問題解決の適切性を評価できる。I-5-B-(1-2)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会的規範を守った生活ができる。I-6-A-(1-2)-① ② 学則を守った学生生活ができる。I-6-A-(1-2)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人情報保護について説明できる。I-6-B-(1-2)-① ② 倫理の概念について説明することができる。I-6-B-(1-2)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 研究倫理の概念について述べることができる。I-6-C-(1-2)-① ② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。I-6-C-(1-2)-② 	
3,4年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。I-5-A-(3-4)-① ② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。I-5-A-(3-4)-② ③ 根拠となる文献を検索できる。I-5-A-(3-4)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(3-4)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 医学生の医行為水準を説明できる。I-6-A-(3-4)-① ② 医師法・医療法の概要を説明できる。I-6-A-(3-4)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 医学における倫理の概念を説明できる。I-6-B-(3-4)-① ② 倫理的問題を明らかにできる。I-6-B-(3-4)-② ③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。I-6-B-(3-4)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎研究における倫理指針を概説できる。I-6-C-(3-4)-① ② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。I-6-C-(3-4)-② 	<ul style="list-style-type: none"> ① 社会保障を概説できる。I-6-D-(3-4)-① ② 医療に関する保証制度を概説できる。I-6-D-(3-4)-②
5,6年 ロードマップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。I-5-A-(5-6)-① ② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。I-5-A-(5-6)-② ③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。I-5-A-(5-6)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(5-6)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 病院の規則に従って診療に関われる。I-6-A-(5-6)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。I-6-B-(5-6)-① ② 臨床倫理を実践できる。I-6-B-(5-6)-② ③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。I-6-B-(5-6)-③ 	<ul style="list-style-type: none"> ① 臨床研究の倫理指針を概説できる。I-6-C-(5-6)-① 	<ul style="list-style-type: none"> ① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。I-6-D-(5-6)-①

II 慈しむ心の姿勢—アウトカム・ロードマップ

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応じて研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。
1,2年 ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①	① 学修上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-② ③ 省察(振り返り)を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-① ② 学修のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-①
3,4年 ロードマップ	① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①	① 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学修できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①
5,6年 ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 II-2-A-(5-6)-①	① 研修(実習)する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 II-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べる。 II-2-E-(5-6)-①

	3. 社会に奉仕する姿勢		4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。
1,2年 ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 II-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 II-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 II-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。II-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 II-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。II-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。II-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べることを要約できる。 II-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。II-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。II-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。II-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 II-5-B-(1-2)-②
3,4年 ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。II-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。II-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。II-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 II-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。II-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができる。II-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 II-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②	① 学修する事例について医学の貢献を説明できる。 II-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 II-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II-5-B-(3-4)-②
5,6年 ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 II-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 II-3-B-(5-6)-①	① 診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 II-4-A-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 II-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成員の役割を説明できる。II-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 II-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 II-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 II-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 II-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 II-5-B-(5-6)-③

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を3年後期までに学ぶ。4年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わりを学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして4年後期は、5年の臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、5年の初めから医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。5年から6年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6年後期は、6年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が4もしくは6年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

6年間のカリキュラム全体図

1年	前期 (4月～7月)	セグメント1	人体の基礎	人体の基本的構造と機能/ 人体の防御機構	テ ュ ー ト リ ア ル ・ T B L	「至誠と愛」の実践学修	医療・患者安全学	基本的・医学的表現技術	国際コミュニケーション	A I ・ デ ー タ サイ エ ンス と 医 療	選 択 科 目
	後期 (9月～3月)	セグメント2	人体の機能と 微細構造								
2年	前期	セグメント3	人体の構造と 疾患の基礎	人体の発生と全体構造/ 疾患の成り立ちと治療の基礎							
	後期	セグメント4	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常1	臨床診断総論/循環器系 呼吸器系/腎尿路系/生殖器系/妊娠と分娩							
3年	前期	セグメント5	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常2/ 人の一生	消化器系/内分泌・高血圧系/栄養・代謝系 新生児・小児・思春期/加齢と老化、臨終							
	後期	セグメント6	臓器・器官系の構造と 機能の正常と異常3/ 医学研究	脳神経系/精神系/運動器系/ 皮膚粘膜系/聴覚・耳鼻咽喉系/眼・視覚系							
4年	前期	セグメント7	全身的な変化と医学/ 医療と社会	全身的な変化/医学と社会							
	後期	セグメント8	臨床入門	臨床入門							
5年	前期	セグメント9	医療と医学の 実践	診療参加型臨床実習（研究実習）							
	後期										
6年	前期	セグメント10	全体統合・ 総合達成度評価	卒業試験							
	後期										

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、チュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント 8

「医学・医療と社会／臨床入門」

2022年8月29日～2023年3月3日

I 学 修 内 容

セグメント 8 の基幹科目は、セグメント 7 までの科目で修得した知識を統合して臨床に応用する『臨床入門』となっている。

『臨床入門』では、「麻酔・周術期管理」「救命救急医療」「基本的治療法」「診療の基礎」「臨床基礎実習」および「入門型臨床実習」の各科目を通して、全身管理に関わる医学を学び、5 年生からの診療参加型臨床実習に向けての知識を修得する。なかでも「臨床基礎実習」は、臨床実習で実際に必要な検査の基本的知識を各科で学び、放射線診断演習や CPC 実習で診断に必要な症候から疾患を考える知識を修得する。「診療の基礎」では講義および実習で症候からの臨床判断や臨床技能を修得する。

また、セグメント 8 では、セグメント 7 に引き続き、臨場感を持って問題解決能力を身につけるための学修法である **Team-based learning (TBL)** および「入門型臨床実習」では、症例を基盤として医師の基本能力ともいえる問題指向型診療記録の記載方法、臨床推論や根拠に基づく医療の基礎、チーム医療・患者安全・リスクマネジメント、患者に合わせた診断・治療の実際などを学ぶ。

以上のように、セグメント 8 は、5 年生から始まる医療現場における診療参加型臨床実習を学生自らが積極的に行うための仕上げのカリキュラムである。

II 到達目標

A. 包括的到達目標

1. 麻酔につき基本的知識を述べることができる。麻酔の諸手技法と周術期管理等につき論じることができる。
 - 1) 全身麻酔（吸入、静脈）
 - 2) 神経筋遮断（筋弛緩）
 - 3) 局所麻酔（脊椎、硬膜外、神経ブロック）
 - 4) 周術期管理（呼吸循環系を中心とした合併症管理）
2. 救命救急医療についてその概念および主たる治療・処置について説明することができる。
 - 1) 患者の現場処置と移送
 - 2) 心肺蘇生その他の救急処置
 - 3) 集中治療医学
 - 4) 外傷、臓器不全、ショック状態、中毒等の患者管理
 - 5) 災害医療
 - 6) 救急医療に関わる法的問題
3. 基本的な治療法である手術療法、化学療法、放射線、支持・緩和療法について、腫瘍を対象として説明することができる。併せて、腫瘍についてその病理・病態、発生病因・疫学・予防、主要症候、診断・治療と診療の基本事項を説明することができる。
 - 1) 腫瘍の病理・病態、発生要因、疫学
 - 2) 腫瘍患者の症候と関連する検査
 - 3) 腫瘍の組織・細胞診断、画像診断、遺伝子診断、病期。予後因子
 - 4) 腫瘍と関連する基本的治療：手術療法、化学療法、放射線療法、支持・緩和療法、集学的治療
 - 5) 腫瘍の診療におけるチーム医療
 - 6) 腫瘍の診療における生命倫理
4. 診療参加型臨床実習を行う前の準備状態を完成するため、基本的臨床技能（医療面接法、身体診察法）の手技および態度を身につけ、診断に必要な情報を収集することができ、問題指向型システムに基づいた診療録に記載することができる。また、これまで臓器系・疾患別に学修してきた内容を、症候から患者情報、身体診察、鑑別のための検査などを経て診断にいたるプロセスを習得できるようにする。Evidence-based

Medicine (EBM)を理解し、エビデンスを探して吟味したうえで正しく利用できるようにする。さらに、病院内のチーム医療のあり方、リスクマネジメントについても理解し、適切に行動できるようにする。

- 1) 症候と病態・疾患
- 2) 問題指向型システム (POS) とそれに基づいた診療録 (POMR)
- 3) 医療面接
- 4) 身体診察法
- 5) Evidence-based Medicine (EBM)
- 6) 臨床推論・臨床判断
- 7) チーム医療
- 8) 患者安全・リスクマネジメント

B. 科目別シラバス

科目名	麻酔・周術期管理
科目責任者(所属)	長坂 安子

到達目標	<p>痛みなどの侵害刺激は、それぞれの受容器から神経を上行し、最終的には大脳で痛みとして認知される。麻酔の機序は十分明らかにされていないが、局所麻酔薬は神経内に入り込み膜の内側からNa⁺チャンネルを閉じることによって活動電位を生じなくし痛みの伝導を遮断する。一方全身麻酔薬は、痛みの認知機構に影響を与え、痛みを感じさせなくするのが主たる作用であると考えられている。いずれにしても麻酔科学の大きな部分が、痛みの調節にかかわっていることから麻酔科学の習得には、神経学の知識が要求される。麻酔はまた自律神経系にも大きな影響をおよぼす。Vago-vagal reflexなどはその顕著な例で、麻酔時の循環系や呼吸系の変調は自律神経を介して生ずることが多い。一方、麻酔時に使用される筋弛緩薬は、運動神経ニューロンの終末と筋肉との間でのいわゆる神経-筋遮断作用により、筋の弛緩を惹起する。そしてこの神経筋遮断の現象を理解するためには、神経の解剖のみならず、神経終末部から放出される化学伝達物質の受容体などに関した神経化学や、神経電気生理学や筋の生体化学などの知識も必要となる。</p> <p>麻酔は循環・呼吸・代謝に多彩な影響を与える。これらを理解することは、麻酔科学を学ぶ上で重要である。そしてこの理解のためには循環学、代謝学を始め関連する領域の基礎的知識は当然要求されるが、麻酔科学領域では、主として各種麻酔薬の薬理作用、麻酔法を理解しなければならない。最終目標としては侵害刺激やストレスがいかに生体をむしばむか、そして安全な麻酔はどのようにして得られるのかを理解して欲しい。最終的には、ヒトを全体として捉える全身管理学としての麻酔科学を学んでいく。</p>				
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①</p> <p>診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。 I-3-A-(5-6)-②</p> <p>口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-①</p> <p>必要な患者情報を要約して説明できる。 I-4-C-(5-6)-③</p> <p>病院の規則に従って診療に関われる。 I-6-A-(5-6)-①</p> <p>患者情報の守秘を励行して医療を行える。 I-6-B-(5-6)-①</p> <p>診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 II-4-A-(5-6)-①</p> <p>他者の疑問を共に解決することができる。 II-5-B-(5-6)-②</p>				
学修(教育)方法	講義・実習				
評価方法 (1)総括的評価の対象	「実習参加の態度」20%、「レポートなど提出物」20%、「定期試験」60%				
評価方法 (2)評価項目	<p>1) 麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。 F-2-10)-①</p> <p>2) 麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。 F-2-10)-②</p> <p>3) 麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。 F-2-10)-③</p> <p>4) 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。 F-2-10)-④</p> <p>5) 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。 F-2-10)-⑤</p> <p>6) 局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。 F-2-10)-⑥</p> <p>7) 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。 F-2-10)-⑦</p> <p>8) 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。 F-2-10)-⑧</p>				
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。				
伝達事項	形成的評価(最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価)は知識・技能・態度全般にわたって実習(レポート含む)の際に随時行うので、学修のヒントにして頂きたい。				
教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『Miller's Anesthesia, 9th ed., in 2 vols	M.A.Gropper, L.I.Eriksson, L.A.Fleisher, et al(eds.) 24	Elsevier	9780323596046

	(ミラー麻酔科学』		2019	
2.	『Basics of Anesthesia』	Manuel Pardo MD (著), Ronald D. Miller MD MS (著)	Elsevier	9780323401159
			2017	
3.	『標準麻酔科学 第7版』	古家 仁監修 編集: 稲田 英一 / 森崎 浩 / 西脇 公俊	医学書院	9784260030304
			2018	
4.	『グラフィック麻酔学 臨床が楽しくなる 図・式・表』	長坂安子監訳	メディカルサイエンスインターナショナル	9784815701239
			2018	
5.	『ペインクリニック治療指針 第6版』	日本ペインクリニック学会治療指針検討委員会編	真興交易(株)医書出版部	9784880039275
			2019	
6.	『ICUブック 第4版』	Paul L.Marino著; 稲田英一監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9784895928311
			2015	
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK				

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/30(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	科目の概要 麻酔概論			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)①			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2022/08/31(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	静脈麻酔法			
	担当者(所属)	野原 穂波			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)④			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2022/08/31(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	麻酔前の患者管理			
	担当者(所属)	濱田 啓子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)	3			
4.	2022/09/01(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	ペインクリニックでの疼痛管理			
	担当者(所属)	笹川 智貴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)	4			

5.	2022/09/01(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	小児の麻酔管理			
	担当者(所属)	黒川 智			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)③④⑤⑥,G-4-1)-(3)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/01(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	侵襲医学の中の麻酔科学			
	担当者(所属)	土井 健司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-4)①,F-2-9)-(2)①⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/02(金)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	麻酔器と麻酔回路と気道の確保			
	担当者(所属)	神谷 岳史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/02(金)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	特殊疾患と麻酔			
	担当者(所属)	横川 すみれ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)③,F-2-10)⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/06(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	麻酔後の患者管理			
	担当者(所属)	石川 高			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)⑧⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/06(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	ICUでの重症患者管理			
	担当者(所属)	野村 岳志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)⑨⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/06(火)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	局所麻酔法			
	担当者(所属)	中澤 圭介			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/15(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	吸入麻酔法			

	担当者(所属)	山本 偉			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)④			
	講義資料番号/連番(LMS)			12	
13.	2022/09/15(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	筋弛緩薬			
	担当者(所属)	津久井 亮太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)③			
	講義資料番号/連番(LMS)			13	
14.	2022/09/16(金)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	麻酔中の呼吸・循環・代謝管理			
	担当者(所属)	原村 陽子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)②			
	講義資料番号/連番(LMS)			14	
15.	2022/09/16(金)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	麻酔に関する生理・薬理学的基礎			
	担当者(所属)	岩出 宗代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)			15	
16.	2022/09/21(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	周術期モニター			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(2)②,F-2-10)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)			16	
17.	2022/10/03(月)	1時限	試験	講義室 303	10:00-11:30
	タイトル	麻酔・周術期管理 10:00-11:30 (講義室303)			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			17	
18.	2022/10/03(月)	2時限	試験	講義室 303	10:00-11:30
	タイトル	麻酔・周術期管理 10:00-11:30 (講義室303)			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			18	
19.	2022/11/10(木)	1時限	追・再試験	大実習室 3	10:00-11:30
	タイトル	麻酔・周術期管理 追・再試験 10:00-11:30 (大実習室3)			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出				

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/11/10(木)	2時限	追・再試験	大実習室 3	10:00-11:30
	タイトル	麻酔・周術期管理 追・再試験 10:00-11:30 (大実習室3)			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				20

[麻酔・周術期管理]

大項目	中項目	小項目	備考
I. 麻酔総論	1. 麻酔の機序	1) 全身麻酔の機序 2) 局所麻酔の機序 3) 痛みの生理	
	2. 麻酔と自律神経	1) 麻酔時の自律神経機能変化の各臓器に及ぼす影響 a. 呼吸 b. 循環 c. 代謝 d. その他	
II. 全身麻酔	1. 吸入麻酔	1) 気道 2) 吸入麻酔法 3) 循環式麻酔器 4) 気管麻酔 5) 麻酔深度と MAC 6) 吸入麻酔薬の吸収と排泄	
	2. 静脈麻酔	1) 呼吸管理 2) 循環管理 3) 静脈麻酔法 4) バランス麻酔 5) 各種麻酔法の適応	
III. 神経筋遮断	1. 筋弛緩薬	1) 神経筋遮断の種類 2) 筋弛緩の機序 3) 筋弛緩薬の薬理作用 4) 筋弛緩薬の適応 5) 作用効果に影響を与える因子・疾患	
IV. 局所麻酔	1. 脊椎麻酔	1) 局所麻酔の種類 2) 局所麻酔の適応 3) 脊椎麻酔の解剖と生理 4) 麻酔域 5) 脊椎麻酔の適応	

大項目	中項目	小項目	備考
V. 麻酔のリスクと 安全な管理	2. 硬膜外麻酔 3. 各種神経ブロック 1. 麻酔のリスク 2. 麻酔の安全な管理 3. 麻酔の目的	6) 脊椎麻酔の利点と欠点 7) 脊椎麻酔の合併症 1) 硬膜外麻酔の解剖と生理 2) 麻酔効果に影響を及ぼす因子 3) 硬膜外麻酔の適応 4) 硬膜外麻酔の利点と欠点 5) 硬膜外麻酔の合併症 1) ペインクリニック 2) 在宅ケア 1) 術前回診 2) ASA 分類 3) 前投薬 4) 麻酔法の選択	

科目名	救命救急医療
科目責任者(所属)	矢口 有乃

到達目標	救命救急医療系では、救急医学の基本として、プレホスピタルケアから救急室での診断学と治療学、重症症例の病態学と集中治療医学、災害医学を学ぶ。特に敗血症、急性呼吸窮迫症候群(ARDS)、多臓器不全の病態と集学的治療を基礎医学で学んだ知識を活かして学修する。また救命医療に関わる法的問題を法医学の専門的な知識を取得し理解する。一次救命処置、気道確保をはじめとする応急処置や救急での治療処置、外傷の初期治療を講義と実習で習得する。セグメント9での法人防災訓練においてセグメント8で学んだ災害医学と応急処置の実践を行う前段階の知識、技術の習得となる。その他、救命救急医療で特徴的な特殊環境下での病態学(熱中症、低体温症、高圧環境等)や、中毒学、多発外傷学、救急・手中治療における終末期医療、生命倫理が、組み込まれている。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>②臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>③基本的な臨床技能(適応、実施方法、合併症、注意点)を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>⑥緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。 I-1-C-(3-4)-①</p> <p>①植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>③死亡診断書と死体検案書を作成できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>③ショック(血流分布異常性ショック(アナフィラキシー、感染性(敗血症性)、神経原性)、循環血液量減少性ショック(出血性、体液喪失)、心原性ショック(心筋性、機械性、不整脈)、閉塞性ショック(心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸))を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>⑤臓器不全(多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome <MODS>))を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①敗血症の症候と診断と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①ショック I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>③有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>④重金属、青酸、ヒ素、バラコート、自然毒による中毒を概説できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑤アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑥医薬品による中毒を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>①高温による障害(熱中症)を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>②寒冷による障害を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>④気圧による障害の原因や対処を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>②植物状態と脳死の違いを説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③内因死と外因死について違いと内容を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>⑤診療関連死を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>①ショックの原因と病態生理を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>②ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>③ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>①心停止の原因と病態生理を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p>

	<p>②心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。</p> <p>③心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。</p> <p>①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。</p> <p>②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。</p> <p>③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。</p> <p>③薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。</p> <p>②基本的バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)の意義とモニターの方法を説明できる。</p> <p>⑩集中治療室の役割を概説できる。</p> <p>⑤気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。</p> <p>②主な人工臓器の種類と原理を概説できる。</p> <p>②一次救命処置を実施できる。</p> <p>①緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。</p> <p>環境:熱中症</p> <p>閉塞性:緊張性気胸</p> <p>血液分布異常性:敗血症</p> <p>血液分布異常性:アナフィラキシー</p> <p>呼吸器:緊張性気胸</p> <p>呼吸器:外傷性気胸</p> <p>環境:熱中症</p> <p>環境:寒冷による障害</p> <p>呼吸器:急性呼吸促(窮)迫症候群<ARDS></p> <p>①経皮的酸素飽和度を測定できる。</p> <p>②一次救命処置を実施できる。</p> <p>③二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。</p> <p>①呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。</p> <p>⑥地域の災害医療体制について学ぶ。</p>	<p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-C-(3-4)-②</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-①</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-①</p> <p>I-1-B-(3-4)-③</p>
学修(教育)方法	講義・実習	
評価方法 (1)総括的評価 の対象	「実習参加の態度と理解度」「定期試験」	
評価方法 (2)評価項目	<p>救急医療における法的問題を理解できている。</p> <p>ショックの病態と診断を理解し、説明できる。</p> <p>多発外傷の初療を理解できる。</p> <p>応急処置や救急処置を説明できる。</p> <p>多臓器不全の病態と治療を理解できる。</p> <p>中毒の病態と治療を理解できる。</p> <p>特殊環境下の病態と治療を理解できる。</p>	<p>E-9-1)</p> <p>F-1-5)</p> <p>F-1-37)</p> <p>F-3-6)-(4)</p> <p>E-2-1)</p> <p>E-5-3)</p> <p>E-5-3)</p>
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
伝達事項	形成的評価(最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価)は知識・技能・態度全般にわたって、講義、実習の際に随時行うので、学修のヒントにしていきたい。	

教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
	1.	『改訂第4版 救急診療指針』	日本救急医学会	へるす出版	978-4-89269-725-8
				2011	
	2.	『集中治療医学』	日本集中治療医学会編集	学研メディカル秀潤社	9784879622396
				2001	
3.	『外傷初期診療ガイドライン』	日本外傷学会	へるす出版	4892698989	
			2017		
4.	『改訂第4版日本救急医学会ICLSコースガイドブック』	日本救急医学会	羊土社	4758118000	
			2016		

添付ファイル
※3つまで、1
ファイルにつき
5MBまで、圧
縮ファイルOK

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/02(金)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	救急医学総論			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)①,E-9-1)②⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2022/09/07(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	応急処置			
	担当者(所属)	武田 宗和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-5)①②③,F-3-6)-(4)①②,G-2-6)			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2022/09/07(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	心肺蘇生法			
	担当者(所属)	武田 宗和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)	3			
4.	2022/09/08(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	救急医療の治療手技			
	担当者(所属)	久保田 英			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-10)⑤,F-3-6)-(4),G-3-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)	4			
5.	2022/09/08(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	中毒(1)			

	担当者(所属)	並木 みずほ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	G-3-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/08(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15:16:25
	タイトル	中毒(2)			
	担当者(所属)	並木 みずほ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-8)⑥⑦⑩,B-2-1)②③④,E-9-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/09(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	集中治療医学総論			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-5-3)-(2)①-④,G-2-10)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/12(月)	5時限	講義	講義室 303	15:15:16:25
	タイトル	急性呼吸不全			
	担当者(所属)	野村 岳志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1),3),4) D-8-3)-(2), E-2-3), E-4-2), E-5-2), F-1-15), G-2-15)			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/12(月)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	敗血症と多臓器不全			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)③⑤,E-2-1)① D-6-4)-(4)②,F-2-9)-(2)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/13(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	救急医療の診断学と症候学			
	担当者(所属)	久保田 英			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-4)-(2)④,F-1-5)①②③,G-2-5),G-2-15)			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/14(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	救急医療に関わる法的問題			
	担当者(所属)	木林 和彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-5-3)-(1)①②③,G-2-8)			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/14(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	災害医学			
	担当者(所属)	武田 宗和			
	コアカリキュラム/S10国試出	E-5-1),E-5-3)-(1)④⑤⑥			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/09/15(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	ECMO			
	担当者(所属)	市場 晋吾			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(4), E-4-2), E-5-2), F-1-5),15), F-2-12), G-2-15)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/09/21(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	外傷学			
	担当者(所属)	武田 宗和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-37)①②③,G-2-15),G-2-37)			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/09/26(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	特殊救急			
	担当者(所属)	久保田 英			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-7)①②③,F-1-8)①②③,F-1-9)①②③,F-1-15)①②③,F-1-16)①②③,F-1-20)①②③,F-1-33)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/10/05(水)	1時限	試験	講義室 303	10:00-11:30
	タイトル	救命救急医療 10:00-11:30 (講義室303)			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/10/05(水)	2時限	試験	講義室 303	10:00-11:30
	タイトル	救命救急医療 10:00-11:30 (講義室303)			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/11/10(木)	5時限	追・再試験	大実習室 3	15:00-16:30
	タイトル	救命救急医療 追・再試験 15:00-16:30 (大実習室3)			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/11/10(木)	6時限	追・再試験	大実習室 3	15:00-16:30
	タイトル	救命救急医療 追・再試験 15:00-16:30 (大実習室3)			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				19

[救命救急医療]

[総論]

大項目	中項目	小項目	備考
I . 救急治療、処置	1. 救急医療の概念	1) 救急医療 2) 集中治療 3) 救急医療に関わる法的問題	法医学
	2. 心肺蘇生	1) 気道確保 2) 気道内異物 3) 人工呼吸 4) 心停止とその処置 5) 静脈確保 6) 除細動 7) 酸素療法 8) 脳蘇生 9) 薬物 10) 急性血液浄化法	
	3. 疾患別の救急治療・処置		
	4. 急性中毒の治療・処置		
	5. 症状別の救急処置	1) 意識障害 2) ショック 3) 呼吸困難 4) 食道・気道異物 5) 急性腹症 6) 吐下血 7) 嘔吐 8) 下痢 9) 咬傷、他 10) 誤飲、誤嚥	
II . 損傷の治療、処置	1. 多発外傷の治療、管理の基礎		
III . 重症患者の管理の基礎	1. ショック、出血、凝固・線溶系異常	1) ショック 2) 敗血症 3) MOF 4) DIC	
IV . 臓器不全			
V . 中毒	1. 発生要因 2. 病態生理		

[各 論]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
I . 損傷	1. 胸部外傷 flail chest		
	2. 気管・気管支異物		
	3. 機械的窒息		
	4. 腹部外傷	1) 消化管、肝、脾、他	
	5. 四肢・骨盤外傷		
II . 物理的原因による疾患	1. 低温、高温環境による疾患	1) 熱中症、異常低温による障害	
	2. 事故による障害	1) 誤嚥、溺水、墜落	
III . 薬物中毒	1. 睡眠薬・向精神薬		
	2. 麻薬		
	3. 覚醒剤		
IV . その他の中毒	1. 金属中毒		
	2. ガス中毒		
	3. 有機溶剤中毒		
	4. 有機化合物中毒		
	5. 無機化合物中毒		
	6. 農薬中毒		
	7. 酸・アルカリ中毒		
	8. 家庭用品による中毒		
V . 臓器障害	1. 急性腎不全		
	2. 急性肝不全		
	3. ARDS		
	4. 脳死と植物状態		
	5. 凝固・線溶異常		
VI . 災害医療	1. 災害医療		
	2. トリアージ		

科目名	基本的治療法
科目責任者(所属)	長嶋 洋治

到達目標	基本的な治療法である手術療法、化学療法、放射線療法、支持・緩和療法などについて、腫瘍を主な対象として学修し、さらに、輸血・血液製剤や医療機器にその知識を広めて行くようカリキュラムが組まれている。また、腫瘍について、その病理病態から発生要因、分子生物学的概念を整理して学び、治療法との関連を理解しやすいように工夫されている。腫瘍の基本的な事項を再確認し、各種の治療法に対する基本的な考え方を習得することにより、病院実習で接する具体的な治療法を理解することを目標とする。			
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	適切な治療法とその根拠を説明できる。	I-1-B-(3-4)-②		
学修(教育)方法	-			
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。			
評価方法 (2)評価項目	1)腫瘍の定義と病態を説明できる。	E-3-1)①		
	2)腫瘍の症候を説明できる	E-3-1)②		
	3)腫瘍のグレード、ステージを概説できる	E-3-1)③		
	4)腫瘍の検査所見を説明できる。	E-3-2)①		
	5)腫瘍の画像所見や診断を説明できる。	E-3-2)②		
	6)腫瘍の病理所見や診断を説明できる。	E-3-2)③		
	7)腫瘍の集学的治療を概説できる。	E-3-3)①		
	8)腫瘍の手術療法を概説できる。	E-3-3)②		
	9)腫瘍の放射線療法を概説できる。	E-3-3)③		
	10)腫瘍の薬物療法(殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬)を概説できる。	E-3-3)④		
	11)腫瘍の生物学的療法を概説できる。	E-3-3)⑤		
	12)腫瘍における支持療法を概説できる。	E-3-3)⑥		
	13)腫瘍における緩和ケアを概説できる。	E-3-3)⑦		
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。			
伝達事項	-			
教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年
	1.	『添付ファイル参照』		ISBN
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK				

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/05(月)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	化学療法の基本理論			
	担当者(所属)	出雲 渉			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/05(月)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	栄養の基本と病態栄養			
	担当者(所属)	小木曾 智美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-5)②③,D-7-1)①-⑯			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/09(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	放射線療法			
	担当者(所属)	唐澤 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)④⑥,E-6-2)③,F-2-5)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/09(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	RI内用療法			
	担当者(所属)	金子 恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-3)③,E-6-2)②③④⑤,F-2-5)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/14(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	心理的支持と精神症状への対応			
	担当者(所属)	赤穂 理絵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-3)⑥⑦,F-2-16)①②③⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/16(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	手術療法(免疫療法を含む)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-2)-(4),D-7-4)-(8)③⑤⑥,E-3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/16(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	栄養評価と栄養管理			
	担当者(所属)	小川 真平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-11)①②③④			

	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/16(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	癌の疫学と予防			
	担当者(所属)	野原 理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-4)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/20(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	集学的治療、癌治療の現状			
	担当者(所属)	小藤 昌志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1)④⑥,E-6-2)③,F-2-5)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/20(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	緩和ケア			
	担当者(所属)	中島 豪			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-16)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/21(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	癌治療に必要な分子生物学の基本			
	担当者(所属)	塚原 富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)①②⑤⑥,D-1-4)-(4)③⑨,E-3-3)④,F-2-8)⑥⑫			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/22(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	臨床化学療法総論			
	担当者(所属)	倉持 英和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-6)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/09/26(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	腫瘍の病理・病態と発生要因			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-3-1)①②③,E-3-2)①③,C-4-6)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/09/26(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	腫瘍の臨床的診断、緩和療法			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)①-④,C-4-6)①-⑥,E-3-3)①-⑦,E-3-4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/09/27(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10

	タイトル	血液製剤の取り扱い、適正輸血、輸血副作用			
	担当者(所属)	檜澤 大樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-13)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/09/27(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	自己血輸血、成分採血、臓器移植と輸血			
	担当者(所属)	小林 博人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-13)⑤-⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/09/27(火)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	リハビリの目的・方法、ADL、装具			
	担当者(所属)	若林 秀隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(1),D-4-4)-(1)⑮,E-8-1)④⑥⑩,F-2-14)①-⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/09/28(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	トータルペインの治療			
	担当者(所属)	中島 マリア美知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-16)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/09/29(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	医療機器の種類と原理			
	担当者(所属)	亀井 大悟			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-12)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/09/29(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	人工臓器の種類と原理			
	担当者(所属)	亀井 大悟			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-12)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/10/04(火)	1時限	試験	-	10:00-11:30
	タイトル	基本的治療法 10:00-11:30(303講義室)			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/10/04(火)	2時限	試験	-	10:00-11:30
	タイトル	基本的治療法 10:00-11:30(303講義室)			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	22			
23.	2022/11/10(木)	3時限	追・再試験	—	13:00-14:30
	タイトル	基本的治療法 追・再試験 13:00-14:30(大実習室3)			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/11/10(木)	4時限	追・再試験	—	13:00-14:30
	タイトル	基本的治療法 追・再試験 13:00-14:30(大実習室3)			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24

[基本的治療法]

大項目	中項目	小項目	備考
I. 腫瘍の基礎と臨床	1. 病理・病態	1) 腫瘍の定義・概念	
		2) 良性腫瘍・悪性腫瘍	
		3) 上皮性腫瘍・非上皮性腫瘍	
		4) 転移・浸潤	
	2. 発生要因	1) 遺伝的要因	
		2) 外的要因	
		3) がん遺伝子とがん抑制遺伝子	
		4) シグナル伝達	
		5) アポトーシス	
		6) 染色体異常	
	3. 疫学	1) 癌の疫学	
		2) 臨床試験	
	4. 症候・診断	1) 症状	
		2) 検査	
		3) 組織診断・細胞診断	
		4) 画像診断	
5) 遺伝子診断			
6) 腫瘍マーカー			
7) 病期分類			
8) 予後因子			
II. 腫瘍の治療	1. 治療	1) 手術療法	
		2) 化学療法	
		3) 放射線療法	
		4) 緩和療法	
		5) 支持療法	
		6) 集学的治療	
		7) リハビリテーション	
	2. 診療	1) チーム医療	
		2) 生命倫理	
	3. 医用機器と血液製剤	1) 医療機器の種類と原理	
		2) 人工臓器の種類と原理	
		3) 輸血	
		4) 血液製剤	

【参考図書】

No.	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN
1.	放射線治療物理学	荒木不次男編著 日本医学物理学会監修	国際文献社	2016	9784902590562
2.	リエゾン精神医学とその治療学（新世紀の精神科治療 4）	山脇成人担当編集	中山書店	2009	4521680216
3.	がん診療レジデントマニュアル 第7版	国立がんセンター内科レジデント編	医学書院	2016	978-4260027793
4.	Image-guided IMRT : concepts and clinical applications	Bortfeld, T	Springer	2005	9783540205111
5.	Late effects of cancer treatment on normal tissues	Rubin, P	Springer	2008	9783540490692
6.	精神腫瘍学クイックリファレンス	小川朝生, 内富庸介編	創造出版	2009	
7.	Technical Manual	Mark K. Fung	American Association of Blood Banks	2005	9781563958885
8.	最新リハビリテーション医学	石神重信[ほか]編集	医歯薬出版	2005	4263212843
9.	現代リハビリテーション医学	千野直一編	金原出版	2009	9784307251426
10.	イラストで見る医療機器早わかりガイド	小野哲章, 廣瀬稔著	学研メディカル秀潤社	2010	9784780908237
11.	Robbins and Cotran pathologic basis of disease	Vinay Kumar	Elsevier	2015	9781455726134
12.	組織病理アトラス 第6版	深山正久 [ほか] 編集	文光堂	2015	9784830604768
13.	「がんをくすりで治す」とは? : 役に立つ薬理学 (朝日選書 813)	丸義朗著	朝日新聞社	2007	4022599131
14.	実験医学 : 癌のシグナル伝達が変わる	山本雅, 仙波憲太郎編集	羊土社	2005	489706967X
15.	実験医学 : 癌と微小循環		羊土社	2009	
16.	がん研究のいま 1 : 発がんの分子機構と防御	笹月健彦, 野田哲生編	東京大学出版会	2006	4130642413
17.	がん研究のいま 2 : がん細胞の生物学	高井義美, 秋山徹編	東京大学出版会	2006	4130642421
18.	がん研究のいま 3 : がんの診断と治療	中村祐輔, 稲澤譲治編	東京大学出版会	2006	413064243X
19.	がん研究のいま 4 : がんの疫学	田島和雄, 古野純典編	東京大学出版会	2006	4130642448
20.	放射線基礎医学 第12版	青山喬, 丹羽太貫編著	金芳堂	2013	9784765315593
21.	新臨床腫瘍学(改訂第5版): がん薬物療法専門医のために	日本臨床腫瘍学会編集	南江堂	2018	9784524237883
22.	臨床・病理脳腫瘍取扱い規約 第4版	日本脳神経外科学会, 日本病理学会編	金原出版	2018	9784307203852
23.	がん・放射線療法2017	大西洋, 唐澤久美子, 唐澤克之編著	学研メディカル秀潤社	2017	9784780909432
24.	がんをどう考えるか : 放射線治療医からの提言	三橋紀夫	新潮社	2009	9784106102950
25.	放射線と健康	館野之男著	岩波書店	2001	4004307457
26.	Perez and Brady's Principles and Practice of Radiation Oncology 6th ed.	Edward C. Halperin, Carlos A. Perez, Luther W. Brady	Lippincott Williams & Wilkins	2013	9781451116489
27.	Clinical radiation oncology	Gunderson, LL	Elsevier	2015	9780323240987
28.	Radiobiology for the Radiologist	Hall, EJ	Lippincott Williams & Wilkins	2012	9781608311934
29.	cancer : principles and practice of oncology	Vincent T. DeVita, Jr., Samuel Hellman, Steven A. Rosenberg	Lippincott Williams & Wilkins	2011	9781451192940
30.	放射線治療計画ガイドライン	日本放射線腫瘍学会編	金原出版	2012	9784307070928
31.	前立腺癌放射線治療のすべて (臨床放射線51巻別冊)		金原出版	2006	
32.	がん転移 : 臨床と研究の羅針盤	丸義朗監修	秀潤社	2010	9784780908268
33.	NEW予防医学・公衆衛生学 (Nankodo's essential well-advanced series)	岸玲子 [ほか] 編	南江堂	2012	9784524263158

34.	三輪血液病学	浅野茂隆, 池田康夫, 内山卓監修 ; 大野仁嗣 [ほか] 編集	文光堂	2005	4830614196
35.	Mollison's Blood Transfusion in Clinical Medicine	Harvey G. Klein, David J. Anstee	Wiley-Blackwell	2014	9781405199407
36.	人工臓器イラストレイティッド	日本人工臓器学会編集	はる書房	2007	9784899840800
37.	人工臓器・再生医療の最先端	西田博 [ほか] 編集委員 ; 許俊鋭, 斎藤明, 赤池敏宏 編集主幹	寺田国際事務所/先端医療技術研究所	2005	9784925089456
38.	人工臓器は、いま：暮らしのなかにある最先端医療の姿	日本人工臓器学会編	はる書房	2003	4899840454
39.	MEの基礎知識と安全管理	生体医工学会ME技術教育委員会編	南江堂	2014	9784524269594
40.	臨床工学講座 (シリーズ)	日本臨床工学技士教育施設協議会編	医歯薬出版	2008-	
41.	核医学検査技術学	佐々木雅之, 桑原康雄 編	南山堂	2015	9784525279431
42.	やさしくわかる放射線治療学	公益社団法人日本放射線腫瘍学会 監修	学研メディカル秀潤社	2018	9784780909753
43.	緩和ケアレジデントマニュアル	森田 達也	医学書院	2016	978-4260025447
44.	専門家をめざす人のための緩和医療学	日本緩和医療学会 編集	南江堂	2014	978-4524269440
45.	核医学安全基礎読本③	渡邊直行	医療科学社	2019	978-4860031145

科目名	診療の基礎
科目責任者(所属)	板橋 道朗

到達目標	<p>病院実習に出る前の準備状態を完成するため、基本的臨床技能(医療面接法、身体診察法)の手技および態度を身につけ、診断に必要な情報を収集することができ、問題志向型システムに基づいた診療録に記載することができる。また、これまで臓器系・疾患別に学修してきた内容を、症候から患者情報、身体診察、鑑別のための検査などを経て診断にいたるプロセスを習得できるようにする。Evidence-based Medicine (EBM)を理解し、エビデンスを探して吟味したうえで正しく利用できるようにする。さらに、病院内のチーム医療のあり方、リスクマネージメントについても理解し、適切に行動できるようにする。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>② 全身の疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-② ④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④</p> <p>① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p> <p>① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②</p> <p>① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つめることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p> <p>① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②</p> <p>① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②</p> <p>① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③</p> <p>① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-① ② POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②</p> <p>① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②</p> <p>① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-① ② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-② ③ 根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p> <p>① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I-5-B-(3-4)-①</p> <p>① 医学生の医行為水準を説明できる。 I-6-A-(3-4)-① ② 医師法・医療法の概要を説明できる。 I-6-A-(3-4)-②</p>
学修(教育)方法	講義・実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。
評価方法 (2)評価項目	<p>1) 頻度の多い症候から、原因となる病態・疾患を挙げて説明できる。 F-1-1)~F-1-36)、F-2-1)、F-3-4)</p> <p>2) 問題志向型システム(POS)に基づいた診療録(POMR)を記載できる。 F-3-3)</p> <p>3) 患者の苦痛や気持ちに配慮した医療面接を行い、必要な病歴を収集できる。 F-3-2)</p> <p>4) 身体診察の基本を習得し実践できる。 F-3-5)</p> <p>5) EBMを理解し、エビデンスを正しく利用できる。 F-2-2)</p>

	6) チーム医療の在り方を理解し説明できる。	G-1-1)-(1)			
	7) 医療安全の重要性を理解し、リスクマネジメントについて適切に行動できる。	G-1-1)-(1)			
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。				
伝達事項	診療の基礎実習では、主に技能と態度について形成的評価を随時行うので、学修のヒントにしていただきたい。				
教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『医療面接の基本』	津田司著	日経BP社 2000	4822226352
	2.	『ナース専科BOOKS:こうすればできる安全な看護』	東京医科大学病院看護部安全対策委員会監修	エス・エム・エス(インプレス) 2005	9784938936648
	3.	『医療が安全であるために:NDPが進める医療安全の取り組み vol.3危険予知の技法:KYTと5S』	武田薬品	武田薬品工業 2006	
	4.	『診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学修評価項目』	医療系大学間共用試験実施評価機構	2017	
	5.	『診察と手技がみえる Vol.1 Vol.2』	古谷伸之編集	Medic Media 2007	4896321324 9784896323238
	6.	『診察診断学』	橋本信也, 福井次矢編集	医学書院 1998	4260138383
	7.	『内科診断学 第三版』	編集 福井 次矢 / 奈良 信雄	医学書院 2016	978-4-260-02064-0
	8.	『基本的身体診察法 1 全身状態の観察とバイタル・サイン、および上肢の診察』	伴信太郎原案解説	メディカル情報センター 1999	
	9.	『基本的身体診察法 2 頭頸部の診察』	伴信太郎原案解説	メディカル情報センター 1999	
	10.	『基本的身体診察法 3 胸部の診察』	伴信太郎原案解説	メディカル情報センター 1999	
	11.	『基本的身体診察法 4 腹部と下肢の診察』	伴信太郎原案解説	メディカル情報センター 1999	
	12.	『基本的身体診察法 5 神経系の診察』	伴信太郎原案解説	メディカル情報センター 1999	
	13.	『医療におけるヒューマンエラー』	河野龍太郎著	医学書院 2014	9784260019378
14.	『医療安全ワークブック』	川村治子著	医学書院 2008	9784260006149	
添付ファイル ※3つまで、1					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/30(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(1)オリエンテーション・便秘・下痢			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)-(2)⑥,D-7-4)-(1)①②③,D-7-4)-(2)①,D-7-4)-(3)③④⑥⑦⑫⑬⑭,D-7-4)-(8)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/08/30(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(2)頭痛			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)④,F-1-33)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/08/31(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(3)脱水			
	担当者(所属)	佐藤 寿彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/08/31(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(4)発熱			
	担当者(所属)	志関 雅幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-1)①②③,F-2-1)①-⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/08/31(水)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	症候と病態・疾患(5)咳・痰			
	担当者(所属)	八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3)-(2)④,F-1-13)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/08/31(水)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	症候と病態・疾患(6)リンパ節腫脹			
	担当者(所属)	志関 雅幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-3)⑥,D-1-4)-(4)⑧,F-1-27)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/01(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(7)体重減少・体重増加			

	担当者(所属)	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)①②③⑤,C-4-3)⑥,D-5-3)④,D-12-3)-(3)①,F-1-4)①②③,F-2-1)②,F-3-1)③,F-3-2)③,F-3-5)-(2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/01(木)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	症候と病態・疾患(8)貧血			
	担当者(所属)	志閑 雅幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-1)①②③⑥,D-1-2)①②,D-1-3)④,D-1-4)①-⑤,F-1-26)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/02(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(9)腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤			
	担当者(所属)	井上 雄志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)-(1)①②,D-7-3)-(2)⑦,D-7-4)-(3)②,D-7-4)-(8)⑥⑦,D-9-3)-(4)③,D-10-1)①②③④,D-10-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/02(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(10)吐血・下血			
	担当者(所属)	小川 真平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)-(2)⑥,D-7-4)-(1)①②③,D-7-4)-(2)①,D-7-4)-(3)③④⑥⑦⑫⑬⑭,D-7-4)-(8)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/02(金)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(11)浮腫			
	担当者(所属)	佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑧⑫,D-5-3)⑨,D-8-3)②,E-2-3)⑩,E-4-2)⑦,F-1-11)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/05(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(12)けいれん			
	担当者(所属)	丸山 健二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/09/05(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(13)悪心・嘔吐			
	担当者(所属)	中村 真一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)-(2)③,D-10-2)②,D-13-3)-(2)③,E-2-3)⑩,E-5-2)⑫,F-1-21)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/09/05(月)	6時限	講義	講義室 303	16:35-17:45
	タイトル	症候と病態・疾患(14)ショック			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①-⑤,F-1-5)①②③			

	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/09/06(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(15)月経異常			
	担当者(所属)	中林 章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-2)-(2)①③,D-9-3)-(4)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/09/06(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(16)食思(欲)不振			
	担当者(所属)	岩崎 直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)④,F-1-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/09/06(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	症候と病態・疾患(17)全身倦怠感			
	担当者(所属)	岩崎 直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-3)②,F-1-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/09/07(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(18)嚥下困難・障害			
	担当者(所属)	岸野 真衣子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)⑤,D-5-3)⑬,D-7-1)⑭,D-14-1)④,D-14-3)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/09/07(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(19)不安・抑うつ			
	担当者(所属)	赤穂 理絵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-15-2)①,D-15-3)⑤⑥⑦,F-1-31)①②③,G-2-31)			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/09/08(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(20)もの忘れ			
	担当者(所属)	押淵 英弘			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(2)①②,D-15-3)②,F-1-32)①②③,G-2-32)			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/09/08(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(21)尿量・排尿の異常			
	担当者(所属)	飯塚 淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)①-④,F-1-28)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/09/12(月)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40

	タイトル	症候と病態・疾患(22)血痰・咯血			
	担当者(所属)	八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3)-(2)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/09/12(月)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(23)呼吸困難			
	担当者(所属)	八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/09/13(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(24)発疹			
	担当者(所属)	石黒 直子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-3-1)①,D-3-3)①,D-3-4)-(1)①,D-3-4)-(2)①,D-3-4)-(4)①,D-3-4)-(7)①②⑤,E-4-3)-(3)①,E-4-3)-(4)①②,E-4-3)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/09/14(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(25)腰背部痛①			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-3)③,D-5-3)⑱,E-2-3)⑲,F-1-35)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/09/15(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(26)運動麻痺・筋力低下			
	担当者(所属)	吉澤 浩志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①,D-2-1)-(2)①,D-2-1)-(5)①,D-2-3)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/09/15(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(27)胸痛			
	担当者(所属)	佐藤 加代子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3),E-2-3),F-1-16),G-2-16)			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/09/20(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(28)意識障害・失神			
	担当者(所属)	北川 一夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-4)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/09/20(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(29)動悸			
	担当者(所属)	柳下 大悟			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/09/20(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	症候と病態・疾患(30)関節痛・関節腫脹			
	担当者(所属)	川口 鎮司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-4-2)-①,D-4-3)-②			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/09/21(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(31)胸水			
	担当者(所属)	赤羽 朋博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3)-(2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/09/26(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	医療安全(1)医療安全とチーム医療			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4-2)①③④,A-5-1)①-④,A-7-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/09/27(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(32)血尿・タンパク尿			
	担当者(所属)	佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)③,D-9-3)③,F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/09/27(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(33)外傷・熱傷			
	担当者(所属)	久保田 英			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)③,D-9-3)③,F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2022/09/27(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	医療安全(2)インシデント・アクシデントレポートと原因分析			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)①-⑥,A-6-2)①②④			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2022/09/28(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	医療安全(3)ヒューマンエラー			
	担当者(所属)	加藤 多津子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)②			

	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/09/28(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	医療安全(4)ノンテクニカルスキル~KYT/team STEPPS~			
	担当者(所属)	加藤 多津子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①,③,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/09/28(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(34)腰背部痛②			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-3)①③,D-4-4)-(1)⑪⑫⑬⑭,D-5-3)⑱,F-1-35)①②,F-3-5)-(7)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/09/29(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	症候と病態・疾患(35)黄疸			
	担当者(所属)	有泉 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-24)①②③,G-2-24)			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/09/29(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	症候と病態・疾患(36)腹痛			
	担当者(所属)	有泉 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-20)①②③,F-1-25)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2022/09/30(金)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	症候と病態・疾患(37)めまい			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-3)③,F-1-9)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2022/09/30(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	症候と病態・疾患(38)心停止			
	担当者(所属)	嵐 弘之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2022/10/06(木)	1時限	試験	—	10:00-12:00
	タイトル	診療の基礎 10:00-12:00 (講義室303)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				106
44.	2022/10/06(木)	2時限	試験	—	10:00-12:00

	タイトル	診療の基礎 10:00-12:00(講義室303)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				107
45.	2022/10/17(月)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	EBM 情報の適応、診療行動の決定、フィードバック			
	担当者(所属)	岡本 高宏			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
46.	2022/10/17(月)	6時限	実習	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	EBM 情報の適応、診療行動の決定、フィードバック			
	担当者(所属)	岡本 高宏			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				61
47.	2022/10/27(木)	3時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	診察法・診断法(1)オリエンテーション・POMR			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-1)①-⑧,F-3-2)①②④,F-3-3)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
48.	2022/10/27(木)	4時限	講義	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	診察法・診断法(2)全身状態・バイタルサイン			
	担当者(所属)	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)③⑧,A-4-2)⑦,A-6-1)⑦,C-5-7)⑥,E-2-4)-(5)②,F-3-2)①②④,F-3-3)④,F-3-5)-(1)③,F-3-5)-(2)②-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
49.	2022/10/27(木)	5時限	講義	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	診察法・診断法(3)基本的臨床手技① 速乾性アルコールによる手指消毒、滅菌手袋の装着と廃棄、消毒と滅菌、清潔と不潔の概念			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-①-⑥,G-3-3)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
50.	2022/10/27(木)	6時限	講義	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	診察法・診断法(4)頭頸部			
	担当者(所属)	山村 幸江			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	G-4-2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
51.	2022/10/31(月)	5時限	講義	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	診察法・診断法(5)基本的臨床手技④ 静脈採血			
	担当者(所属)	森本 聡			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)③⑧,A-4-2)⑦,A-6-1)⑦,A-6-3)②,C-5-7)⑥,E-2-4)-(5)②,F-2-9)-(1)①,F-3-6)-(1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
52.	2022/10/31(月)	6時限	講義	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	診察法・診断法(6)医療面接①			
	担当者(所属)	志関 雅幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
53.	2022/11/07(月)	5時限	講義	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	診察法・診断法(7)胸部(肺)			
	担当者(所属)	八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
54.	2022/11/07(月)	6時限	講義	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	診察法・診断法(8)胸部(心臓)			
	担当者(所属)	高木 厚			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
55.	2022/11/11(金)	4時限	追・再試験	—	14:00-16:00
	タイトル	診療の基礎 追・再試験 14:00-16:00 (大実習室3)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				108
56.	2022/11/11(金)	5時限	追・再試験	—	14:00-16:00
	タイトル	診療の基礎 追・再試験 14:00-16:00 (大実習室3)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				109
57.	2022/12/02(金)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	診察法・診断法(9)オリエンテーション(OSCE・小グループ実習)			
	担当者(所属)	板橋 道朗 村崎 かがり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(1)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
58.	2022/12/02(金)	6時限	講義	講義室 203	16:35-17:45
	タイトル	診察法・診断法(10)基本的臨床手技② 手術時手洗い・ガウンテクニック			
	担当者(所属)	板橋 道朗 飯塚 淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-①-⑥,G-3-3)①-⑥			

	講義資料番号/連番(LMS)				52
59.	2022/12/06(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	診察法・診断法(11)腹部			
	担当者(所属)	有泉 俊一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(5)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
60.	2022/12/06(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	診察法・診断法(12)神経・四肢①			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
61.	2022/12/06(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	診察法・診断法(13)神経・四肢②			
	担当者(所属)	飯嶋 睦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(6)⑤⑥,F-3-5)-(7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
62.	2022/12/06(火)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	診察法・診断法(14)四肢脊柱			
	担当者(所属)	岡崎 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(7)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
63.	2022/12/07(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	診察法・診断法(15)基本的臨床手技③ 手指消毒・衛生的手洗い/PPE(個人防護具)の着脱・廃棄			
	担当者(所属)	飯塚 淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(①-⑥),G-3-3)①-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
64.	2022/12/07(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	診察法・診断法(16)医療面接②			
	担当者(所属)	志関 雅幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-2)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
65.	2022/12/07(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	診察法・診断法(17)救急蘇生			
	担当者(所属)	久保田 英			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-5-2)①③④⑧⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
66.	2022/12/12(月)	1時限	実習	56 テュートリアル室 17	09:00-10:10

				テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
67.	2022/12/12(月)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
68.	2022/12/12(月)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				64
69.	2022/12/12(月)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				65
70.	2022/12/12(月)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				66
71.	2022/12/12(月)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67
72.	2022/12/13(火)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
73.	2022/12/13(火)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29	10:25-11:35

				チュートリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
74.	2022/12/13(火)	3時限	実習	チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30 スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				70
75.	2022/12/13(火)	4時限	実習	チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30 スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71
76.	2022/12/13(火)	5時限	実習	チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30 スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72
77.	2022/12/13(火)	6時限	実習	チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21	16:35-17:45

			テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ		
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			73	
78.	2022/12/14(水)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			74	
79.	2022/12/14(水)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)			75	
80.	2022/12/14(水)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				76
81.	2022/12/14(水)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
82.	2022/12/14(水)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
83.	2022/12/14(水)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
84.	2022/12/15(木)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			

	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				78
85.	2022/12/15(木)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				79
86.	2022/12/15(木)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				80
87.	2022/12/15(木)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				81
88.	2022/12/15(木)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27	15:15-16:25

				テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				82
89.	2022/12/15(木)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				83
90.	2022/12/16(金)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				84
91.	2022/12/16(金)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				85
92.	2022/12/16(金)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19	12:30-13:40

				テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				86
93.	2022/12/16(金)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				87
94.	2022/12/16(金)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88
95.	2022/12/16(金)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				89
96.	2023/01/10(火)	1時限	実習	テューリアル室 17 テューリアル室 18 テューリアル室 19 テューリアル室 20 テューリアル室 21 テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルストラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
97.	2023/01/10(火)	2時限	実習	テューリアル室 17 テューリアル室 18 テューリアル室 19 テューリアル室 20 テューリアル室 21 テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルストラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
98.	2023/01/10(火)	3時限	実習	テューリアル室 17 テューリアル室 18 テューリアル室 19 テューリアル室 20 テューリアル室 21 テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルストラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
99.	2023/01/10(火)	4時限	実習	テューリアル室 17 テューリアル室 18 テューリアル室 19 テューリアル室 20 テューリアル室 21 テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルストラボ	13:55-15:05

	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				93
100.	2023/01/10(火)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				94
101.	2023/01/10(火)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				95
102.	2023/01/11(水)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				96
103.	2023/01/11(水)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25	10:25-11:35

				テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				97
104.	2023/01/11(水)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				98
105.	2023/01/11(水)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				99
106.	2023/01/11(水)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				112
107.	2023/01/11(水)	6時限	実習	テュートリアル室 17	16:35-17:45

				テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				113
108.	2023/01/12(木)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	09:00-10:10
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				114
109.	2023/01/12(木)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				115
110.	2023/01/12(木)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルストラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				116
111.	2023/01/12(木)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
112.	2023/01/12(木)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	15:15-16:25
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
113.	2023/01/12(木)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
114.	2023/01/13(金)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29	09:00-10:10

				テュートリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				100
115.	2023/01/13(金)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	10:25-11:35
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				101
116.	2023/01/13(金)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	12:30-13:40
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				102
117.	2023/01/13(金)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30 スキルスラボ	13:55-15:05
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				103
118.	2023/01/13(金)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21	15:15-16:25

				テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルスラボ	
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				104
119.	2023/01/13(金)	6時限	実習	テューリアル室 17 テューリアル室 18 テューリアル室 19 テューリアル室 20 テューリアル室 21 テューリアル室 22 テューリアル室 23 テューリアル室 24 テューリアル室 25 テューリアル室 26 テューリアル室 27 テューリアル室 28 テューリアル室 29 テューリアル室 30 スキルスラボ	16:35-17:45
	タイトル	内科系・外科系各科実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				105

[診療の基礎]

大項目	中項目	小項目	備考
I . 症候と病態・疾患	<ol style="list-style-type: none"> 1. ショック 2. 発熱 3. けいれん 4. 意識障害・失神 5. チアノーゼ 6. 脱水 7. 全身倦怠感 8. 肥満・やせ 9. 黄疸 10. 発疹 11. 貧血 12. 出血傾向 13. リンパ節腫脹 14. 浮腫 15. 動悸 16. 胸水 17. 胸痛 18. 呼吸困難 19. 咳・痰 20. 血痰・喀血 21. めまい 22. 頭痛 23. 運動麻痺・筋力低下 24. 腹痛 25. 悪心・嘔吐 26. 嚥下困難・障害 27. 食思（欲）不振 28. 便秘・下痢 29. 吐血・下血 30. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤 31. 蛋白尿 32. 血尿 33. 尿量・排尿の異常 34. 月経異常 35. 関節痛・関節腫脹 36. 腰背部痛 		

大項目	中項目	小項目	備考
Ⅱ．問題志向型システム (POS)	1. POMR	1) 基礎データ 2) 問題リスト 3) 初期計画 4) 経過記録 5) 退院時要約	
Ⅲ．医療面接	1. 面接のマナー	1) 身だしなみ 2) 挨拶、自己紹介 3) 言葉づかい 4) プライバシーの保護	
	2. 医療面接の意義	1) 医療情報の収集 2) 医師患者関係の確立 3) 教育、調整、動機付け	
	3. 話しの進め方	1) 質問法の選択 2) 傾聴の仕方 3) 非言語的コミュニケーション	
	4. 面接者の態度	1) 共感的態度 2) 理解的態度 3) 支持的態度 4) 評価的態度 5) 解釈的態度 6) 調査的態度 7) 逃避的態度	
	5. 感情面への対応	1) 反映 2) 正当化 3) 個人的支援 4) 協力関係 5) 尊重	
	6. 病歴	1) 主訴 2) 現病歴 3) 既往歴 4) 家族歴 5) 社会歴・患者背景 6) システム・レビュー	
	7. 患者・家族の考え方・希望	1) 解釈モデル 2) 患者・家族の価値観	
	8. 患者教育と治療への動機づけ	1) インフォームド・コンセント	

大項目	中項目	小項目	備考
IV . 身体診察および基本手技	1. 診察の基本手技	1) 診察のあり方、診察時の配慮、医療安全 2) 視診 3) 触診 4) 打診 5) 聴診	
	2. 全身状態	1) バイタルサイン: 血圧測定、脈拍、呼吸数、呼吸パターン、体温 2) 精神状態、意識状態 3) 全身の外観体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚	
	3. 頭頸部	1) 顔面、頸部 2) 眼 3) 耳、鼻 4) 舌、咽頭、扁桃 5) 甲状腺、頸静脈、リンパ節	
	4. 胸部	1) 胸郭 2) 肺: 打診、聴診 (呼吸音、副雑音) 3) 心臓: 心尖拍動、振戦、心音、心雑音 4) 乳房	
	5. 腹部	1) 形、表面 2) 肝、脾、腎、リンパ節 3) 筋性防御、圧痛、Blumberg徴候 4) 腹水 5) 腸雑音、血管雑音 6) 直腸診	
	6. 四肢と脊柱	1) 浮腫 2) 動、静脈の触診 3) 肢位 4) 関節 5) リンパ節	
	7. 性器 (診察の要点と手順を理解する)	1) 男性 2) 女性	
	8. 神経系	1) 意識状態 2) 脳神経 3) 上肢の運動系 4) 起立と歩行	

大項目	中項目	小項目	備考
V. 医療安全	9. 基本的臨床手技	5) 下肢の運動系	
		6) 徒手筋力検査	
		7) 感覚系	
		8) 反射	
		9) 髄膜刺激徴候	
	10. 救急	1) 手洗い	
		2) 滅菌手袋の装着	
		3) ガウンテクニック	
		4) 縫合	
		5) 採血	
VI. Evidence-based Medicine (EBM)	1. 医療安全の基礎	1) 心肺蘇生法	
		1) 医療安全の歴史	
		2) 社会で必要とされる医療安全	
		3) 医療安全と法律	
	2. ヒューマンエラー	4) ノン・テクニカル・スキル	
		1) エラーの構造	
	3. 危険予知	1) 危険予知トレーニング (KYT)	
		1) 疫学を利用した臨床判断	
	1. EBMを理解する	2) アウトカム指標	
		3) 「医は仁術」におけるエビデンス	
1) 文献データベース			
2) 文献検索式			
2. エビデンスを探す	1) 批判的吟味		
	2) 内的・外的妥当性		
3. エビデンスを吟味する	1) 集団と個		
	2) 医療倫理		
4. エビデンスを利用する	1) 集団と個		
	2) 医療倫理		

科目名	入門型臨床実習Ⅱ
科目責任者(所属)	中神 朋子

到達目標	<p>入門型臨床実習では、セグメント9の診療参加型臨床実習を有効に行うための準備として、主要・重要な症候・病態を臨床現場で見学し、基礎的な診療を理解する。セグメント7とセグメント8を通して行うが、セグメント7では、実際の診療科での外来診療を見学し、外来実習に必要な態度、マナーを修得する。患者さんの抱える問題を見極め問題解決する診療を見学し、臨床問題解決の方法を理解する。自らも問題指向型診療記録(problem oriented medical record: POMR)の基礎を修得し、見学中および見学後にSOAP形式の症例のまとめを作成する。共用試験実施評価機構の学生教員向け動画等を視聴し、問題発見解決のための医療記録を作成する。さらにS8ではS9診療参加型臨床実習に向け、臨床推論に必要な医療面接および身体診察から情報を得る方法を学び、診療上の問題解決のための考え方を修得する。</p> <p>診療上の問題解決のために資料・文献を集め、信頼性のある科学的根拠を見つけ、症例に当てはめることができる。</p> <p>病院で経験した症例のPOMRに基づき、臨床判断を含む症例報告が行える。</p> <p>医師としてのプロフェッショナリズムの修得に必要な、自らの経験を注意深く振り返り将来の診療の改善に繋げる学びの計画を立てる訓練を行う。最も印象に残った経験を振り返り、同僚との討論を通して医療人としての自覚を高め、技能だけでなく医師となる意識や態度を修得する。</p> <p>日常診療の中から医師患者関係、多職種連携、医療に関する保証制度などを理解する。</p> <p>地域医療を経験し、プライマリケアの意義、社会が求める医療について理解する。</p> <p>実際の診療に必要な医療安全、患者安全、個人情報の取り扱い、感染予防と感染防御、放射線安全などについて理解し概説できる。</p>	
アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号	<p>医療安全に必要な配慮を示すことができる。</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。</p> <p>POMRに基づく診療情報記録方法を説明できる。</p> <p>研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。</p> <p>傾聴できる。</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。</p> <p>患者・家族の心理を説明できる。</p> <p>社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。</p> <p>疾患、症候の病態を説明できる。</p> <p>診断の過程を説明し実践できる。</p> <p>適切な治療法とその根拠を説明できる。</p> <p>基本的医療技能を示すことができる。</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。</p> <p>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。</p> <p>適切な診療ガイドラインを選択できる。</p> <p>病態を明らかにする方法を挙げることができる。</p> <p>事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。</p> <p>適切な問題解決を行ったか検証できる。</p> <p>結果の客観的評価ができる。</p>	<p>I-1-C-(3-4)-②</p> <p>I-4-A-(3-4)-①</p> <p>I-4-A-(3-4)-②</p> <p>I-4-B-(3-4)-①</p> <p>I-4-B-(3-4)-②</p> <p>I-4-C-(3-4)-①</p> <p>I-4-C-(3-4)-②</p> <p>II-1-A-(3-4)-①</p> <p>II-1-A-(3-4)-②</p> <p>II-1-B-(3-4)-①</p> <p>II-1-B-(3-4)-②</p> <p>II-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-1-A-(3-4)-④</p> <p>I-1-B-(3-4)-①</p> <p>I-1-B-(3-4)-②</p> <p>I-1-C-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-①</p> <p>I-2-A-(3-4)-②</p> <p>I-2-B-(3-4)-①</p> <p>I-2-C-(3-4)-①</p> <p>I-2-C-(3-4)-②</p> <p>I-3-A-(3-4)-①</p> <p>I-3-A-(3-4)-②</p> <p>I-3-B-(3-4)-①</p> <p>I-3-B-(3-4)-②</p> <p>I-3-C-(3-4)-①</p> <p>I-3-C-(3-4)-②</p>

	<p>結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③</p> <p>データ・結果の根拠を批判的に説明できる。 I-5-A-(3-4)-①</p> <p>結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。 I-5-A-(3-4)-②</p> <p>根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p> <p>診療上のエビデンスを選ぶことができる。 I-5-B-(3-4)-①</p> <p>患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。 I-6-B-(3-4)-③</p> <p>医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②</p> <p>地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①</p> <p>学習目標を達成するための自己学習を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>学習の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-①</p> <p>他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p> <p>自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-①</p> <p>相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 II-5-B-(3-4)-②</p>
学修(教育)方法	実習
評価方法 (1)総括的評価 の対象	<p>▽ CBT,OSCE前:実習点を評価点とする。本実習への出席率が3分の2に満たないとき、CBT, OSCEの受験資格を失う。</p> <p>評価項目 1)実習および講義への出席 2)実習態度 3)実習で見学した症例の主観的情報(S)、客観的情報(O)、評価(A)、方針(P)の記載 4)経験した症例のEBMの記録 5)経験した症例の報告 6)経験した中で最も印象に残った事例について振り返りを行い、次の学習を考える(Significant Event Analysis; SEA)</p> <p>評価基準 上記の評価項目について合算し、1から5までの段階評価を行う。3以上を合格とする。</p> <p>▽ CBT,OSCE後:総括的評価 上記の評価項目について、科目毎に臨床実習ノートの学生評価表(評価項目は次ページ参照)の必須項目4つ(評価大項目の1, 4, 5, 6)の平均値(80%)および実習責任者による口頭試問等による総合評価(20%)を合算して判定し、1から5までの評価を行う。科目毎の評価の平均が3以上を合格とする。</p> <p>▽ CBT,OSCE前と後の評価点の平均点を最終評価点とし、3.0点以上を合格とする。</p>
評価方法 (2)評価項目	<p>入門型臨床実習IIとは、主要な徴候や疾患を一週間毎に見学型臨床実習を行いながら学ぶ。</p> <p>診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。 A-1-3)①</p> <p>患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 A-1-3)②</p> <p>医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 A-1-3)③</p> <p>医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 A-1-3)④</p> <p>必要な課題を自ら発見できる。 A-2-1)①</p> <p>自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 A-2-1)②</p> <p>課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-2-1)③</p> <p>課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 A-2-1)④</p> <p>病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等)を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。 A-3-1)①</p> <p>診療録(カルテ)についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 A-3-1)④</p> <p>患者の病状(症状、身体所見、検査所見等)、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。 A-3-1)⑤</p> <p>コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 A-4-1)①</p> <p>コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-1)②</p>

患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③
患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
患者のプライバシーに配慮できる。	A-4-2)⑥
患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	A-4-2)⑦
実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
医療上の事故等を防止するためには、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)はもとより、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)が重要であることを説明できる。	A-6-1)②
医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録(カルテ)改竄の違法性を説明できる。	A-6-1)③
医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害、医療過誤(事例や経緯を含む)、やっつけられないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。	A-6-1)④
臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。	A-9-1)⑤
診療録(カルテ)に関する基本的な知識(診療録の管理と保存(電子カルテを含む)、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティ、問題志向型医療記録(POMR)、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>))を説明でき、実際に作成できる。	B-2-2)①
診療に関する諸記録(処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約)を説明できる。	B-2-2)②
情報収集には医療面接、身体診察、検査の3つの方法があることを説明できる。	F-2-1)②
清潔の概念と必要性を説明できる。	F-2-9)-(1)①
基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。	F-3-1)①
得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。	F-3-1)②
適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。	F-3-2)①
診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画<SOAP>で記載できる。	F-3-3)②
症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。	F-3-3)③
プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。	F-3-3)④
「A 医師として求められる基本的な資質・能力」(以下、再掲)を常に意識しながら、臨床実習を行う。	G-1-1)-(1)
1 プロフェッショナリズム	G-1-1)-(1)
2 医学知識と問題対応能力	G-1-1)-(1)
3 診療技能と患者ケア	G-1-1)-(1)
4 コミュニケーション能力	G-1-1)-(1)
5 チーム医療の実践	G-1-1)-(1)
6 医療の質と安全の管理	G-1-1)-(1)
7 社会における医療の実践	G-1-1)-(1)
8 科学的探究	G-1-1)-(1)
9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	G-1-1)-(1)
シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。	G-4-4)①
模擬患者の協力を得て、臨床技能(コミュニケーションスキルを含む)や医療者に求められる態度を身に付ける。	G-4-4)②
シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。	G-4-4)③
振り返りによって自己省察能力を高める。	G-4-4)⑤

評価方法
(3)評価基準

▽ CBT, OSCE前:実習点を評価点とする。本実習への出席率が2/3に満たないとき、CBT, OSCEの受験資格を失う。

評価項目

- 1) 実習および講義への出席
- 2) 実習態度
- 3) 実習で見学した症例の主観的情報(S)、客観的情報(O)、評価(A)、方針(P)の記載
- 4) 経験した症例のEBMの記録
- 5) 経験した症例の報告

6) 経験した中で最も印象に残った事例について振り返りを行い、次の学習を考える (Significant Event Analysis; SEA)
 評価基準
 上記の評価項目について合算し、1から5までの段階評価を行う。3以上を合格とする。
 ▽ CBT,OSCE後: 総括的評価
 上記の評価項目について、科目毎に臨床実習ノートの学生評価表(評価項目は次ページ参照)の必須項目4つ(評価大項目の1, 4, 5, 6)の平均値(80%)および実習責任者による口頭試問等による総合評価(20%)を合算して判定し、1から5までの評価を行う。科目毎の評価の平均が3以上を合格とする。
 ▽ CBT,OSCE前と後の評価点の平均点を最終評価点とし、3.0点以上を合格とする。

伝達事項 本実習への出席率が2/3に満たないとき、CBT, OSCEの受験資格を失う。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
1.	『診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目』	公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構	公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 2020	
2.	『「型」が身につくカルテの書き方』	佐藤健太	医学書院 2015	ISBN-10: 4260021060 ISBN-13: 978- 4260021067
3.	『Common Diseaseの診療ガイドライン～総合診療における診断・治療の要点と現場での実際の考え方』	横林賢一、渡邊隆将、齋木啓子	羊土社 2017	ISBN-10: 4758118094 ISBN-13: 978- 4758118095
4.	『ガイドライン外来診療2020』	泉孝英	日経BP 2020	ISBN-10: 4296105566 ISBN-13: 978- 4296105564
5.	『外来診療をはじめよう～救急や病棟とは一味違った診療プロセスを意識して、一般外来患者さんを上手に診よう!』	石丸裕康	羊土社 2020	ISBN-10: 4758116385 ISBN-13: 978- 4758116381
6.	『めざせ! 外来診療の達人-外来カンファレンスで学ぶ診断推論』	生坂政臣	日本医事新報社 2010	ISBN-10: 4784954295 ISBN-13: 978- 4784954292
7.	『ゼロから始めて一冊でわかる! みんなのEBMと臨床研究』	神田善伸	南江堂 2016	ISBN:978-4- 524-25548- 1
8.	『電子カルテ時代のPOS』	渡辺直	医学書院 2012	ISBN978-4- 260-01635- 3
9.	『内科外来診療マニュアル』	吉岡成人	医学書院 2003	ISBN-10: 4260102826 ISBN-13: 978- 4260102827
10.	『全ての診療科で役立つ皮膚診療のコツ—これだけは知っておきたい症例60』	山崎雄一郎	羊土社 2010	ISBN-10: 4758106894 ISBN-13: 978- 4758106894
11.	『ハリソン内科学 第5版』	日本語版監修 福井次矢、黒川 清	メディカルサイエンスインターナショナル 2017	ISBN-10: 489592873X ISBN-13: 978- 4895928731
12.	『内科診断学』	福井次矢	医学書院 2016	ISBN-10: 4260020641 ISBN-13: 978- 4260020640
13.	『レジデントノート 2020年2月 Vol.21 No.16 外来診療をはじめよう? 救急や病棟とは一味違った診療プロセスを意識して、一般外来患者さんを上手に診よう!』	石丸裕康 編集	羊土社 2020	ISBN-10: 4758116385 ISBN-13: 978- 4758116381
14.	『外来診療ドリル-診断&マネジメント力を鍛える200問』	松村真司、矢吹拓	医学書院	ISBN-10:

				2016	4260025058 ISBN-13: 978- 4260025058
15.	『ジェネラリストのための内科外来マニュアル 第2版』	金城光代、金城紀与史、岸田直樹	医学書院	2017	ISBN-10: 4260028065 ISBN-13: 978- 4260028066
16.	『ジェネラリストのための内科診断リファレンス: エビデンスに基づく究極の診断学をめざして』	上田剛士	医学書院	2014	ISBN-10: 426000963X ISBN-13: 978- 4260009638
17.	『内科レジデントの鉄則 第3版』	聖路加国際病院内科チーフレジデント	医学書院	2018	ISBN-10: 4260034618 ISBN-13: 978- 4260034616
18.	『ホスピタリストのための内科診療フローチャート 第2版』	高岸 勝繁	シーニュ	2019	ISBN-10: 4990950550 ISBN-13: 978- 4990950552
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/30(金)	5時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	オリエンテーション1			
	担当者(所属)	中神 朋子 西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②④,A-2-1)①②③④⑤,A-3-1)①④⑤,A-4-2)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/30(金)	6時限	実習	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	オリエンテーション2			
	担当者(所属)	中神 朋子 西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)①②③④,B-2-2)①②,F-3-1)①②,F-3-2)①,F-3-3)②③④,G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/07(金)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習1			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-3-3)②③④、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/10/07(金)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習1			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③④⑤⑥⑦、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-			

	題基準	3-3)②③④、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/11(火)	1時限	実習	PC室 1	9:00-10:10
	タイトル	POMR演習1フィードバック			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-3-3)②③④、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/10/11(火)	2時限	実習	PC室 1	10:25-11:35
	タイトル	POMR演習2			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-3-3)②③④、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/10/12(水)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習2フィードバック			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-3-3)②③④、F-3-5)-(3)、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/10/12(水)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習2フィードバック			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②、A-2-1)①②、A-4-1)①②③、A-4-2)①③④⑤⑥⑦、F-2-1)②、F-2-9)-(1)①、F-3-1)①②、F-3-2)①、F-3-3)②③④、F-3-5)-(3)、G-1-1)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/10/12(水)	3時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	症例報告オリエンテーション			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/10/12(水)	4時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	症例報告オリエンテーション			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/10/13(木)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習1			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-11)			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/10/13(木)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習1			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-11)			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/10/13(木)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	シミュレーション学修1(静脈採血)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-3)④、F-2-9)-(1)①、F-3-6)-(1)①②③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)①⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/10/13(木)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	症例報告演習1フィードバック			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-11)			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/10/13(木)	6時限	実習	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	遺伝カウンセリング事前説明(配信講義)			
	担当者(所属)	佐藤 梓 山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/10/14(金)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習3/症例課題			
	担当者(所属)	佐藤 梓 佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑨、D-8-1)①④、D-8-3)②、D-8-4)①②、F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/10/14(金)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習3/症例課題			
	担当者(所属)	佐藤 梓 佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑨、D-8-1)①④、D-8-3)②、D-8-4)①②、F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/10/17(月)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習3フィードバック/症例課題解説			
	担当者(所属)	佐藤 梓 佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑨、D-8-1)①④、D-8-3)②、D-8-4)①②、F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/10/17(月)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習3フィードバック/症例課題解説			
	担当者(所属)	佐藤 梓 佐藤 尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)⑨、D-8-1)①④、D-8-3)②、D-8-4)①②、F-1-29)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/10/17(月)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	薬物治療の安全確保と適正化			
	担当者(所属)	佐藤 梓 木村 利美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)④、F-2-8)⑩、G-1-1)-(1)6			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/10/17(月)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	医療安全啓発センター/チーム医療			
	担当者(所属)	世川 修 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①②③、A-6-1)①②③④⑤、A-6-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/10/18(火)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習4			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑩、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)⑬、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/10/18(火)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習4			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑩、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)⑬、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/10/19(水)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例課題			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑩、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)⑬、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/10/19(水)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例課題			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑩、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)⑬、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				24

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/10/19(水)	3時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	POMR演習4フィードバック/症例課題解説			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑱、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)㉓、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/10/19(水)	4時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	POMR演習4フィードバック/症例課題解説			
	担当者(所属)	西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)②、D-5-3)⑱、D-5-4-(7)①②③、E-2-3)㉓、F1-35)①②、F3-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/10/24(月)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修2(手術時手洗い・ガウンテクニック)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(1)①、F-3-6)-(3)①②③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/10/24(月)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修2(手術時手洗い・ガウンテクニック)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-9)-(1)①、F-3-6)-(3)①②③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/10/24(月)	3時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会			
	担当者(所属)	佐藤 梓 坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/10/24(月)	4時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会			
	担当者(所属)	佐藤 梓 坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-1-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/10/24(月)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	電子カルテ、医療情報の取り扱い、個人情報の保護			
	担当者(所属)	西村 勝治 櫻井 好則 佐藤 梓			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(1)③, B-2-2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)	32			
33.	2022/10/24(月)	6時限	実習	PC室 1	16:35-17:45
	タイトル	電子カルテシステム			
	担当者(所属)	田中 榮一 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)④, A-4-2)⑦, A-6-1)③, B-2-2)①②③④, F-3-3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)	33			
34.	2022/10/25(火)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	入院時診察演習			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②, A-2-1)①②③④, A-3-1)①④⑤, A-4-1)②③, A-4-2)①, A-4-2)⑥⑦, F-3-1)①②, G-1-1)-(1)1.2.3.4.6			
	講義資料番号/連番(LMS)	34			
35.	2022/10/25(火)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	入院時診察演習			
	担当者(所属)	中神 朋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②, A-2-1)①②③④, A-3-1)①④⑤, A-4-1)②③, A-4-2)①, A-4-2)⑥⑦, F-3-1)①②, G-1-1)-(1)1.2.3.4.6			
	講義資料番号/連番(LMS)	35			
36.	2022/10/26(水)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修1・2課題解説			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②, A-2-1)①②③④, A-3-1)①④⑤, A-4-1)②③, A-4-2)①, A-4-2)⑥⑦, F-3-1)①②, G-1-1)-(1)1.2.3.4.6			
	講義資料番号/連番(LMS)	36			
37.	2022/10/26(水)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修1・2課題解説			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②, A-2-1)①②③④, A-3-1)①④⑤, A-4-1)②③, A-4-2)①, A-4-2)⑥⑦, F-3-1)①②, G-1-1)-(1)1.2.3.4.6			
	講義資料番号/連番(LMS)	37			
38.	2022/10/26(水)	3時限	実習	チュートリアル室 17 チュートリアル室 18 チュートリアル室 19 チュートリアル室 20 チュートリアル室 21 チュートリアル室 22 チュートリアル室 23 チュートリアル室 24 チュートリアル室 25 チュートリアル室 26 チュートリアル室 27 チュートリアル室 28 チュートリアル室 29 チュートリアル室 30	12:30-13:40
	タイトル	遺伝カウンセリング 全体説明			
	担当者(所属)	佐藤 梓 山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)	38			

39.	2022/10/26(水)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05
	タイトル	遺伝カウンセリング 実演①			
	担当者(所属)	佐藤 梓 山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/10/27(木)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	診察演習課題			
	担当者(所属)	田中 榮一 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)②, F-3-5)①②③④⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2022/10/27(木)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	診察演習課題			
	担当者(所属)	田中 榮一 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)②, F-3-5)①②③④⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2022/10/28(金)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	診察演習課題			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 佐藤 梓 辻 真世子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③, A-3-1)②③④⑤, A-4-2)④⑥⑦, D-5-3)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2022/10/28(金)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	診察演習課題			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 佐藤 梓 辻 真世子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③, A-3-1)②③④⑤, A-4-2)④⑥⑦, D-5-3)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2022/10/31(月)	1時限	実習	講義室 301	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習5			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 佐藤 梓 赤羽 朋博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③, A-3-1)②③④⑤, A-4-1)①②③, D-5-3)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2022/10/31(月)	2時限	実習	講義室 301	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習5			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 佐藤 梓 赤羽 朋博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③,A-3-1)②③④⑤,A-4-1)①②③, D-5-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2022/10/31(月)	3時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	診療参加型臨床実習に向けて			
	担当者(所属)	佐藤 梓 未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)①②③④⑤⑥, A-6-2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2022/10/31(月)	4時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	診療参加型臨床実習に向けて			
	担当者(所属)	佐藤 梓 未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)①②③④⑤⑥, A-6-2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2022/11/01(火)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例課題			
	担当者(所属)	八木 理充 佐藤 梓 赤羽 朋博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③,A-3-1)②③④⑤,A-4-2)④⑥⑦, D-5-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2022/11/01(火)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例課題			
	担当者(所属)	八木 理充 佐藤 梓 赤羽 朋博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③,A-3-1)②③④⑤,A-4-2)④⑥⑦, D-5-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2022/11/02(水)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習5フィードバック/症例課題解説			
	担当者(所属)	佐藤 梓 桂 秀樹 有村 健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③,A-2-2)①②③, A-3-1)②③④⑤,A-4-2)④⑥⑦, D-5-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2022/11/02(水)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	POMR演習5フィードバック/症例課題解説			

	担当者(所属)	佐藤 梓 桂 秀樹 有村 健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②③、A-2-2)①②③、A-3-1)②③④⑤、A-4-2)④⑥⑦、D-5-3)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2022/11/02(水)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	12:30-13:40
	タイトル	遺伝カウンセリング 実演②			
	担当者(所属)	佐藤 梓 山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2022/11/02(水)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05
	タイトル	遺伝カウンセリング 実演②			
	担当者(所属)	佐藤 梓 山本 俊至			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-1-1)②④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2022/11/04(金)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習2			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2022/11/04(金)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習2			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2022/11/07(月)	1時限	実習	講義室 301	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習2フィードバック/症例解説			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2022/11/07(月)	2時限	実習	講義室 301	9:00-11:35
	タイトル	症例報告演習2フィードバック/症例解説			
	担当者(所属)	佐藤 梓 大月 道夫			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③、A-2-1)①④⑤、A-4-2)③、A-6-1)③、B-2-2)①、F-3-1)①②、F-3-3)②③、G-1-1)-(3)6.7.8、G-2-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2022/11/07(月)	3時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	感染予防と感染制御			
	担当者(所属)	佐藤 梓 満田 年宏			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)、A-6-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2022/11/07(月)	4時限	実習	PC室 1	12:30-15:05
	タイトル	感染予防と感染制御			
	担当者(所属)	佐藤 梓 満田 年宏			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)、A-6-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2022/11/08(火)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修3(PPE着脱)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)⑦、A-6-3)②、E-2-4)-(5)①②③、F-2-9)-(1)①、F-3-5)-(1)④、F-3-6)-(3)①②③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-2-1)、G-4-4)③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2022/11/08(火)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修3(PPE着脱)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)⑦、A-6-3)②、E-2-4)-(5)①②③、F-2-9)-(1)①、F-3-5)-(1)④、F-3-6)-(3)①②③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-2-1)、G-4-4)③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2022/11/09(水)	1時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修4(縫合)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)④、A-6-3)④、F-2-9)-(1)①④⑤⑥、F-3-6)-(1)①③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)①③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2022/11/09(水)	2時限	実習	PC室 1	9:00-11:35
	タイトル	シミュレーション学修4(縫合)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)④、A-6-3)④、F-2-9)-(1)①④⑤⑥、F-3-6)-(1)①③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)①③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				63

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2022/11/09(水)	3時限	実習	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	シミュレーション学修4(縫合)			
	担当者(所属)	板橋 道朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)④、A-6-3)④、F-2-9)-(1)①④⑤⑥、F-3-6)-(1)①③、G-1-1)-(1)①③⑥、G-4-4)①③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2022/11/09(水)	4時限	実習	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習まとめ			
	担当者(所属)	中神 朋子 西井 明子 佐藤 梓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)①②④、A-2-1)①②③④⑤、A-3-1)①④⑤、A-4-2)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2023/01/30(月)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2023/01/30(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2023/01/30(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2023/01/30(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2023/01/30(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2023/01/30(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2023/01/31(火)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72
73.	2023/01/31(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2023/01/31(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2023/01/31(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				75
76.	2023/01/31(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				76
77.	2023/01/31(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				77
78.	2023/02/01(水)	1時限	実習	—	9:00-10:10

	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			78
79.	2023/02/01(水)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			79
80.	2023/02/01(水)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			80
81.	2023/02/01(水)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			81
82.	2023/02/01(水)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			82
83.	2023/02/01(水)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			83
84.	2023/02/02(木)	1時限	実習	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			84
85.	2023/02/02(木)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				85
86.	2023/02/02(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				86
87.	2023/02/02(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				87
88.	2023/02/02(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88
89.	2023/02/02(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				89
90.	2023/02/03(金)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				90
91.	2023/02/03(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				91
92.	2023/02/03(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				92

93.	2023/02/03(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				93
94.	2023/02/03(金)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				94
95.	2023/02/03(金)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				95
96.	2023/02/06(月)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				96
97.	2023/02/06(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				97
98.	2023/02/06(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				98
99.	2023/02/06(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				99
100.	2023/02/06(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			

	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	100		
101.	2023/02/06(月)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	101		
102.	2023/02/07(火)	1時限	実習	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	102		
103.	2023/02/07(火)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	103		
104.	2023/02/07(火)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	104		
105.	2023/02/07(火)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	105		
106.	2023/02/07(火)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	106		
107.	2023/02/07(火)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				107
108.	2023/02/08(水)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				108
109.	2023/02/08(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				109
110.	2023/02/08(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				110
111.	2023/02/08(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				111
112.	2023/02/08(水)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				112
113.	2023/02/08(水)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				113
114.	2023/02/09(木)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				114

115.	2023/02/09(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				115
116.	2023/02/09(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				116
117.	2023/02/09(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				117
118.	2023/02/09(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				118
119.	2023/02/09(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				119
120.	2023/02/10(金)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				120
121.	2023/02/10(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				121
122.	2023/02/10(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			

	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	122		
123.	2023/02/10(金)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	123		
124.	2023/02/10(金)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	124		
125.	2023/02/10(金)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	125		
126.	2023/02/13(月)	1時限	実習	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	126		
127.	2023/02/13(月)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	127		
128.	2023/02/13(月)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	128		
129.	2023/02/13(月)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			

	講義資料番号/連番(LMS)				129
130.	2023/02/13(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				130
131.	2023/02/13(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				131
132.	2023/02/14(火)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				132
133.	2023/02/14(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				133
134.	2023/02/14(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				134
135.	2023/02/14(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				135
136.	2023/02/14(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				136
137.	2023/02/14(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45

	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				137
138.	2023/02/15(水)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				138
139.	2023/02/15(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				139
140.	2023/02/15(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				140
141.	2023/02/15(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				141
142.	2023/02/15(水)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				142
143.	2023/02/15(水)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				143
144.	2023/02/16(木)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				144
145.	2023/02/16(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				145
146.	2023/02/16(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				146
147.	2023/02/16(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				147
148.	2023/02/16(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				148
149.	2023/02/16(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				149
150.	2023/02/17(金)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				150
151.	2023/02/17(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				151
152.	2023/02/17(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				152
153.	2023/02/17(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				153
154.	2023/02/17(金)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				154
155.	2023/02/17(金)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				155
156.	2023/02/20(月)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				156
157.	2023/02/20(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				157
158.	2023/02/20(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				158
159.	2023/02/20(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05

	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			159
160.	2023/02/20(月)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			160
161.	2023/02/20(月)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			161
162.	2023/02/21(火)	1時限	実習	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			162
163.	2023/02/21(火)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			163
164.	2023/02/21(火)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			164
165.	2023/02/21(火)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			165
166.	2023/02/21(火)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習		
	担当者(所属)	--		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				166
167.	2023/02/21(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				167
168.	2023/02/22(水)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				168
169.	2023/02/22(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				169
170.	2023/02/22(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				170
171.	2023/02/22(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				171
172.	2023/02/22(水)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				172
173.	2023/02/22(水)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				173

174.	2023/02/24(金)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				174
175.	2023/02/24(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				175
176.	2023/02/24(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				176
177.	2023/02/24(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				177
178.	2023/02/24(金)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				178
179.	2023/02/24(金)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				179
180.	2023/02/27(月)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				180
181.	2023/02/27(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			

	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				181
182.	2023/02/27(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				182
183.	2023/02/27(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				183
184.	2023/02/27(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				184
185.	2023/02/27(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				185
186.	2023/02/28(火)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				186
187.	2023/02/28(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				187
188.	2023/02/28(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出				

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				188
189.	2023/02/28(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				189
190.	2023/02/28(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				190
191.	2023/02/28(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				191
192.	2023/03/01(水)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				192
193.	2023/03/01(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				193
194.	2023/03/01(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				194
195.	2023/03/01(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				195

196.	2023/03/01(水)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	196			
197.	2023/03/01(水)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	197			
198.	2023/03/02(木)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	198			
199.	2023/03/02(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	199			
200.	2023/03/02(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	200			
201.	2023/03/02(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	201			
202.	2023/03/02(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	202			
203.	2023/03/02(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			

	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				203
204.	2023/03/03(金)	1時限	実習	—	9:00-10:10
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				204
205.	2023/03/03(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				205
206.	2023/03/03(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				206
207.	2023/03/03(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				207
208.	2023/03/03(金)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				208
209.	2023/03/03(金)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	入門型臨床実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				209

[入門型臨床実習]

大項目	中項目	小項目	備考
I. 医師のプロフェッショナルリズム	1. 医の倫理	1) 生と死にかかわる倫理的問題 2) 医師の職業倫理指針 3) 利他主義	
	2. 患者の権利と義務	1) 患者の権利と義務 2) 自己決定権 3) インフォームド・コンセントとセカンドオピニオン 4) 個人情報の保護	
	3. 患者医師関係	1) ジュネーブ宣言、リスボン宣言 2) 患者の意向の尊重（患者中心医療） 3) 患者・家族の医療への参加（相互参加治療）	
II. 診療情報と諸証明書	1. 診療録、医療記録	1) 診療録・医療記録の管理と保存（電子カルテを含む） 2) 診療録の内容 3) 診療情報の開示 4) プライバシー保護、セキュリティ 5) 問題志向型医療記録（POMR） 6) SOAP（主観的所見、客観的所見、評価、計画）	
	2. 診療に関する諸記録	1) 処方箋 2) 入院診療計画書 3) 検査・画像・手術の記録 4) 退院時要約	
	3. 診断書、検案書、証明書	1) 診断書 2) 出生証明書 3) 死産証書 4) 死胎検案書 5) 死亡診断書 6) 死体検案書	
III. 医療面接	1. 医療面接の意義	1) 患者医師関係の構築 2) 医療情報の収集	

	<p>2. マナー、オープニング</p> <p>3. 良好なコミュニケーション</p> <p>4. 病歴情報</p> <p>5. 心理・社会的情報</p>	<p>3) 病状説明</p> <p>4) 患者の教育、動機付け、調整</p> <p>1) 身だしなみ</p> <p>2) 椅子の配置、座り方</p> <p>3) 礼儀、振舞い</p> <p>4) 挨拶、自己紹介</p> <p>5) 患者本人であることの確認</p> <p>6) プライバシー・体調・環境への配慮</p> <p>1) 言語的コミュニケーション</p> <p>2) 準言語的コミュニケーション</p> <p>3) 非言語的コミュニケーション</p> <p>4) 傾聴の仕方</p> <p>5) 質問法</p> <p>6) 面接者の態度（共感的態度、理解的態度、指示的態度、問題解決への援助的態度、評価的態度、解釈的態度、調査的態度、逃避的態度）</p> <p>7) 感情面への対応（共感、支持、反映、肯定、尊重、支援、探索）</p> <p>1) 主訴</p> <p>2) 現病歴</p> <p>3) 常用薬、アレルギー歴</p> <p>4) 既往歴</p> <p>5) 家族歴</p> <p>6) 嗜好</p> <p>7) 生活習慣</p> <p>8) 社会歴</p> <p>9) 生活環境、家庭環境</p> <p>10) 海外渡航歴</p> <p>11) システムレビュー (review of systems)</p> <p>12) プロブレムリスト</p> <p>1) 解釈モデル</p> <p>2) 心理・社会的状況</p> <p>3) 検査や治療に対する希望・望</p>	
--	---	--	--

<p>IV. 一般的な身体診療</p>	<p>6. 話の伝え方</p> <p>7. 治療への動機付け</p> <p>8. 説明と報告</p> <p>1. 診察のあり方</p> <p>2. 診察の基本的手段</p> <p>3. 診察時の患者の体位</p> <p>4. 全身の診察</p> <p>5. 頭頸部の診察</p>	<p>み</p> <p>4) 受療行動、対処行動、他医受診、処方内容</p> <p>1) 平易な表現、理解の確認、質問の有無の確認</p> <p>2) 告知、悪い知らせの伝え方 (SPIKES モデル)</p> <p>1) 患者の理解度</p> <p>2) コンプライアンス、アドヒアランス</p> <p>3) 意識啓発とその継続</p> <p>1) 上級医への説明と報告</p> <p>2) カンファレンスでのプレゼンテーション</p> <p>1) 診察前後の標準予防策 (standard precautions)</p> <p>2) 安全への配慮</p> <p>3) 患者への配慮 (プライバシー・羞恥心・苦痛への配慮)</p> <p>4) 患者への声掛けと例示</p> <p>1) 視診</p> <p>2) 聴診</p> <p>3) 打診</p> <p>4) 触診</p> <p>1) 立位</p> <p>2) 座位、半座位</p> <p>3) 臥位 (仰臥位、腹臥位、側臥位)</p> <p>4) 砕石位</p> <p>1) 意識レベル、精神状態の評価</p> <p>2) 体格の評価 (身長、体重)</p> <p>3) バイタルサイン (体温、呼吸、脈拍、血圧)</p> <p>4) 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)</p> <p>5) リンパ節の触診</p> <p>1) 頭部</p>
---------------------	---	---

		<ul style="list-style-type: none"> 2) 眼瞼、眼球 3) 耳、鼻 4) 口唇、口腔、咽頭、扁桃 5) 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺 6) 聴力の検査 	
	6. 胸部の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 胸部 2) 呼吸音（気管、気管支、肺胞）、副雑音 3) 心音、心雑音 4) 背部の叩打痛 5) 乳房 	
	7. 腹部の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 形状 2) 肝臓、脾臓、腎臓 3) 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御 4) 腹水 5) 腸雑音、血管雑音 	
	8. 肛門と直腸の診察		
	9. 生殖器の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 男性 2) 女性 3) 妊婦 	
	10. 筋骨格系の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 四肢、脊柱（彎曲、疼痛、叩打痛） 2) 関節（可動域、腫脹、疼痛、変形） 3) 徒手筋力テスト 	
	11. 神経系の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 脳神経 2) 髄膜刺激症候（項部硬直、Kernig 徴候） 3) 運動系 4) 腱反射、病的反射 5) 感覚（痛覚、温度覚、触覚、深部感覚） 6) 小脳機能 	
	12. 四肢の診察	<ul style="list-style-type: none"> 1) 浮腫 2) 動脈、静脈 	

科目名	臨床基礎実習
科目責任者(所属)	佐藤 麻子

到達目標	臨床基礎実習では、各実習科にグループごとにローテーションし、5年生からの臨床実習で実際に必要な検査方法、救命救急、医療安全、臨床研究などの基本的知識を学ぶ。また、eラーニングを利用した放射線診断演習により画像を読影する力を身に付け、GPC実習では剖検例をもとに臨床経過・検査所見・治療などの臨床上の重点を考察して臨床診断を導きます。 臨床基礎実習は、臨床実習の現場で必須の基本的知識を理解するためのカリキュラムとなっている。				
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	次ページ以降の各実習内容の「1. 一般到達目標(ロードマップ)」に記載				
学修(教育)方法	-				
評価方法 (1)総括的評価の対象	次ページ以降の各実習内容の「3. 評価方法」に記載				
評価方法 (2)評価項目	次ページ以降の各実習内容の「2. 具体的到達目標」に記載				
評価方法 (3)評価基準	各実習担当医による5段階評価 5:大変優れている 4:優れている 3:平均的 2:要努力 1:かなりの要努力				
伝達事項	次ページ以降の各実習内容に記載				
教科書・参考図書	No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
	1.	『次ページ以降の各実習内容に記載』			
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/14(月)	1時限	実習	大実習室 3	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(出席番号 1~58)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				
2.	2022/11/14(月)	2時限	実習	大実習室 3	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(出席番号 1~58)			

	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/11/14(月)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(出席番号 59~115)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/11/14(月)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(出席番号 59~115)			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/11/14(月)	5時限	実習	講義室 203	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(203講義室)			
	担当者(所属)	佐藤 麻子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/11/14(月)	6時限	実習	講義室 203	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習オリエンテーション(203講義室)			
	担当者(所属)	佐藤 麻子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/15(火)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/15(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/15(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/15(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/11/15(火)	5時限	実習	—	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/11/15(火)	6時限	実習	—	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/11/16(水)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/11/16(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/11/16(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/11/16(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/11/17(木)	1時限	実習	—	09:00-10:10

	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			17
18.	2022/11/17(木)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			18
19.	2022/11/17(木)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			19
20.	2022/11/17(木)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			20
21.	2022/11/17(木)	5時限	実習	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			21
22.	2022/11/17(木)	6時限	実習	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			22
23.	2022/11/18(金)	1時限	実習	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			23
24.	2022/11/18(金)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/11/18(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/11/18(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/11/18(金)	5時限	実習	—	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/11/18(金)	6時限	実習	—	15:15-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/11/21(月)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/11/21(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/11/21(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/11/21(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/11/21(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/11/21(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2022/11/22(火)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2022/11/22(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/11/22(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/11/22(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/11/22(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25

	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			39
40.	2022/11/22(火)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			40
41.	2022/11/24(木)	1時限	実習	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			41
42.	2022/11/24(木)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			42
43.	2022/11/24(木)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			43
44.	2022/11/24(木)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			44
45.	2022/11/24(木)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			45
46.	2022/11/24(木)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2022/11/25(金)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2022/11/25(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2022/11/25(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2022/11/25(金)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2022/11/25(金)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2022/11/25(金)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2022/11/28(月)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				53

54.	2022/11/28(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2022/11/28(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2022/11/28(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2022/11/28(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2022/11/28(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2022/11/29(火)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2022/11/29(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2022/11/29(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			

	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	61		
62.	2022/11/29(火)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	62		
63.	2022/11/29(火)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	63		
64.	2022/11/29(火)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	64		
65.	2022/11/30(水)	1時限	実習	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	65		
66.	2022/11/30(水)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	66		
67.	2022/11/30(水)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)	67		
68.	2022/11/30(水)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2022/12/01(木)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2022/12/01(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2022/12/01(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2022/12/01(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72
73.	2022/12/01(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2022/12/01(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2023/01/16(月)	1時限	実習	PC室 1	09:00-10:10
	タイトル	CPCオリエンテーション			
	担当者(所属)	増井 憲太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				75

76.	2023/01/16(月)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				123
77.	2023/01/16(月)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				76
78.	2023/01/16(月)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				77
79.	2023/01/16(月)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				78
80.	2023/01/16(月)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				79
81.	2023/01/16(月)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				80
82.	2023/01/17(火)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				81
83.	2023/01/17(火)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			

	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				82
84.	2023/01/17(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				83
85.	2023/01/17(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				84
86.	2023/01/17(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				85
87.	2023/01/17(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				86
88.	2023/01/18(水)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				87
89.	2023/01/18(水)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				88
90.	2023/01/18(水)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	--			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				89
91.	2023/01/18(水)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				90
92.	2023/01/19(木)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				91
93.	2023/01/19(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				92
94.	2023/01/19(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				93
95.	2023/01/19(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				94
96.	2023/01/19(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				95
97.	2023/01/19(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				96
98.	2023/01/23(月)	1時限	実習	—	09:00-10:10

	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			97
99.	2023/01/23(月)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			98
100.	2023/01/23(月)	3時限	実習	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			99
101.	2023/01/23(月)	4時限	実習	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			100
102.	2023/01/23(月)	5時限	実習	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			101
103.	2023/01/23(月)	6時限	実習	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			102
104.	2023/01/24(火)	1時限	実習	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準			
	講義資料番号/連番(LMS)			103
105.	2023/01/24(火)	2時限	実習	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習		
	担当者(所属)	--		

	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				104
106.	2023/01/24(火)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				105
107.	2023/01/24(火)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				106
108.	2023/01/24(火)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				107
109.	2023/01/24(火)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				108
110.	2023/01/26(木)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				113
111.	2023/01/26(木)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				114
112.	2023/01/26(木)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	— —			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				

	講義資料番号/連番(LMS)				115
113.	2023/01/26(木)	4時限	実習	—	13:55-15:05
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				116
114.	2023/01/26(木)	5時限	実習	—	15:15-16:25
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				117
115.	2023/01/26(木)	6時限	実習	—	16:35-17:45
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				118
116.	2023/01/27(金)	1時限	実習	—	09:00-10:10
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				119
117.	2023/01/27(金)	2時限	実習	—	10:25-11:35
	タイトル	臨床基礎実習			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				120
118.	2023/01/27(金)	3時限	実習	—	12:30-13:40
	タイトル	自己学修			
	担当者(所属)	—			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				121
119.	2023/01/27(金)	4時限	試験	—	13:55-15:05
	タイトル	CPO試験 13:55~15:05 (講義室203)			
	担当者(所属)	佐藤 麻子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				122

セグメント8「臨床基礎実習」ローテーション表 1/17~1/28

〈臨床基礎実習〉

- 病 ……病理診断(本院)
- 東 ……東洋医学(本院) ※301講義室
- CPC ……病理学実習
- 安 ……医療安全(本院) ※301講義室
- 臨研 ……臨床研究(本院) ※チュートリアル室29、30(連結)

時間 ……1・2限: 9:00~11:35
 ……3・4限: 12:30~15:05
 ……5・6限: 15:15~17:45

月		2023年1月																																																	
日	16						17						18						19						20	21	23						24						25	26						27					
曜日	月		火		水		木		金		土		日		月		火		水		木		金																												
時限	1-2	3-4	5-6	1-2	3-4	5-6	1-2	3-4	5-6	1-2	3-4	5-6	1-2	3-4	5-6	終日	終日	1-2	3-4	5-6	1-2	3-4	5-6	終日	1-2	3-4	5-6	1-2	3	4	5	6																			
1G	病	病		29.30 臨研	CPC		CPC					CPC						CPC																																	
2G		CPC		CPC	29.30 臨研													CPC																																	
3G		CPC		301 安	CPC		29.30 臨研											CPC																																	
4G				301 安	CPC		CPC	29.30 臨研				CPC						CPC																																	
5G		29.30 臨研		病	病		CPC			301 安		CPC						CPC																																	
6G				CPC						301 安	29.30 臨研	CPC						CPC																																	
7G	301 安	CPC		CPC			CPC											29.30 臨研	CPC		病	病	CPC																												
8G	301 安			CPC														CPC	29.30 臨研																																
9G				CPC			CPC			病	病	CPC						CPC	CPC																																
10G				CPC			CPC											CPC		29.30 臨研																															
11G		CPC		CPC			301 安											CPC		29.30 臨研																															
12G		CPC		CPC			301 安											CPC																																	
13G		CPC		CPC														301 安	CPC																																
14G				CPC	CPC		病	病										301 安	CPC																																
15G		CPC		CPC			CPC			29.30 臨研								CPC																																	
16G	29.30 臨研	CPC		CPC			CPC											病	病																																

OSCE前自己学修日

OSCE

C B T追・再試験

自己学修

C P C試験(2003講義室)

セグメント9臨床実習前オリエンテーション(2003講義室)

Student Doctor 証用写真撮影(2003講義室)

臨床基礎実習

生化学・免疫

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

- 1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
I-1-A-(3-4)-①
- 2) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
- 3) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
- 4) 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
- 5) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
- 6) データ・結果の根拠を批判的に説明できる。I-5-A-(3-4)-①
- 7) 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。I-5-A-(3-4)-②
- 8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。
II-2-A-(3-4)-②
- 9) 自分の選択・判断の根拠を説明できる。II-4-A-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

- 1) Reversed CPR を行い、試問により評価する。

(2) 評価項目

- 1) 血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。D-1-2)③
- 2) 自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。E-4-1)①
- 3) 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。F-2-3) ①
- 4) 臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。 F-2-3) ②
- 5) 臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。F-2-3) ③
- 6) 臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。F-2-3) ④
- 7) 臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。F-2-3) ⑤
- 8) 小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。 F-2-3) ⑥
- 9) 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。F-2-3) ⑦
- 10) 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3) ⑧
- 11) 免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3) ⑩

(3) 評価基準

上記評価項目について試問を行い、評価者による点数化を行い、5. きちんとよく理解している、4. よく理解している、3. 平均的に理解している、2. 最低限は理解している、1. 理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

- 1) 金井正光 編著 臨床検査法提要改訂第34版 金原出版 2015
- 2) 高木康・山田俊幸 編集 標準臨床検査医学(第四版) 医学書院 2013
- 3) 矢富裕 編集 臨床検査医学総論 医学書院 2012
- 4) 日本臨床検査医学会ガイドライン作成委員会編 臨床検査のガイドライン JSLM 検査値アプローチ/症候/疾患 2015
- 5) 日本臨床衛生検査技師会編 臨床検査精度管理教本 2020

実習表

【本院】

実習係 古屋実 (内線 27389)
 連絡係 佐藤麻子 (PHS 28769)
 集合場所 臨床検査科 学生実習室

【足立医療センター】

実習係 佐藤浩一郎 (PHS 31397)
 連絡係 加藤博之 (PHS 31396)
 集合場所 4F 中会議室 4

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	足立
1. 臨床検査値の読み方総論。 1) 基準範囲、臨床判断値 2) 検査結果に影響を及ぼす因子 3) 測定法 2. 生化学分析の実習（比色分析など）。 3. 免疫血清学測定の実験の原理の説明。EIA法 (CLEIA, ECLIA, FAIA等)の説明。 4. 患者資料を用いた免疫血清検査（インフルエンザなど）の実習。 5. Reversed CPCによる検査結果の解釈と評価。 6. 検査室を見学し、採血から検査結果報告までの流れを理解する。	中央病棟 地下1階 臨床検査科 学生実習室 佐藤麻子 菅野宙子 古屋実 名執由紀 細羽恵美子	4F 総合医科学研究所分室 24714 検査科： 加藤博之、 佐藤浩一郎 古市好宏 下嶋理恵子 小林葉子 浅野直仁 土屋蘭菜 病理診断科： 増永敦子

持参すべき物品：白衣、名札、ゴーグル、マスク

血液

アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号

- 1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
I-1-A-(3-4)-①
- 2) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
- 3) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
- 4) 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
- 5) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
- 6) データ・結果の根拠を批判的に説明できる。I-5-A-(3-4)-①
- 7) 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。I-5-A-(3-4)-②
- 8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。
II-2-A-(3-4)-②
- 9) 自分の選択・判断の根拠を説明できる。II-4-A-(3-4)-①

学修(教育)方法

実習

評価方法

(1) 総括的評価の対象

- 1) 末梢血塗抹標本で末梢血白血球5分類ができる。
- 2) 末梢血・骨髓塗抹標本で特徴的疾患を類推できる。
- 3) 凝固異常について説明し、異常データから疾患を類推できる。
これらについての試問および小試験により評価を行う。

(2) 評価項目

- 1) 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。D-1-1)⑥
- 2) 白血球の種類と機能を説明できる。D-1-1)⑦
- 3) 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。D-1-1)⑧
- 4) 末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。D-1-2)①
- 5) 骨髓検査(骨髓穿刺、骨髓生検)を説明できる。D-1-2)②
- 6) 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3)⑧

(3) 評価基準

上記評価項目について試問を行い、評価者による点数化を行い、5. きわめてよく理解している、4. よく理解している、3. 平均的に理解している、2. 最低限は理解している、1. 理解が不十分である、のいずれかとして判定し、3以上を合格とする。

参考図書

- 1) 矢富裕・通山薫 標準臨床検査学 血液検査学 第1版 医学書院 2012年
- 2) 医療情報科学研究所「病気がみえる」Vol.5 血液 メディックメディア 2017年
- 3) 月刊誌「治療」 Vol.92 No.10 血液疾患の診かた 南山堂 2010年

実習表

【本院】

実習係 田村孝子 (内線 21059)
 連絡係 佐藤麻子 (PHS 28769)
 集合場所 臨床検査科 学生実習室

【足立医療センター】

実習係 佐藤浩一郎 (PHS 31397)
 連絡係 加藤博之 (PHS 31396)
 集合場所 4F 中会議室 4

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	足立
1. 血算・凝固検査の基礎と疾患について総論。 2. 用手法により APTT を実習し、凝固の仕組みを理解する。 3. 正常白血球分類についてセルバイセルで説明。 4. 特徴的な血液疾患について顕鏡にて説明。	中央病棟 地下1階 臨床検査科 学生実習室 佐藤麻子 菅野宙子 田村孝子 近藤真樹 菊地千絵 金子有希	4F 総合医科学研究所分室 24714 検査科： 加藤博之、 佐藤浩一郎 古市好宏 下嶋理恵子 小林葉子 浅野直仁 土屋蘭菜 病理診断科： 増永 敦子

持参すべき物品：白衣、名札、ゴーグル、マスク

輸血療法

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②
 - 2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。F-2-13)①
 - 2) 血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合(クロスマッチ)試験、不規則抗体検査を説明できる。F-2-13)②
 - 3) 輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。F-2-13)③
 - 4) 輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。F-2-13)④
 - 5) 臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。F-2-13)⑤
 - 6) 移植と組織適合性の関係を説明できる。F-2-13)⑥
 - 7) 移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。F-2-13)⑦
 - 8) 免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。F-2-13)⑧

3. 評価方法
 - 1) 上記到達目標に達しているか否かを判断する口頭試問

4. 参考図書
 - 1) 図解臨床輸血ガイドーイラストでわかる、輸血の基本戦略 山本晃士 編(文光堂)
 - 2) 輸血学 (改訂第4版) 前田平生、大戸 斉、岡崎 仁 編(中外医学社)
 - 3) Mollison's Blood Transfusion in Clinical Medicine, 11th ed. Klein HG, Anstee DJ. Oxford: Blackwell Publishing, 2006.

実習表

実習係 槍澤大樹 (PHS 28928)

連絡係 緒方康貴 (PHS 23021)

集合場所 西病棟地下 1F 輸血・細胞プロセシング部

実習内容	実習場所 実習担当者
<p>輸血検査と患者確認の方法</p> <ol style="list-style-type: none">1. ABO 血液型、Rh 血液型の判定2. 血液製剤取り扱いの基本3. 検体採血時・輸血開始時の三点チェック <p>輸血療法の基本</p> <ol style="list-style-type: none">1. インフォームド・コンセント2. 輸血療法の適応と適正輸血3. 副作用発生時の対応	<p>実習場所： 西病棟地下 1F 輸血・細胞プロセシング部 <u>レストラン前の自己血採血室からは入室しないようお願いします。(自動扉側より入室)</u></p> <p>実習担当者： 菅野 小林 槍澤 川上 中原</p>

持参すべき物品：白衣、筆記用具

病理診断

1. 一般到達目標（ロードマップ）

- 1) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
- 2) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(3-4)-①
- 3) 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。
I-6-B-(3-4)-③
- 4) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
II-2-A-(3-4)-②
- 5) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
II-5-B-(3-4)-②

2. 具体的到達目標

- 1) 病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。F-2-4)-①
- 2) 診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。F-2-4)-②
- 3) 術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。F-2-4)-③
- 4) デジタル画像を用いた病理診断（遠隔診断を含む）の利点、欠点を説明できる。F-2-4)-④
- 5) 病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明
- 6) できる。F-2-4)-⑤

3. 評価方法

フリーディスカッションの内容による指導医の評価

4. 参考図書

- 1) Basic Pathology 10th ed. Kumar et al. Elsevier 2017
- 2) 解明病理学(第4版) 青笹克之編 医歯薬出版 2021
- 3) 器官病理学 笠原正典、石倉 浩、佐藤昇志 編 南山堂 2013
- 4) Robbins and Cotran Atlas of Pathology. Klatt eds. Saunders 2008
- 5) 日本病理学会 病理コア画像
<http://pathology.or.jp/corepicture2010/index.html>
- 6) 正常画像と比べてわかる病理アトラス(改訂版)
下 正宗、長嶋洋治 編 羊土社 2015

実習表

【本院】

実習係 長嶋洋治 (PHS 29611)
 連絡係 長嶋洋治 (PHS 29611)
 集合場所 西病棟 A2 階病理診断科セミナー室

【八千代医療センター】

実習係 中澤匡男 PHS 7912
 連絡係 中澤匡男 PHS 7912
 集合場所 外来棟 4 階図書館前

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	八千代
病理診断学実習 1. 症例の臨床情報の検討 2. 基本的な標本作製過程の見学と理解 3. 病理診断システムの操作と診断の実践	西病棟 A2 階 病理診断科・病理検査室 長嶋洋治	入院棟 2 階 病理診断科 中澤匡男

持参すべき物品：白衣、筆記用具

微生物

1. 一般到達目標（ロードマップ）

- 1) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
- 2) 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②
- 3) 適切な診療ガイドラインを選択できる。I-3-A-(3-4)-②
- 4) 医療チームでの情報共有について説明できる。I-4-C-(3-4)-②
- 5) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(3-4)-①
- 6) 医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。
II-2-A-(3-4)-②
- 7) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
II-5-B-(3-4)-②

2. 具体的到達目標

- 1) 微生物迅速検査、特にグラム染色の有用性、限界について説明でき、手技を実際に施行できる。E-2-2) ②③④、F-2-3) ⑬
- 2) 大まかな病原菌を挙げられ、その形態的特徴を述べるができる。
E-2-2) ①
- 3) 常在菌の意義と病院感染、耐性菌選択との関係を説明できる。E-2-1) ②
③④⑤
- 4) 微生物同定方法と結果の解釈について説明できる。E-2-2) ③④⑤、
F-2-3) ⑬
- 5) 微生物感受性検査方法の原理、解釈、治療への反映について説明できる。
E-2-1) ①、E-2-2) ⑤⑥、F-2-3) ⑬
- 6) 適切な微生物検査提出の方法、タイミングについて説明できる。E-2-1)
①、E-2-2) ②③④、F-2-3) ⑬
- 7) 微生物検査の特殊性と限界について理解できる。E-2-2) ②③④、F-2-3)
⑬
- 8) 病院感染で問題となる微生物とその感染対策について説明できる。
E-2-1) ②③④

3. 評価方法

- 1) 常在菌の培養、同定実習と微生物検査室での感染症検査の流れを、レポートで提出。

4. 参考図書

- 1) 臨床微生物検査ハンドブック第4版 小栗豊子編 三輪書店
- 2) 新・カラーアトラス微生物検査 山中喜代治編 医歯薬出版株式会社

実習表

実習係 菊池 賢 (PHS 28921)

連絡係 菊池 賢 (PHS 28921)

集合場所 201 ないし 301 講義室

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 常在菌のコロニー観察とグラム染色	201 ないし 301 講義室
2. MALDI-TOF MS を用いた微生物の同定	菊池 賢
3. 微生物検査室における培養検査の流れ、実際の感染症患者から分離された微生物のコロニー、同定パネル、感受性試験を見て、病原菌と常在菌の違い、意義について討論	

COVID-19 のリスクを考慮し、シミュレーションによる実習を予定。

当日持参すべき物品：筆記用具

気道管理/FIRST AID

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
 - 2) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
 - 3) 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①

2. 具体的到達目標
 - 1) 基本的医療技能を実践できる。A-3-1)⑥
 - 2) 安全に配慮して、医療を実践できる。A-6-1)⑤
 - 3) 患者に合わせた診断・治療ができる。F-3-6)-(4)-②
 - 4) 救命救急処置が必要な患者を判断できる。G-3-4)①
 - 5) 気道の確保と管理ができる。F-2-10)⑤
 - 6) 応急手当ができる。D-4-4)-(1)-①

3. 評価方法
 - 1) 実習時の態度と理解度評価（最後に確認テストを行う）

4. 参考図書
 - 1) 「改訂5版 救急蘇生法の指針（市民用）」、「改訂5版 救急蘇生法の指針（市民用・解説編）」監修：日本救急医療財団心肺蘇生法委員会
編著：日本版救急蘇生ガイドライン策定小委員会 発行所：株式会社へるす出版
 - 2) BLS インストラクターガイド 東京法令出版
 - 3) 日本赤十字 救急法講習本 日赤サービス出版
 - 4) Practical First Aid British Red Cross
 - 5) 「改訂5版 外傷初期診療ガイドライン JATEC」監修：日本外傷学会・日本救急医学会 編集：日本外傷学会初期診療ガイドライン改訂第5版編集委員会

実習表

実習係 武田宗和 (PHS 28911)

連絡係 並木みずほ (PHS 28912)

集合場所 女性生涯教育支援センター／本部棟 医療人統合教育学修センター

実習内容	実習場所 実習担当者
気道管理 1. 気道の確保 2. 用手換気 3. 気管挿管	女性生涯教育支援センター／医療人統合教育学修センター 武田宗和、並木みずほ
FIRST AID 外傷と急病の応急手当 1. 外傷の手当て：包帯法と固定法 2. 急病の手当て	女性生涯教育支援センター／医療人統合教育学修センター 並木みずほ

持参すべき物品：聴診器、白衣、ゴーグル、マスク

法医（中毒学・Ai）

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①

2. 具体的到達目標
 - 1) 中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。E-5-1)①
 - 2) 一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。
E-5-3)-(1)②
 - 3) 有機リン剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。
E-5-3)-(1)③
 - 4) 重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。
E-5-3)-(1)④
 - 5) アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。
E-5-3)-(1)⑤
 - 6) 医薬品による中毒を説明できる。E-5-3)-(1)⑥
 - 7) 死亡時画像診断（オートプシー・イメージング；Ai）の適用、利点、限界を説明できる。E-9-1)③

3. 評価方法
 - 1) 実習への参加
 - 2) 検査結果の判定・レポートの作成

4. 参考図書
 - 1) 鈴木修、屋敷幹雄、編. 薬毒物分析実践ハンドブック、じほう、2002年
 - 2) 上條吉人. 臨床中毒学、医学書院、2009年

5. 注意事項
 - 1) 遅刻、私語、居眠りはご遠慮下さい。
 - 2) 白衣を着用し、白衣のボタンを全て合わせて下さい。
 - 3) 頭髪の肩にかかる人は頭髪をゴムで束ねておいて下さい。頭髪があまり長くない人も束ねて頂くことがあるためゴムを持参して下さい。
 - 4) 運動靴を履いてきて下さい。
 - 5) 持参物は筆記具のみとし、荷物は各自ロッカーに置いてきて下さい。防寒用コートを着用して来てもかまいません。ハンガーを用意しています。
 - 6) 携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用はできません。
 - 7) 試料を取り扱うときはニトリル手袋を着用して下さい。
 - 8) レポートは実習当日中に提出して下さい。
 - 9) 遅刻、私語、居眠りをする方、白衣のボタンを全て合わせない方、長い頭髪をゴムで束ねない方、運動靴以外の靴を履く方、荷物を持参する方、携帯電話・スマートフォン・タブレットを使用する方は受講ができません。
 - 10) 当教室への連絡にはメールをお送り下さい。電話はご遠慮下さい。
 - 11) 欠席は当方で把握しますので、欠席の連絡は不要です。

実習表

実習係 中尾賢一朗 (nakao.kenichiro@twmu.ac.jp)
 連絡係 木林和彦 (kibayashi.kazuhiko@twmu.ac.jp)
 集合場所 巴研究教育棟 1階正面入口内

実習内容	実習場所 実習担当者
<p>中毒学</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 急性中毒に関する知識の確認 2. 検体の採取、保管、提出の方法 <p>薬物の定性・定量検査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分光光度計を用いた一酸化炭素ヘモグロビンの定量検査 2. ガスクロマトグラフ分析計 (GC) を用いたアルコールの定性・定量検査 3. ガスクロマトグラフ・質量分析計 (GC-MS) を用いた乱用薬物の定性・定量検査 4. 液体クロマトグラフ・タンデム質量分析計 (LC-MS・MS) を用いた医薬品の定性・定量検査 5. 液体クロマトグラフ四重極飛行時間型質量分析計 (LC-QTOF-MS) を用いた自然毒の定性検査 6. 検査結果の判定 <p>死亡時画像診断 (オートプシー・イメージング ; Ai)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適用、利点、限界の確認 2. 法医解剖例の画像診断 	<p>全員が巴研究教育棟 1階正面入口内に集合する。その後 2組に分かれる。</p> <p>巴研究教育棟 1階 法医検査室・CT室・関係者控室 巴研究教育棟 4階 会議室</p> <p>教授 木林和彦 准教授 島田 亮 講師 多木 崇 准講師 中尾賢一朗 助教 町田光代 助教 多々良有紀</p>

持参すべき物品：白衣と筆記用具（その他は持参しないで下さい。白衣のポケットに入らない大きな筆箱は持参しないで下さい。防寒用コートを着用して来てもかまいません）

臨床基礎実習

心電図

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 基本的医療技術を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
 - 2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
 - 3) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
II-2-A-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。D-5-1)-③
 - 2) 興奮収縮連関を概説できる。D-5-1)-④
 - 3) 心電図の主な所見を説明できる。D-5-2)-①
 - 4) 生体機能検査（心電図）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
F-2-3)-⑫

3. 評価方法
 - 1) 正しい位置に電極を装着し12誘導心電図記録ができる。
 - 2) 記録した心電図の基本的所見（調律、心拍数、軸、PQ時間、Q波、QRS幅、ST変化、移行帯など）を述べることができる。

4. 参考図書
 - 1) 図解心電図テキスト Dale Dubin 著 文光堂
 - 2) わかりやすい心電図の読み方 Ken Grauer 著 Medical View

実習表

実習係 関口治樹 (PHS 28418)
連絡係 医局秘書 (内線 23111)
集合場所 本部/女性生涯教育支援センター1階
医療人統合教育学修センター

実習内容	実習場所 実習担当者
<p>心電図の記録法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識の再確認 2. 心電図記録スキルの習得 <p style="padding-left: 40px;">シミュレーターで確認した後、お互いで実際に心電図をとる</p> <p>心電図所見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知識の再確認 2. 心電図所見の読影と解釈 	<p>医療人統合教育学修センター (スキルズラボ2)</p> <p>山口淳一・佐藤加代子・嵐 弘之・南 雄一郎・鈴木敦・上野敦子・菊池規子・鈴木真由美・芦原京美・坂井晶子・関口治樹・柳下大悟・中尾優・春木伸太郎・大槻尚男・斎藤千紘・服部英敏・小暮智仁・沼田まどか・稲垣裕介・中澤まゆい・曾根麻衣子・矢崎恭一郎・中尾梨紗子・片岡翔平・梶山恒・野本美智留・長谷川瞬・春木薫・吉田彩乃</p>

持参すべき物品：筆記用具

臨床基礎実習

心エコー

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 基本的医療技術を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
 - 2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
 - 3) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
II-2-A-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 心臓超音波検査の主な所見と心腔内の形態（左心房、右心房、左心室、右心室、大動脈弁、僧帽弁、三尖弁など）を説明できる。D-5-2)-②
 - 2) 生体機能検査（超音波検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。F-2-3)-⑫
 - 3) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7)-①
 - 4) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7)-②
 - 5) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7)-③

3. 評価方法
 - 1) 基本的断面（傍胸骨左縁長軸断層像・短軸断層像、心尖部四腔像・三腔像・二腔像など）を描出することができる。
 - 2) 描出された心臓超音波画像の解剖学的な位置・部位を説明できる。

4. 参考図書
 - 1) 心臓超音波テキスト 日本超音波検査学会 医歯薬出版
 - 2) 心エコーハンドブック 基礎と撮り方 竹中 克ら 金芳堂
 - 3) 新・心臓病診療プラクティス〈1〉心エコー図で診る 中谷 敏ら 文光堂

腹部エコー

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
 - 2) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
 - 3) 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。II-1-B-(3-4)-①

2. 具体的到達目標
 - 1) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7) ①
 - 2) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7) ②
 - 3) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7) ③
 - 4) 超音波を用いる治療を概説できる。F-2-7) ④
 - 5) 超音波の生体作用と安全性を説明できる。F-2-7) ⑤
 - 6) 超音波造影法を説明できる。F-2-7) ⑥
 - 7) 検査に際して患者の状態に応じた配慮ができる。A-4-2) ①
 - 8) 超音波検査シミュレータを用いた反復練習をすることで臨床技能を磨く。G-4-4) ①

3. 評価方法
 - 1) 超音波検査の施行意義、原理、種類、代表疾患の画像、治療、安全性について説明できる。
 - 2) 超音波検査を行う過程でのシミュレーションを行なうことができる。
 - 3) 患者に配慮した超音波検査を行なうことができる。

4. 参考図書
 - 1) チャレンジ！超音波走査(上巻, 下巻). CareNet DVD

実習表

実習係 片桐 聡 (PHS 28556)
連絡係 高山敬子 (PHS 28500)
集合場所 本部/女性生涯教育支援センター1階
医療人統合教育学修センター

実習内容	実習場所 実習担当者
<ol style="list-style-type: none">1. 知識の再確認2. 患者への対応3. 超音波検査における基本的な走査4. 超音波検査の実際	医療人統合教育学 修センター 片桐 聡 高山敬子 山下信吾 佐川孝臣 堀内健太郎

持参すべき物品：

内視鏡

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。
I-1-A-(3-4)-①
 - 2) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
 - 3) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
 - 4) 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②
 - 5) 基本的医療技能を示すことができる。I-1-C-(3-4)-①
 - 6) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
 - 7) 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。I-4-A-(3-4)-①
 - 8) 医師として必要な知識、技能、態度を述べるができる。
II-2-A-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。A-3-1-③
 - 2) 消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。D-7-2-③
 - 3) 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。D-7-2-④
 - 4) 内視鏡機器の種類と原理を説明できる。F-2-6-①
 - 5) 内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-6-②
 - 6) 内視鏡を用いる治療を概説できる。F-2-6-③
 - 7) シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。
G-4-4-①

3. 評価方法
 - 1) 出席状況、実習の態度
 - 2) 内視鏡像を用いた試問

4. 参考図書
 - 1) 藤城光弘編：消化管内視鏡診断テキスト（1）食道・胃・十二指腸 第4版、文光堂 2017
 - 2) 多賀須幸男、櫻井幸弘：上部消化管内視鏡スタンダードテキスト、医学書院 2010
 - 3) 芳野純治、川口 実、浜田 勉編：内視鏡所見のよみ方と鑑別診断 上部消化管 第2版、医学書院 2007

実習表

【本院】

実習係 野中 康一 (PHS 28560)

連絡係 岸野 真衣子 (PHS 28524) / 太田 正穂 (PHS 28566)

集合場所 本部/女性生涯教育支援センター1階
医療人統合教育学修センター

実習内容	実習場所／実習担当者	
	本院	八千代
<p>内視鏡</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実際の内視鏡、視覚素材を用いて、その構造を学修する。 2. 内視鏡シミュレータもしくは胃モデルを用いて、内視鏡の操作、検査法を体験する。 3. 系統解剖の知識を復習し、内視鏡像からみた臨床解剖（臓器や部位）と対比する。 4. 内視鏡像、動画により、代表的疾患や治療内視鏡を学修する。 	<p>女性生涯教育支援センター1階 医療人統合教育学修センター</p> <p>中村 真一 岸野 真衣子 高山 敬子 大森 鉄平 太田 正穂 谷口 清章</p>	<p>外来棟 2階内視鏡室モニタールーム</p> <p>外来棟 4階第4会議室</p> <p>西野 隆義 太田 正穂 濱野徹也 新村 秀樹</p>

持参すべき物品：

臨床基礎実習

東洋医学

1. 一般到達目標（ロードマップ）

- 1) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
- 2) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
- 3) 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②
- 4) 傾聴できる。II-1-A-(3-4)-①
- 5) 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。
II-2-A-(3-4)-②
- 6) 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。II-3-A-(3-4)-①
- 7) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
II-5-B-(3-4)-②

2. 具体的到達目標

- 1) 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。F-2-8)⑬
- 2) 当該診療科の基本的な診察技能について学ぶ。G-4-2)④

3. 評価方法

実習（出席 80%、診察実技 20%）により評価する。

4. 参考図書

本 題 名	著者・編者	出版社	出版年
やさしい東洋医学	伊藤 隆、木村容子、蛭子慶三	ナツメ社	2016 年
医学生のための東洋医学入門	東京女子医大東洋医学研究所編	図書館蔵書	
学生のための漢方医学テキスト	日本東洋医学会 学術教育委員会編	南江堂	2007 年
基本がわかる 漢方医学講義	日本漢方医学教育協議会編	羊土社	2020 年
漢方治療ハンドブック	佐藤 弘	南江堂	1999 年
漢方治療のファーストステップ	松田邦夫、稲木一元	南山堂	1999 年
東洋医学概説 22 刷	長濱善夫	創元社	1992 年

実習表

実習係 宮川亨平 (TEL 6709-9024)
連絡係 二木友香 (TEL 6709-9024)
集合場所 彌生記念教育棟 講義室

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 診察実習 東洋医学の診察法 「四診」 望診：視診、舌診 聞診：聴診、嗅診 問診：問診 切診：触診、脈診、腹診	彌生記念教育棟 講義室 (大谷かほり)
2. 鍼灸実習 経穴の探り方 鍼の刺し方、お灸のすえ方	彌生記念教育棟 講義室 (蛭子慶三)
3. 生薬実習 1) 主な生薬について 2) 生薬に触れてみる	彌生記念教育棟 講義室 (宮川亨平)

持参すべき物品：マスク、ゴーグル、筆記用具

「医学生のための東洋医学入門」テキスト(S7で配布)

臨床基礎実習

医療安全

1. 一般到達目標(ロードマップ)
 - 1) 医療安全に必要な配慮を示すことができる。I-1-C-(3-4)-②
2. 具体的到達目標
 - 1) 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)はもとより、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)が重要であることを説明できる。A-6-1)②
 - 2) 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録(カルテ)改竄の違法性を説明できる。A-6-1)③
 - 3) 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。A-6-1)①
 - 4) 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。A-6-1)⑤
 - 5) 医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害、医療過誤(事例や経緯を含む)、やってはいけないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立つための分析の重要性を説明できる。A-6-1)④
 - 6) 基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フルプルーフの考え方等)を概説し、指導医の指導の下に実践できる。A-6-2)④
3. 評価方法
 - 1) グループワークへの積極的な参加を評価する。
 - 2) グループワークで与えられた役割を適切に発揮するために努力していることを評価する。
 - 3) グループワークにおいて他の人に良い影響を与えるような態度や行動を実践できるかどうかを評価する。
4. 参考図書
 - 1) 患者安全推進ジャーナル別冊 危険予知トレーニングブック
財団法人日本医療機能評価機構編集 認定病院患者安全推進協議会発行
 - 2) 医療安全ワークブック 川村治子著 医学書院発行
 - 3) ナース専科 BOOKS こうすればできる安全な看護[改訂版]
東京医科大学病院看護部安全対策委員会 監修 デジタルブレーン 発行

実習表

実習係 寺崎 仁 (PHS 28120)

連絡係 岡部英明 (PHS 28976)

集合場所 弥生記念教育棟 201 講義室

実習内容	実習場所 実習担当者
<p>医療安全</p> <ol style="list-style-type: none">1. 日常生活に潜む危険予知2. 医療行為に潜む危険予知3. 察知した危険を共有するためのコミュニケーション	<p>弥生記念教育棟 201 講義室</p> <p>寺崎 仁 松村剛毅</p>

持参すべき物品：筆記用具、医療安全ポケットマニュアル

臨床基礎実習

臨床研究

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①
 - 2) 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。
Ⅱ-5-B-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。B-3-1)①
 - 2) 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。
B-3-1)②
 - 3) 臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準（Good Clinical Practice <GCP>）、治験審査委員会・倫理審査委員会（institutional review board <IRB>）を説明できる。B-3-1)③
 - 4) 模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身につける。G-4-4)②

3. 評価方法
 - 1) 模擬被験者を用いた同意取得技能の評価

4. 参考図書
 - 1) 臨床試験の進め方 大橋 靖雄（編集），荒川 義弘（編集） 南江堂
 - 2) IRB ハンドブック 第2版—臨床研究の倫理性確保、被験者保護のために ロバート J. アムダー（著），エリザベス・A・バンカード（著），栗原 千絵子（翻訳），斉尾武郎（翻訳） 中山書店

実習表

実習係 研究推進センター
センター長・教授 時田 大輔
連絡係 小早川 直美 (内線 38276)
集合場所 _____

実習内容	実習場所 実習担当者
1. 被験者同意取得のロールプレイ	時田 大輔 村垣 善浩 佐藤 康仁 浜田 幸宏

持参すべき物品：配布資料（治験実施計画書、同意説明文書）、筆記用具、白衣

臨床基礎実習

CPC

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。I-1-A-(3-4)-①
 - 2) 疾患、症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
 - 3) 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。I-2-B-(3-4)-②

2. 具体的到達目標
 - 1) 必要な課題を自ら発見できる。A-2-1)-①
 - 2) 自分に必要な課題を、重要性、必要性に照らして順位付けできる。A-2-1)-②
 - 3) 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。A-2-1)-③
 - 4) 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。A-2-1)-④
 - 5) 適切な自己評価ができ、改善のため具体的方策を立てることが出来る。A-2-1)-⑤

3. 評価方法
 - 1) 出席状況と実習に対する取り組みの態度
 - 2) 実習症例および関連する病理学的事項についての筆記試験

4. 参考図書
 - 1) Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease. 10th ed. Kumar et al. Elsevier 2021
 - 2) 標準病理学 第6版 北川昌伸/仁木利郎 編 医学書院 2019
 - 3) 組織病理アトラス 第6版 深山正久 編 文光堂 2015
 - 4) 日本病理学会 病理コア画像
<https://pathology.or.jp/corepictures2010/>

実習表

実習係	増井 憲太 (内線 31426)
連絡係	増井 憲太
集合場所	大実習室 3

実習内容	実習場所 実習担当者
<p>PC 上の提示される症例に関して、問題に解答する事で、以下の項目を学修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病理解剖症例（剖検例）の臨床経過を説明できる。 2. 剖検例の臨床診断を理解できる。 3. 剖検例の臨床上の問題点を抽出できる。 4. 剖検例の諸臓器の肉眼所見を説明できる。 5. 剖検例の組織学的所見を説明できる。 6. 剖検例の病理診断を理解できる。 7. 臨床上の問題点について病理学的な説明が出来る。 8. 剖検例の病因と病態を説明し、死に至る過程を総合的に理解できる。 <p>通常、PC 上で解答を行うが、例外的に筆記による考察作成を行う場合がある。</p>	<p>大実習室 3</p> <p>病理学講座（人体病理学・病態神経科学分野）： 増井・加藤・岡村</p> <p>病理診断科： 山本・種田・吉澤 ・井藤</p>

持参すべき物品：白衣、筆記用具

放射線診断演習

1. 一般到達目標（ロードマップ）
 - 1) 疾患・症候の病態を説明できる。I-1-A-(3-4)-④
 - 2) 診断の過程を説明し実践できる。I-1-B-(3-4)-①
 - 3) 適切な治療法とその根拠を説明できる。I-1-B-(3-4)-②
 - 4) 適切な診療ガイドラインを選択できる。I-3-A-(3-4)-②
 - 5) 診療上のエビデンスを選ぶことができる。I-5-B-(3-4)-①

2. 具体的到達目標
 - 1) 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。A-3-1)-③
 - 2) 問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。F-2-1)-①
 - 3) 診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。F-2-1)-④
 - 4) 状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。F-2-1)-⑥
 - 5) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の原理を説明できる。F-2-5)-①
 - 6) エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。F-2-5)-②
 - 7) 放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。F-2-5)-④
 - 8) インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。F-2-5)-⑤
 - 9) 超音波機器の種類と原理を説明できる。F-2-7)-①
 - 10) 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。F-2-7)-②
 - 11) 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。F-2-7)-③
 - 12) 超音波の生体作用と安全性を説明できる。F-2-7)-⑤
 - 13) 基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。F-3-1)-①
 - 14) 得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。F-3-1)-②
 - 15) 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。F-3-1)-③
 - 16) 主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。F-3-1)-④
 - 17) 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。G-4-2)-①
 - 18) 疾患の病態や疫学を理解する。G-4-2)-②
 - 19) 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。G-4-2)-④

3. 評価方法
 - 1) E-learning による設問に解答し、コースに設定された採点方法で評価。
 - 2) 実習の理解度や到達度を総合的に評価。

4. 参考図書

- 1) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス(第4版)第I巻 町田徹 監訳 MEDSi 2015
- 2) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス(第4版)第II巻 町田徹 監訳 MEDSi 2015
- 3) CT/MRI 画像解剖ポケットアトラス(第4版)第III巻 町田徹 監訳 MEDSi 2018
- 4) 標準放射線医学(第7版)西谷弘・他 編集 医学書院 2011
- 5) 画像診断ガイドライン2021年版 日本医学放射線学会、日本放射線専門医会・医会 編 金原出版 2021
- 6) Radiology Review Manual (8th Edition) W.Daehnert WOLTERS KLUWER 2017
- 7) 核医学テキスト 絹谷清剛 編 中外医学社 2013
- 8) 最新臨床核医学(第3版)久田 欣一 監修 金原出版 1999
- 9) TNM 悪性腫瘍の分類 日本語版(第8版) UICC 日本委員会 TNM 委員会 訳 金原出版 2017
- 10) 脳MRI 1 正常解剖(第2版) 高橋昭喜 編著 学研メディカル秀潤社 2005
- 11) 脳MRI 2 代謝・脱髄・変性・外傷・他 高橋昭喜 編著 学研メディカル秀潤社 2008
- 12) 脳MRI 3 血管障害・腫瘍・感染症・他 高橋昭喜 編著 学研メディカル秀潤社 2010
- 13) 脳脊髄のMRI(第2版)細矢貴亮 他編 MEDSi 2009
- 14) 新版胸部単純X線診断 画像の成り立ちと読影の進め方(第2版) 林邦昭、中田肇 編著 学研メディカル秀潤社 2000
- 15) 胸部のCT(第4版) 村田喜代史・他 編著 MEDSi 2018
- 16) 腹部のCT(第3版) 陣崎雅弘 監修 MEDSi 2017
- 17) 腹部のMRI(第3版) 荒木力 編集 MEDSi 2014
- 18) 関節のMRI(第3版) 上谷雅孝・他 編集 MEDSi 2020
- 19) IVR マニュアル(第2版) 栗林幸夫・他 編集 医学書院 2011
- 20) 新 乳房画像診断の勘ドコロ 高橋雅士 監修 メジカルビュー社 2016

実習係 坂井 修二 (PHS 28258)
 連絡係 市山 貴子 (内線 37526)
 集合場所 彌生記念教育棟 大実習室3

実習内容	実習場所
1. PC を用いた e-learning	彌生記念教育棟 大実習室3
実習担当者 坂井修二・長尾充展・阿部香代子・森田 賢・鈴木一史・早野敏郎・金子恒一郎・仁品 祐・坂井鈴子・太田貴美・矢崎倫世・今村由美 小川悠子・平石卓也・山本敬洋・山本篤志・遠藤創太	

持参すべき物品：筆記用具

縦断教育科目

科目名	「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)	西村 勝治

到達目標	<p>教育理念 本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めてはならない。「至誠と愛」の実践学修では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの6本の柱の下に構成されている。</p> <p>【6本の柱】 (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力(患者を理解する力、支持する力、意志を通ずる力、患者医師関係) (2) 専門職としての使命感(医学と社会に奉仕する力) (3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ (4) 医療人としての倫理—解釈と判断(法と倫理に基づく実践力) (5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル(医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢) (6) 自校の理念、歴史を知る(自校教育)</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p>適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-②</p> <p>医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-①</p> <p>患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②</p> <p>問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-①</p> <p>未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②</p> <p>適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-①</p> <p>結果の客観的評価ができる。 I-3-C-(3-4)-②</p> <p>結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③</p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。 I-4-C-(3-4)-①</p> <p>医療チームでの情報共有について説明できる。 I-4-C-(3-4)-②</p> <p>患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。 II-3-A-(3-4)-①</p> <p>自分の選択・判断の根拠を説明できる。 II-4-A-(3-4)-①</p> <p>他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 II-4-A-(3-4)-②</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II-4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③</p> <p>グループ目標達成のために行動できる。 II-4-C-(3-4)-①</p> <p>講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 II-4-C-(3-4)-②</p>

	相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。	Ⅱ-5-B-(3-4)-②
学修(教育)方法	講義・実習・ワークショップ	
評価方法 (1)総括的評価の対象	1)「至誠と愛」の実践学修の評価は、以下の項目を評価項目とする。 1. 講義の場合 出席、自己診断カード、試験、小テスト、その他の提出物 2. ワークショップの場合 出席、自己診断カード、その他の提出物 3. 実習の場合 出席、実習中の態度、面談・ガイダンス・授業態度、提出物の提出期限と内容、その他の態度	
評価方法 (2)評価項目	<p>医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。 A-1-1)①</p> <p>臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。 A-1-1)②</p> <p>患者の自己決定権の意義を説明できる。 A-1-2)②</p> <p>選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。 A-1-2)③</p> <p>インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。 A-1-2)④</p> <p>患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。 A-1-3)②</p> <p>医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。 A-1-3)③</p> <p>医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。 A-1-3)④</p> <p>必要な課題を自ら発見できる。 A-2-1)①</p> <p>自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 A-2-1)②</p> <p>課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 A-2-1)③</p> <p>課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 A-2-1)④</p> <p>適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-2-1)⑤</p> <p>講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 A-2-2)①</p> <p>得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-2-2)②</p> <p>実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。 A-2-2)③</p> <p>患者の病状(症状、身体所見、検査所見等)、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。 A-3-1)⑤</p> <p>緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。 A-3-1)⑥</p> <p>コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 A-4-1)①</p> <p>コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-4-1)②</p> <p>患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-4-1)③</p> <p>チーム医療の意義を説明できる。 A-5-1)①</p> <p>医療チームの構成や各構成員(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。 A-5-1)②</p> <p>自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。 A-5-1)③</p> <p>保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。 A-5-1)④</p> <p>実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。 A-6-1)①</p> <p>医療上の事故等を防止するためには、個人の注意(ヒューマンエラーの防止)はもとより、組織的なリスク管理(制度・組織エラーの防止)が重要であることを説明できる。 A-6-1)②</p> <p>医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録(カルテ)改竄の違法性を説明できる。 A-6-1)③</p> <p>医療の安全性に関する情報(薬剤等の副作用、薬害、医療過誤(事例や経緯を含む)、やっではないけないこと、優れた取組事例等)を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。 A-6-1)④</p> <p>医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。 A-6-1)⑤</p> <p>医療機関における医療安全管理体制の在り方(事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者(リスクマネージャー)、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事</p>	

故調査制度、産科医療補償制度)を概説できる。	
医療関連感染症の原因及び回避する方法(院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム(infection control team <ICT>)、感染対策マニュアル等)を概説できる。	A-6-1)⑦
真摯に疑義に応じることができる。	A-6-1)⑧
医療上の事故等(インシデントを含む)と合併症の違いを説明できる。	A-6-2)①
医療上の事故等(インシデントを含む)が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。	A-6-2)②
医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。	A-6-2)③
基本的予防策(ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フールプルーフの考え方等)を概説し、指導医の指導の下に実践できる。	A-6-2)④
災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。	A-7-1)⑥
研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	A-8-1)①
生涯学修の重要性を説明できる。	A-9-1)①
生涯にわたる継続的学修に必要な情報を収集できる。	A-9-1)②
キャリア開発能力を獲得する。	A-9-1)③
キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。	A-9-1)④
災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等)を説明できる。	B-1-7)⑥
医療の質の確保(病院機能評価、国際標準化機構(International Organization for Standardization <ISO>)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等)を説明できる。	B-1-8)⑤
医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。	B-1-8)⑩
医学研究と倫理(それぞれの研究に対応した倫理指針と法律)を説明できる。	B-3-1)①
臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。	B-3-1)②
臨床試験・治験と倫理性(ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>))を説明できる。	B-3-1)③
薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。	B-3-1)④
副作用と有害事象の違い、報告の意義(医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等)を説明できる。	B-3-1)⑤
医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。	B-4-1)①
病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。	B-4-1)②
自身が所属する文化を相対化することができる。	B-4-1)③
人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。	B-4-1)④
人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。	B-4-1)⑤
文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。	B-4-1)⑥
国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。	B-4-1)⑦
社会をシステムとして捉えることができる。	B-4-1)⑧
病人役割を概説できる。	B-4-1)⑨
対人サービスの困難(バーンアウトリスク)を概説できる。	B-4-1)⑩
経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。	B-4-1)⑪
在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。	B-4-1)⑫
多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。	B-4-1)⑬
具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。	B-4-1)⑭
薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。	C-3-3)-(3)①
行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。	C-5-1)③
生理的動機(個体保存、種族保存)、内発的動機(活動、感性、好奇、操作等)及び社会的動機(達成、親	C-5-3)①

	<p>和、愛着、支配等)を概説できる。</p> <p>動機付けを例示できる。</p> <p>欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。</p> <p>適応(防衛)機制を概説できる。</p> <p>主なストレス学説を概説できる。</p> <p>人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。</p> <p>ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。</p> <p>ストレス対処法を概説できる。</p> <p>対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。</p> <p>人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。</p> <p>主な対人行動(援助、攻撃等)を概説できる。</p> <p>集団の中での人間関係(競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ)を概説できる。</p> <p>効果的な対人コミュニケーションを説明できる。</p> <p>話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。</p> <p>個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。</p> <p>文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。</p> <p>健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。</p> <p>行動療法を説明できる。</p> <p>認知行動療法を説明できる。</p> <p>心理教育を説明できる。</p> <p>生活習慣病における患者支援(自律性支援)や保健指導を概説できる。</p> <p>高齢者の人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)を説明できる。</p> <p>死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。</p> <p>人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。</p> <p>患者の死後の家族ケア(悲嘆のケア(グリーフケア))を説明できる。</p> <p>チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。</p> <p>家族や地域といった視点をもち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。</p> <p>救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。</p> <p>地域の災害医療体制について学ぶ。</p> <p>シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。</p> <p>チームトレーニングによって、チーム医療の実践能力を高める。</p> <p>振り返りによって自己省察能力を高める。</p>	<p>C-5-3)②</p> <p>C-5-3)③</p> <p>C-5-3)④</p> <p>C-5-4)①</p> <p>C-5-4)②</p> <p>C-5-4)③</p> <p>C-5-4)④</p> <p>C-5-7)①</p> <p>C-5-7)②</p> <p>C-5-7)③</p> <p>C-5-7)④</p> <p>C-5-7)⑤</p> <p>C-5-7)⑥</p> <p>C-5-7)⑦</p> <p>C-5-7)⑧</p> <p>C-5-8)①</p> <p>C-5-8)②</p> <p>C-5-8)③</p> <p>C-5-8)④</p> <p>C-5-8)⑤</p> <p>E-8-1)⑫</p> <p>E-9-1)⑥</p> <p>E-9-1)⑦</p> <p>E-9-1)⑩</p> <p>G-4-1)-(7)③</p> <p>G-4-1)-(7)④</p> <p>G-4-1)-(7)⑤</p> <p>G-4-1)-(7)⑥</p> <p>G-4-4)③</p> <p>G-4-4)④</p> <p>G-4-4)⑤</p>
評価方法 (3)評価基準	<p>上記の評価項目について点数化し、以下の評価基準に従って評価する。 ただし、授業については、出席点を60%、提出物などについて40%とする。</p> <p>評価基準:</p> <p>5点 : 優れている</p> <p>4点 : 平均的</p> <p>3点 : おおむね良いが向上心が必要</p> <p>2点 : 一層の努力が必要である</p> <p>1点 : 著しく劣り問題がある</p> <p>評価基準の合計を100点満点に換算し、総合評価を行う。総合評価の基準は下記とする。 S.大変よく理解し十分実行できている(90%以上) A.良く理解し十分実行できている(80%以上90%未満) B.理解および実行は平均的である(70%以上80%未満) C.最低限は理解し実行できている(60%以上70%未満) D.理解および実行が不十分である(60%未満) のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。</p>	
伝達事項	<p>*講義、実習、ワークショップ、弥生記念講演、解剖慰霊祭などを欠席した学生は欠席届を出す。 やむを得ない理由での欠席については担当委員が代替のレポート課題を与えて評価することができる。</p> <p>*総合評価が不合格(D)の場合は、担当委員の意見を参考にして、本人と委員長または副委員長との面接、委員長・副委員長の協議により最終評価を決定することができる。</p> <p>*極めて優れていると委員が評価をした場合には、加点をすることがある。問題のある学生に対しては、担当委員が学生との面接による形成的評価を行い、その経過と結果を文書にて委員長に報告する。</p>	

No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
1.	『人間の詩と真実: その心理学的考察』	霜山徳爾著	中央公論社 1978	9784121005243
2.	『詩と死をむすぶもの: 詩人と医師の往復書簡 (朝日新書; 137)』	谷川俊太郎, 徳永進著	朝日新聞社 2008	9784022732378
3.	『講義と演習で学ぶ保健医療行動科学 (日本保健医療行動科学会雑誌第31巻別冊)』	日本保健医療行動科学会	日本保健医療行動科学会 2017	21877653
4.	『人間関係教育と行動科学テキストブック-第2版-』	東京女子医科大学人間関係教育委員会編	三恵社 2015	9784864873642
5.	『ユーモアは老いと死の妙薬: 死生学のすすめ』	アルフونس・デーケン著	講談社 1995	4062079488
6.	『日本の医の倫理』	関根透著	学健書院 1998	4762406066
7.	『医療倫理Q & A』	医療倫理Q&A刊行委員会編	太陽出版 2002	4884691482
8.	『患者の権利とは何か』	鈴木利廣 [著]	岩波書店 1993	400032372
9.	『インフォームド・コンセント(NHKブックス 711)』	森岡恭彦著	日本放送出版協会 1994	4140017112
10.	『生命倫理事典』	近藤均 [ほか] 編集委員	太陽出版 2002	4884693035
11.	『コンプレックス(岩波新書 青-808)』	河合隼雄著	岩波書店 1971	400412073X
12.	『対人援助のためのコーチング: 利用者の自己決定とやる気をサポート』	諏訪茂樹著	中央法規出版 2007	9784805829097
13.	『医学生と研修医のためのヒューマンリレーションズ学習』	東京女子医科大学ヒューマンリレーションズ委員会	篠原出版新社 2003	4884122496
14.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション: 誤解・失敗・すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	9784641281080
15.	『平静の心: オスラー博士講演集 新訂増補版』	オスラー [述]; 日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
16.	『対話のレッスン』	平田オリザ著	小学館 2001	409387350X
17.	『医者が心をひらくとき: a piece of my mind 上下』	ロクサーヌ・K・ヤング編; 李啓充訳	医学書院 2002	4260138995 4260139002
18.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦著	医歯薬出版 2003	4263234170
19.	『学生のための医療概論』	黒田研二 [ほか] 執筆; 千代豪昭, 黒田研二編集	医学書院	4260332554

			2003	
20.	『命は誰のものか(ディスカヴァー新書 42)』	香川知晶著	ディスカバートゥエンティ ン	9784887597341
			2009	
21.	『出生と死をめぐる生命倫理：連続と不連続の思想』	仁志田博司著	医学書院	9784260024013
			2015	
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK				

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/19(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	1. 医学研究と倫理(大学院について)			
	担当者(所属)	塚原 富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)④,A-8-1)①,A-9-1)②,B-3-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			
2.	2022/05/13(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	2. キャリアを考える(13)「大学病院における臨床医」			
	担当者(所属)	篠崎 和美 佐藤 加代子 福屋 泰子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)	2			
3.	2022/05/23(月)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会(配信)			
	担当者(所属)	岩崎 直子 遠藤 美香 佐藤 梓 浦瀬 香子 菊田 幸子 辻村 貴子 吉武 久美子 吉田 千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	13			
4.	2022/05/23(月)	4時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会(配信)			
	担当者(所属)	岩崎 直子 遠藤 美香 佐藤 梓 浦瀬 香子 菊田 幸子 辻村 貴子 吉武 久美子 吉田 千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)	14			

5.	2022/05/23(月)	5時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会(配信)			
	担当者(所属)	岩崎 直子 遠藤 美香 佐藤 梓 浦瀬 香子 菊田 幸子 辻村 貴子 吉武 久美子 吉田 千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
6.	2022/06/06(月)	5時限	講義	—	15:15-16:25
	タイトル	3. 緩和ケア(講義室203) ※対面のみ実施(収録・配信なし)			
	担当者(所属)	中島 豪			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-16)			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
7.	2022/06/09(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	4. 社会規範教育(3)			
	担当者(所属)	石黒 直子 西村 勝治 諏訪 茂樹 村崎 かがり 小川 久貴子 宮田 麻理子 清水 洋子 吉武 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②, A-2-2)②, A-4-1)②, A-4-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
8.	2022/06/10(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	5. 災害医療(1)			
	担当者(所属)	矢口 有乃			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)⑤⑥,A-5-1)①②③,A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,B-4-1)⑬,G-4-1)-(7)③-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
9.	2022/06/11(土)	1時限	行事	弥生記念講堂	09:30-12:30
	タイトル	女性医師・研究者支援シンポジウム2022 9:30~12:30			
	担当者(所属)	石黒 直子 肥塚 直美 佐藤 麻子 村崎 かがり 本多 祥子 佐藤 梓 丸 義朗 岩本 絹子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)④,A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
10.	2022/06/11(土)	2時限	行事	弥生記念講堂	09:30-12:30
	タイトル	女性医師・研究者支援シンポジウム2022 9:30~12:30			
	担当者(所属)	石黒 直子 肥塚 直美 佐藤 麻子 村崎 かがり 本多 祥子 佐藤 梓			

		丸 義朗 岩本 絹子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1)④,A-9-1)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
11.	2022/06/14(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	6. 医療コミュニケーション(13)「EBMとNBM」			
	担当者(所属)	青木 雅子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4-1)③,A-4-2)①,B-1-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
12.	2022/06/16(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	7. 生命倫理(1)「終末期ケアの理論」			
	担当者(所属)	小國 弘量			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②③,A-1-2)①-④,A-1-3)②-⑤,A-4-2)①④⑥⑦,B-1-8)⑥⑦,B-2-1)①②,B-3-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
13.	2022/06/21(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	8. 患者安全学			
	担当者(所属)	加藤 多津子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-5-1)①-④、A-6-1)①-⑧、A-6-2)①②④			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
14.	2022/06/21(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	9. キャリアを考える(14)「海外における卒後臨床研修」			
	担当者(所属)	長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-9-1)①-④,B-4-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
15.	2022/06/21(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	10. ハラスメント			
	担当者(所属)	佐藤 麻子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)⑤、A-4-1)①②、C-5-7)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
16.	2022/06/27(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	11. 生命倫理(2)「終末期ケアの臨床」			
	担当者(所属)	西村 勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-8-1)⑫,E-9-1)⑥⑦⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
17.	2022/06/29(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	12. 患者中心医療			
	担当者(所属)	赤穂 理絵			
	コアカリキュラム/S10国試出	A-1-2)①-④,A-3-1)⑧,A-4-1)①②③,A-4-2)①-⑤,A-5-1)①-④,B-4-1)②③④⑤⑥⑬⑭			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				12
18.	2022/09/09(金)	4時限	実習	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	行動科学(8)行動変容の理論と技法			
	担当者(所属)	辻 かをる 井上 敦子 小林 清香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1),B-3-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
19.	2022/09/09(金)	5時限	実習	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	行動科学(9)行動変容の理論と技法			
	担当者(所属)	辻 かをる 井上 敦子 小林 清香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-8-1),B-3-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
20.	2022/09/12(月)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	行動科学(3)行動科学とは ※配信			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-4-1)①-④,C-5-7)⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
21.	2022/09/12(月)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	行動科学(4)保健医療行動と動機づけ ※配信			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-4-1)①②③④⑨,C-5-8)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
22.	2022/09/13(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	行動科学(5)行動変容ステージと各種アプローチ ※配信			
	担当者(所属)	諏訪 茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②③④,C-5-8)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
23.	2022/09/13(火)	4時限	実習	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療(14) TeamSTEPPS			
	担当者(所属)	加藤 多津子 吉武 久美子 國江 慶子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②③④,A-1-3)②③④,A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-5-1)①-④,A-6-1)①-⑧,A-6-2)①-④,B-1-8)⑤⑩,B-4-1)①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭,G-4-4)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
24.	2022/09/13(火)	5時限	実習	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	チーム医療(15) TeamSTEPPS			
	担当者(所属)	加藤 多津子 吉武 久美子 國江 慶子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②③④,A-1-3)②③④,A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-5-1)①-④,A-6-1)①-⑧,A-6-2)①-④,B-1-8)⑤⑩,B-4-1)①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭,G-4-4)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
25.	2022/09/22(木)	3時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	臨床研究倫理(2)ワークショップ			
	担当者(所属)	佐藤 康仁 時田 大輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
26.	2022/09/22(木)	4時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	臨床研究倫理(3)ワークショップ			
	担当者(所属)	佐藤 康仁 時田 大輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
27.	2022/09/22(木)	5時限	実習	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	臨床研究倫理(4)ワークショップ			
	担当者(所属)	佐藤 康仁 時田 大輔			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-8)①-⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
28.	2022/09/22(木)	6時限	実習	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	チーム医療(16)ケーススタディ			
	担当者(所属)	徳重 克年 佐藤 梓 吉武 久美子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②③④,A-1-3)②③④,A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-5-1)①-④,A-6-1)①-⑧,A-6-2)①-④,B-1-8)⑤⑩,B-4-1)①②③④⑤⑥⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭,G-4-4)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
29.	2022/09/30(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	行動科学(6)ストレスと行動科学			
	担当者(所属)	小林 清香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-1)③,C-5-3)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
30.	2022/09/30(金)	4時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	行動科学(7)ストレスと行動科学			
	担当者(所属)	小林 清香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-5-1)③,C-5-3)①-④,C-5-4)①-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/10/06(木)	4時限	実習	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	災害医療(2)Psychological First Aid			
	担当者(所属)	末木 亮嗣			

		大沼 麻実		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧		
	講義資料番号/連番(LMS)			31
32.	2022/10/06(木)	5時限	実習	講義室 303 15:15-16:25
	タイトル	災害医療(3) Psychological First Aid		
	担当者(所属)	末木 亮嗣 大沼 麻実		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧		
	講義資料番号/連番(LMS)			32
33.	2022/10/06(木)	6時限	実習	講義室 303 16:35-17:45
	タイトル	災害医療(4) Psychological First Aid		
	担当者(所属)	末木 亮嗣 大沼 麻実		
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-1)⑥,B-1-7)⑥,C-5-7)①-⑧		
	講義資料番号/連番(LMS)			33

〔「至誠と愛」の実践学修〕

科目責任者：西村 勝治（精神医学）

東京女子医科大学医学部 「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。

卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、*印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページに示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

- I 習慣・マナー・こころ
 - A 人として・医学生として
 - 1. 人間性
 - 2. 態度
 - 3. 人間関係
 - 4. 一般社会・科学に於ける倫理
 - B 医師（医人）として
 - 1. 医人としての人間性
 - 2. 医人としての態度
 - 3. 医人としての人間関係
 - 4. 医療の実践における倫理
 - 5. 女性医師の資質
- II 技能・工夫・努力
 - A 人と人との信頼
 - 1. 人としての基本的コミュニケーション
 - 2. 医人としての基本的コミュニケーション
 - 3. 医療面接におけるコミュニケーション
 - 4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
 - 5. 医療における説明・情報提供
 - B 信頼できる情報の発信と交換
 - 1. 診療情報
 - 2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

I 習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

(自分)

- 1) 生きていることの意味・ありがたさを表現できる。
- 2) 人生における今の自分の立場を認識できる。
- 3) 自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

(他者の受け入れ)

- 4) 他の人の話を聴き理解することができる。
- 5) 他の人の特性や価値観を受け入れることができる。
- 6) 他の人の喜びや苦しみを理解できる。
- 7) 温かいこころをもって人に接することができる。
- 8) 人の死の意味を理解できる。

(自分と周囲との調和)

- 9) 自分の振る舞い・言動の他者への影響を考慮することができる。
- 10) 他の人に適切な共感的態度が取れる。
- 11) 他の人と心を開いて話し合うことができる。
- 12) 他の人の痛み・悲しみを癒すように行動できる。
- 13) 他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

(人・社会人として)

- 14) 場に即した礼儀作法で振舞える。
- 15) 自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
- 16) 自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。
- 17) 自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。
- 18) 話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

(医学を学ぶものとして)

- 19) 人間に関して興味と関心を持てる。
- 20) 自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。
- 21) 学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。
- 22) 動機・目標を持って自己研鑽できる。
- 23) 要点を踏まえて他の人に説明できる。
- 24) 社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

(人・社会人として)

- 25) 人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。
- 26) 学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。
- 27) 信頼に基づく人間関係を確立できる。
- 28) 対立する考えの中で冷静に振舞える。

(医学を学ぶものとして)

- 29) 共通の目的を達成するために協調できる。
- 30) 対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

(社会倫理)

- 31) 社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。
- 32) 法を遵守する意義について説明できる。
- 33) 自分の行動の倫理性について評価できる。
- 34) 自分の行動を倫理的に律することができる。
- 35) 個人情報保護を実践できる。
- 36) 他の人・社会の倫理性について評価できる。

(科学倫理)

- 37) 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。
- 38) 科学研究上の倫理を説明し実践できる。
- 39) 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。
- 40) 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

(自己)

- 1) 健康と病気の概念を説明できる。
- 2) 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。
- 3) 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。
- 4) 患者／家族のニーズを説明できる。
- 5) 生の喜びを感じることができる。
- 6) 誕生の喜びを感じることができる。
- 7) 死を含む Bad news の受容過程を説明できる。
- 8) 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

(患者・家族)

- 9) 診療を受ける患者の心理を理解できる。
- 10) 患者医師関係の特殊性について説明できる。
- 11) 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。
- 12) 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。
- 13) 病者を癒すことの喜びを感じることができる。
- 14) 家族の絆を理解できる。
- 15) 親が子供を思う気持ちが理解できる。
- 16) 死を含む Bad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。
- 17) 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

(チーム医療、社会)

- 18) 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。
- 19) 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

(自己)

- 1) 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。
- 2) 臨床能力を構成する要素を説明できる。
- 3) チーム医療を説明できる。

- 4) 患者の自己決定権を説明できる。
 - 5) 患者による医療の評価の重要性を説明できる。
 - 6) 多様な価値観を理解することができる。
- (患者・家族)
- 7) 傾聴することができる。
 - 8) 共感を持って接することができる。
 - 9) 自己決定を支援することができる。
 - 10) 心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。(Narrative-based medicine, NBM)
 - 11) 患者から学ぶことができる。
 - 12) 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。
 - 13) 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。*
 - 14) 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。
 - 15) 患者満足度を判断しながら医療を行える。*
- (チーム医療、社会)
- 16) 医療チームの一員として医療を行える。
 - 17) 必要に応じて医療チームを主導できる。*
 - 18) クリニカル・パスを説明できる。
 - 19) 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。*
 - 20) トリアージが実践できる。
 - 21) 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
 - 22) 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。*
 - 23) 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
 - 24) 特殊な状況(僻地、国際医療)、困難な環境(災害、戦争、テロ)でチーム医療を実践できる。*
- ### 3. 医人としての人間関係
- (自己)
- 1) 患者医師関係の歴史の変遷を概説できる。
 - 2) 患者とのラポールについて説明できる。
 - 3) 医療チームにおける共(協)働(コラボレーション)について説明できる。
- (患者・家族)
- 4) 医療におけるラポールの形成ができる。
 - 5) 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
 - 6) 患者解釈モデルを実践できる。
- (チーム医療、社会)
- 7) 患者医師関係を評価できる。
 - 8) 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
 - 9) 360度評価を実践できる。*
- ### 4. 医療の実践における倫理
- (自己)
- 1) 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
 - 2) 患者の基本的権利について説明できる。
 - 3) 患者の個人情報を守秘することができる。
 - 4) 生命倫理について概説できる。
 - 5) 生命倫理の歴史の変遷を概説できる。
 - 6) 臨床研究の倫理を説明できる。

(患者・家族)

- 7) 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を实践できる。
- 8) 事前指示・DNR 指示に配慮した臨床判断を实践できる。*

(チーム医療、社会)

- 9) 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。
- 10) 自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。
- 11) 臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。*
- 12) 医療および臨床試験の倫理を評価できる。*

5. 女性医師の資質・特徴

(自己)

- 1) 東京女子医科大学創立の精神を述べるができる。
- 2) 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。
- 3) 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。
- 4) 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。

(患者・家族)

- 5) 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。
- 6) 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。
- 7) 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。

(チーム医療、社会)

- 8) 保健・公衆衛生における女性の役割を述べるができる。
- 9) 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
- 10) 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
- 11) 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を实践できる。*

II 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

(自己表現)

- 1) 挨拶、自己紹介ができる。
- 2) コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。
- 3) 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。
- 4) 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。
- 5) 様々な情報交換の手段（文書・電話・eメールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。

(対同僚・友人・教員)

- 6) 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。
- 7) 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。
- 8) 同僚に正確に情報を伝達できる。
- 9) 他の人からの情報を、第3者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

(対患者・家族)

- 1) 患者に分かりやすい言葉で説明できる。
- 2) 患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。
- 3) 患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。
- 4) 患者の非言語的コミュニケーションがわかる。

- 5) 小児・高齢の患者の話聞きくことができる。
- 6) 障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話聞くことができる。
- 7) 家族の話聞くことができる。
- 8) 患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。

（対医療チーム・社会）

- 9) チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）ができる。
- 10) 医療連携のなかで情報交換ができる。
- 11) 救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。*
- 12) 社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

（基本的技能）

- 1) 自己紹介を含む挨拶を励行できる。
- 2) 基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
- 3) 患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
- 4) 患者の不安な気持ちに配慮した医療面接を行える。
- 5) 共感的声かけができる。
- 6) 診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
- 7) 適切な環境を設定できる。

（高次的技能）

- 8) 小児の医療面接を行える。
- 9) 高齢者の医療面接を行える。
- 10) 患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。*

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

（基本的技能）

- 1) 身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
- 2) 身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。
- 3) 説明しながら診察・検査を行うことができる。
- 4) 患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
- 5) 診察・検査結果を患者に説明できる。

（高次的技能）

- 6) 患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
- 7) 検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

（基本的技能）

- 1) 医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
- 2) インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
- 3) 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。
- 4) 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
- 5) 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
- 6) 患者に診断過程の説明を行うことができる。
- 7) 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
- 8) 患者に医療の不確実性について説明することができる。
- 9) 患者に EBM（Evidence Based Medicine）に基づく情報を説明できる。

10) セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

(高次的技能)

- 11) 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
- 12) 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
- 13) 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。*
- 14) 患者の受容に配慮した **Badnews** の告知ができる。*
- 15) 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。*
- 16) 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。*
- 17) 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。*
- 18) セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。*
- 19) 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。*
- 20) 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。*

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

(基本的技能)

- 1) **POMR** に基づく診療録を作成できる。
- 2) 診療録の開示を適切に行える。
- 3) 処方箋の正しい書き方を理解している。
- 4) 診療情報の守秘を実践できる。

(高次的技能)

- 5) 病歴要約を作成できる。
- 6) 紹介状・診療情報提供書を作成できる。
- 7) 医療連携のため適切に情報を伝達できる。
- 8) 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

(基本的技能)

- 1) 医療安全管理について概説できる。
- 2) 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。
- 3) 医療安全管理に配慮した行動ができる。
- 4) 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

(高次的技能)

- 5) 医療事故発生時の対応を説明できる。
- 6) 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【6本の柱】

- (1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
- (2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
- (3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
- (4) 医療人としての倫理—解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
- (5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
- (6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

		6本の柱					
S7:「至誠と愛」の実践学修7		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義・WS	医学研究と倫理(大学院について)	○	○		○	○	
	キャリアを考える						
	(13)「大学病院における臨床医	○	○	○		○	
	(14)「海外における卒後臨床研修」	○	○			○	
	緩和ケア	○	○	○	○		
	社会規範教育 (3)	○	○	○	○	○	○
	災害医療 (1)	○	○	○	○		
	医療コミュニケーション (13)「EBMとNBM」	○			○		
	生命倫理						
	(1)「終末期ケアの理論」	○	○	○	○		
	(2)「終末期ケアの臨床」	○	○	○	○		
	患者中心医療	○	○		○		
	患者安全学	○	○	○			
ハラスメント	○		○	○	○		
行事	吉岡彌生記念講演会			○		○	○
	女性医師・研究者支援シンポジウム2022		○	○		○	
S8:「至誠と愛」の実践学修8		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	行動科学						
	(3)「行動科学とは」	○	○	○			
	(4)「保健医療行動と動機づけ」	○	○	○			
	(5)「行動変容ステージと各種アプローチ」	○	○	○			
	(6)「ストレスと行動科学」	○	○	○			
	(7)「ストレスと行動科学(実習)」	○	○	○			
実習	(8、9)「行動理論と支援技法」	○	○	○			
	チーム医療						
WS	(14、15)「TeamSTEPPS」	○	○	○			
	(16)「ケーススタディ」	○	○	○			
	臨床研究倫理(2~4)「ワークショップ」		○		○		
実習	災害医療(2~4)「Psychological First Aid」	○	○	○			

セグメント9へ続く

「至誠と愛」の実践学修 8

「行動科学」

I. 講義

諏訪 茂樹

行動科学 (3) 「行動科学とは」

行動科学は人間を身体的存在としてだけではなく、心理的、社会的、実存的存在としてもとらえ、その行動を社会科学も利用しながら総合的に解明しようとする。行動科学という言葉が初めて使われたのは 1946 年であり、1972 年からはアメリカの医師国家試験でも出題されるようになった。行動科学の歴史、対象、方法など、さらには医療にとっての意義について、本講義では学ぶ。

II. 講義

諏訪 茂樹

行動科学 (4) 「保健医療行動と動機づけ」

健康維持や病気治療には様々な負担を伴い、それらの負担よりも動機の方が強く働かなければ、保健医療行動は実行されない。また、本人の感覚、信念、規範などによっても、保健医療行動は大きく左右される。動機を強化したり、行動を方向づけたりする方法を、本講義では学ぶ。

III. 講義

諏訪 茂樹

行動科学 (5) 「行動変容ステージと各種アプローチ」

生活習慣病の予防には行動変容が不可欠であり、行動変容に至るまでには幾つかのステージを通過することになる。行動変容ステージを見極める方法や各ステージで必要となる支援技法について学ぶとともに、困難なケースを幾つか取り上げて、妥当なかかわり方を考えていく。

IV. 講義・実習

小林 清香

行動科学 (6) 「ストレスと行動科学」

行動科学 (7) 「ストレスと行動科学 (実習)」

「ストレス」は日常的に存在し、身体疾患の発症や経過、症状の増悪にも影響する。ここでは、行動科学の視点でストレスを理解し、ストレス反応の現れ方、ストレスと認知、ストレスと行動について、講義と実習を通して学ぶ。

V. 実習

小林 清香、井上 敦子、辻 かをる

行動科学 (8、9) 「行動理論と支援技法」

認知行動理論は、精神疾患のみならず、生活習慣病を含む慢性身体疾患、疼痛など様々な領域でエビデンスが示され、広く用いられている。ここでは認知行動理論の基礎知識を整理し、この領域で用いられる問題解決技法を通して、困難な問題にどのように向き合い、解決に向かわせうるかを学ぶ。

到達目標

大項目	中項目	小項目
<p>行動科学</p> <p>I. 行動科学とは</p> <p>II. 保健医療行動と動機づけ</p> <p>III. 行動変容ステージと各種アプローチ</p> <p>IV. ストレスと行動科学</p> <p>V. 行動理論と支援技法</p>	<p>1. 歴史</p> <p>2. 対象</p> <p>3. 方法</p> <p>1. 動機と負担</p> <p>2. その他の要因</p> <p>1. 行動変容ステージ</p> <p>2. ステージのアセスメント</p> <p>3. 支援技術.</p> <p>1. ストレスについて理解する</p> <p>2. ストレスへの対処を理解する</p> <p>1. 認知行動モデル</p> <p>2. 問題解決技法</p>	<p>1) 行動科学のはじまり</p> <p>2) 医学教育への導入</p> <p>1) 人間の行動</p> <p>1) 学際的アプローチ</p> <p>2) 実証的経験科学</p> <p>1) 保健負担の種類</p> <p>2) 保健動機の種類</p> <p>3) 動機づけ</p> <p>1) 保健目標 2) 保健感覚</p> <p>3) 保健規範 4) 保健信念</p> <p>1) 無関心期</p> <p>2) 関心期</p> <p>3) 準備期</p> <p>4) 実行期</p> <p>5) 維持期</p> <p>1) 時間経過によるアセスメント</p> <p>2) 心の状態によるアセスメント</p> <p>1) カウンセリング</p> <p>2) コーチング</p> <p>3) ティーチング</p> <p>4) グループワーク</p> <p>1) ストレス理論</p> <p>2) ストレッサーとストレス反応</p> <p>3) ストレスと認知</p> <p>4) ストレス対処行動</p> <p>1) ストレス対処行動</p> <p>2) 問題焦点型</p> <p>3) 情動焦点型</p> <p>1) 認知・行動・身体・気分</p> <p>2) 主要な認知</p> <p>3) ソクラテス的対話</p> <p>1) 問題の明確化</p> <p>2) ブレインストーミング</p> <p>3) 行動の選択</p> <p>4) 実行と振り返り</p>

チーム医療

現代の医療は、患者を中心に、多くの医療職が協力することにより成り立っている。ここでは、看護学部4年生との二つの協働ワークショップが表裏の授業として組まれており、それぞれのワークショップの中で、自分達で考え、互いに協力することにより「チーム医療」について理解を深めることができるであろう。

VI. ワークショップ

加藤 多津子、吉武 久美子、國江 慶子

チーム医療 (14、15) 「TeamSTEPPS」

医療従事者がチームとして協働するにあたり、個々の医療人の知識と技術が十分に活かされて、真の「チーム」として最大のパフォーマンスを発揮させるために、一部の医療人だけで実践されているチームとしての必要なスキルを体系的に整理し、医療に関わる全ての医療人が体系的に学ぶ必要がある。

そのために1990年代から米国で開発され、現在では世界各国にも拡大しつつある「チーム STEPPS」というエビデンスに基づいたチームトレーニングにつき、「何故必要なのか」「どのような基本的な考え方に基づくのか」「コンピテンシー及びアウトカムは何か」につき学んでいく。

VII. ワークショップ

徳重 克年、吉武 久美子、佐藤 梓

チーム医療 (16) 「ケーススタディ」

このワークショップの目的は、医療チームにおける医師および他のメンバーの役割、メンバー間のコミュニケーション・情報交換の重要性などの「チーム医療の基礎」について考える機会を学生に提供し、それにより学生の今後の医療人としての人間らしさの形成を援助することである。

一人の医師だけで医療ができないこと、医療は看護師・検査技師・薬剤師・栄養士・医療事務・ソーシャルワーカー・理学療法士など多職種の協力、さらに医師同士の協力によってはじめて成り立つものである。医学生には、医師以外の他職種の仕事があって、はじめて医療がおこなわれていることを十分に認識してもらいたい。

VIII. ワークショップ

時田 大輔、佐藤 康仁

臨床研究倫理 (2~4)

医療が進歩するためには臨床研究は必要不可欠である。そこで、研究すべきであるならどのように行うべきかを考え、実践できることが重要である。そこには大きな2つの基本原則があり、1つは科学性であり、他の1つは倫理的配慮である。科学的でない研究を実施することは、それ自体非倫理的行為となるので、科学性も研究倫理の重要な構成要素なのである。臨床研究に携わる者は「ヘルシンキ宣言」に基づいた臨床研究の倫理の基本を十分に理解し、実践できることが望まれる。また、近年はこれに加え、不正行為の防止、利益相反の開示も重要な要素となってきた。また、個々の研究について以上の検討を行う場が倫理委員会である。

本ワークショップでは、模擬倫理委員会を体験し、臨床研究における主要な倫理要件を具体的に検討することを通じて、臨床研究の倫理を学ぶことを目的とする。

IX. 実習

大沼 麻実、末木 亮嗣

災害医療 (2~4) 「Psychological First Aid (PFA)」

Psychological First Aid (心理的応急処置:PFA)とは、深刻な危機的出来事に見舞われた人に対して行う、人道的、支持的、かつ実際的な支援のことであり、本実習はきわめてストレスの高い出来事を体験した人々を援助する立場にある医師となる医学生に対し、被災者の尊厳、文化、能力を尊重したやり方で支援するための枠組みを示すものである。テキストは世界保健機構(WHO)版PFA(2011)を用いる。

到達目標

大項目	中項目	小項目
VI. チーム医療 TeamSTEPPS	1. チームとしての必要なスキルの体系化 2. TeamSTEPPS のコンピテンシー・アウトカム	
VII. チーム医療 ケーススタディ	1. チーム医療 2. 他職種との連携	1) 医師の役割 2) 他職種の役割 1) コミュニケーション 2) カンファレンス
VIII. 臨床研究倫理 ワークショップ	1. 臨床研究における倫理的要件の理解 2. 臨床研究における不正行為 3. 利益相反	1) 社会的・科学的価値 2) 科学的妥当性 3) 適正な被験者選択 4) 適切なリスク・ベネフィットバランス 5) 第三者による独立した審査 6) インフォームドコンセント 7) 候補者および被験者の尊重 8) 研究を実施する地域社会との連携 1) ねつ造 2) 改ざん 3) 盗用
IX. 災害医療 Psychological First Aid (PFA)	1. PFA を理解する 2. PFA を実践する 3. 自分自身と同僚をケアする	1) 問題解決の手順 2) どの解決策をとるか— Pros—Cons 表を作成して絞り込む 3) 行動計画の立案と実行、評価 1) 危機的な出来事が人々に与える影響 2) PFA とはなにか 3) PFA は誰に、いつ、どこで行うか 4) 責任のある支援 1) PFA の活動原則 2) 準備 3) みる 4) 聞く 5) つなぐ 6) 特別な注意を必要とする可能性が高い人

科目名	国際コミュニケーション
科目責任者(所属)	長坂 安子

到達目標	<p>将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために、英語を用いて、臨床で患者および医療者とコミュニケーションができる能力を養成する。単に、英語を話すだけでなく、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観そして専門的言語についての理解を伴うコミュニケーション能力をも開発する。さらに、言語によるコミュニケーションに必要な、読む力・書く力を合わせて教育し、国際的に全人的医療を行える人材育成を目標とする。</p> <p><セグメント7 国際コミュニケーション到達目標及び概要> セグメント7 では、セグメント6までで学んだ基礎的医学英語のスキルをより向上させ、本格的な症例サマリーが英語で書いて、それをプレゼンできるようにする英語力を身につけること到達目標とする。 また、引き続き、医学関連のトピックに関心を持ち、積極的に、英語で行われる研究会に参加するなど、英語で学ぼうという自主的な学習姿勢を維持するとともに、e-learning による医学英語の語彙学習の継続性を定着させる。</p> <p><セグメント8 国際コミュニケーション到達目標及び概要> セグメント8 では、セグメント7までで学んだ基礎的医学英語のスキルをより向上させ、英語医療面接のための英語力を養う。2月後半には、全員がネイティブの模擬患者と一対一の面接を実施する。</p>
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	<p><セグメント7、8共通></p> <p>医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-①</p> <p>研究・実習・症例などの要約が作成できる。 I-4-B-(3-4)-①</p> <p>卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-①</p> <p>学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-①</p> <p>学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②</p> <p><セグメント8></p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-①</p> <p>事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-①</p> <p>患者に分かる言葉を選択できる。 I-4-A-(3-4)-②</p> <p>根拠となる文献を検索できる。 I-5-A-(3-4)-③</p> <p>傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-①</p> <p>他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-①</p> <p>自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 II-5-B-(3-4)-①</p>
学修(教育)方法	講義・演習
評価方法 (1)総括的評価の対象	<p><セグメント7> 授業参加度。レポート提出。語彙テストの点数。e-learningの学習度</p> <p><セグメント8> 1. 授業参加度(出席、授業態度など) 2. 語彙テスト&e-learning学修状況 3. コメントシート/ミニレポートの期限までの提出 4. 英語模擬医療面接(含む、授業での演習) ただし、2,3,4に関しては、すべてを実施していることが合格の必要条件であり、欠席はマイナス点となる。</p>
評価方法 (2)評価項目	<p><セグメント7></p> <p>基礎的医学英語のスキルを駆使して、英語で発信できる。 A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①②③ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧</p> <p><セグメント8></p> <p>1) セグメント7に引き続き、基礎的医学英語のスキルを駆使して、英語で発信できる。 A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①②③</p>

A-4-1)①②
C-5-7)⑥⑦⑧

e-learningによる医学英語の語彙学修を継続的に行い、4年次までに必要な基本語彙を習得することができる。

A-2-1)①②③④⑤
A-2-2)①②③
A-4-1)①②

医学関連分野の講義を英語で聴いて理解し、知識・教養を増やすとともに、積極的に発言して、コミュニケーション能力を高めることができる。

A-2-1)①②③④⑤
A-2-2)①②③
A-4-1)①②
B-4-1)④

基本的な英語模擬医療面接ができる。

A-2-1)①②③④⑤
A-2-2)①②③
A-4-1)①②③
A-4-2)①②⑥⑦
A-8-1)①④
C-5-7)⑥⑦⑧
F-3-2)①②③

評価方法
(3)評価基準

セグメント7とセグメント8の国際コミュニケーションを一緒に通年で評価するが、上記の評価項目について100点満点にて点数化を行い、
S.極めて良く理解している(90点以上)
A.良く理解している(80点以上90点未満)
B.理解している(70点以上80点未満)
C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)
D.あまり理解できていない(60点未満)
のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

伝達事項

<セグメント7、8共通>
1)英語は日々の積み重ねが大切です。e-learningの学修などを通して、継続的に英語に触れるようにしましょう。なお、e-learning学修状況はモニターして定期的にフィードバックします。
2)毎回講義の一週間前までにはポータルサイトを通して準備学修などの連絡を致します。確認準備の上、講義に臨んでください。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段: 出版社 下段: 出版年	ISBN
1.	『<セグメント7>』			
2.	『最新医学用語演習』	岡田聚・名木田恵理子	南雲堂 2012	4-523-17258-7
3.	『臨床医のための症例プレゼンテーションA to Z』	斎藤中哉	医学書院 2008	9784260002783
4.	『Communication Skills for the Healthcare Professional』	McCorry, Laurie Kelly	Lippincott Williams & Wilkins 2011	9781582558141
5.	『How to Present at Meetings』	Hall, George M.	Wiley-Blackwell 2012	9780470654583
6.	『First Aid for the Medicine Clerkship』	Robin R. Blum	McGraw Hill Medical 2010	9780071633826
7.	『First Aid for the Wards』	Tao Le	McGraw Medical 2012	9780071768511
8.	『<セグメント8>』			
9.	『Communication Skills for the Healthcare Professional』	Laurie Kelly McCorry, Jeff Mason	Lippincott Williams & Wilkins 2011	9781582558141
10.	『First Aid for the Medicine Clerkship』	Matthew S. Kaufman, Latha G. Stead, Arthur Rusovici	McGraw Hill Medical 2010	9780071633826
11.	『First Aid for the Wards』	Tao Le, Vikas Bhushan, James S. Yeh	McGraw Medical	9780071768511

				2012	
12.	『臨床医のための症例プレゼンテーションA to Z』	斎藤中哉著 ; Alan T. Lefor編集協力	医学書院	2008	9784260002783
13.	『Dr.押味の あなたの医学英語なんとかします!』	押味貴之著	メジカルビュー社	2017	9784758309608
14.	『English for Medical Purposes, Step 1』	日本医学英語教育学会編	メジカルビュー社	2016	978-4-7583-0448-1
15.	『English for Medical Purposes, Step 2』	日本医学英語教育学会編	メジカルビュー社	2017	978-4-7583-0449-8
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/18(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	1. Health Care System in the UK			
	担当者(所属)	遠藤 美香 鈴木 光代 フー ユイーン			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤, A-2-2)①②③, A-4-1)①②③, A-4-2)①②, A-7-2)③④⑤, A-8-1)①④, B-4-1)③, C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/05/12(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	2. Case Summaryの書き方			
	担当者(所属)	遠藤 美香 長坂 安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤, A-2-2)①②③, A-4-1)①②, A-8-1)①④, C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/06/13(月)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	3. 医学分野の英語レクチャー			
	担当者(所属)	遠藤 美香 アラン レフォー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤, A-2-2)①②③, A-4-1)①②, A-8-1)①④, B-4-1)④, C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/05(月)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	History Takingの表現・演習			
	担当者(所属)	遠藤 美香 フー ユイーン			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤, A-2-2)①②③, A-4-1)①②③, A-4-2)①②⑥⑦, A-8-1)①④, C-5-7)⑥⑦⑧, F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/16(金)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05

	タイトル	History Takingについての講義			
	担当者(所属)	遠藤 美香 フー ユイーンゲ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②,A-7-2)③④⑤,A-8-1)①④,B-4-1)③,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/22(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	Medical Paper を読む			
	担当者(所属)	平 孝臣 遠藤 美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,B-4-1)④,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/12/02(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	English Medical Interview (総括)			
	担当者(所属)	遠藤 美香 フー ユイーンゲ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥⑦,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧,F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/12/02(金)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	English Medical Interview (演習)			
	担当者(所属)	遠藤 美香 フー ユイーンゲ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①-⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥⑦,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧,F-3-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/12/13(火)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/12/13(火)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35

	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/12/13(火)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	12:30-13:40
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/12/13(火)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/12/13(火)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	15:15-16:25
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				13

14.	2022/12/13(火)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	16:35-17:45
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/12/14(水)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/12/14(水)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/12/14(水)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	12:30-13:40

	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/12/14(水)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/12/14(水)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	15:15-16:25
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/12/14(水)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	16:35-17:45
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				20

21.	2022/12/15(木)	1時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	09:00-10:10
タイトル		英語模擬医療面接			
担当者(所属)		遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
コアカリキュラム/S10国試出題基準		A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
講義資料番号/連番(LMS)					21
22.	2022/12/15(木)	2時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	10:25-11:35
タイトル		英語模擬医療面接			
担当者(所属)		遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
コアカリキュラム/S10国試出題基準		A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
講義資料番号/連番(LMS)					22
23.	2022/12/15(木)	3時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	12:30-13:40
タイトル		英語模擬医療面接			
担当者(所属)		遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
コアカリキュラム/S10国試出題基準		A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
講義資料番号/連番(LMS)					23
24.	2022/12/15(木)	4時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05

	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/12/15(木)	5時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	15:15-16:25
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/12/15(木)	6時限	実習	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	16:35-17:45
	タイトル	英語模擬医療面接			
	担当者(所属)	遠藤 美香 クリストファー エルヴィン タッド スタウト 細谷 ジョアンナ			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-13)①②,A-4-1)①②③,A-4-2)①②④⑥⑦,A-7-2)①②,C-5-7)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				26

〔国際コミュニケーション〕

大項目	中項目	小項目
I. 英語医療面接の基礎	1. 病歴聴取の基礎（主訴、現病歴、既往歴）とその英語表現、 2. 社会歴聴取と患者への心的配慮とその表現	1) 英語を母語とする医師より、 Medical Interview 入門の講義を受け、病歴聴取の為の英語表現を学ぶ。 2) 英語を母語とする模擬患者と一対一の英語模擬医療面接演習。
II. 医学英語の継続的語彙学修	1. e-learning	1) 医学英語の e-learning を継続的に行い、定期的に行われる語彙テストによって、自己の学修の達成度を見る。また、自主的に付随の tests にもチャレンジし、語彙力定着を図る。
III. 英語で学ぶ医学的知識	1. 臨床医学の他、社会医学分野に関しても、英語のレクチャーを聴く	1) 医学関連のレクチャーを英語で聴き、知識・教養を増やすとともに、積極的に発言をして、コミュニケーション能力を高める。

科目名	健康管理
科目責任者(所属)	加藤 多津子

到達目標	<p>医師という職業選択をすでにすすめている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることとなります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、あるいは、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。</p> <p>また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。</p>	
アウトカム・ロードマップに係る到達目標/項目番号	<p>人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-①</p> <p>人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-②</p> <p>人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-①</p> <p>全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-②</p> <p>疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③</p> <p>現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①</p> <p>問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-①</p> <p>事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②</p> <p>社会的規範を守った生活ができる。 I-6-A-(1-2)-①</p> <p>学則を守った学生生活ができる。 I-6-A-(1-2)-②</p> <p>学習のための時間を適切に自己管理できる II-2-C-(1-2)-②</p> <p>女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-②</p> <p>自分の特性を活かして学習できる。 II-2-D-(3-4)-①</p> <p>自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べるができる。 II-2-E-(5-6)-①</p> <p>討論・話し合いを促せる。 II-4-B-(3-4)-①</p> <p>自分の方針を説明し同意を得ることができる。 II-4-B-(3-4)-②</p> <p>活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 II-4-B-(3-4)-③</p> <p>学生として適切な振る舞いで行動できる。 II-5-B-(1-2)-①</p>	
学修(教育)方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診	
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない	
評価方法 (2)評価項目	<p>医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる。 A-6-3-①</p> <p>地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健(母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。 A-6-3-①</p> <p>栄養、食育、食生活を説明できる。 B-1-5-②</p> <p>身体活動、運動を説明できる。 B-1-5-③</p> <p>休養・心の健康(睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防)を説明できる。 B-1-5-④</p> <p>喫煙(状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援)、飲酒(状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援)を説明できる。 B-1-5-⑤</p> <p>ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善(環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容) B-1-5-⑥</p>	

を説明できる。	
健康(健康の定義)、障害と疾病の概念と社会環境(機能障害、活動制限、参加制約、生活の質<QOL>、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等)を説明できる。	B-1-6)-①
社会構造(家族、コミュニティ、地域社会、国際化)と健康・疾病との関係(健康の社会的決定要因(social determinant of health))を概説できる。	B-1-6)-②
各ライフステージの健康問題(母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健)を説明できる。	B-1-6)-④
感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。	B-1-8)-⑪
予防接種の意義と現状を説明できる。	B-1-8)-⑫
文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。	B-4-1)-⑥
主なデオキシリボ核酸<DNA>ウイルス(サイトメガロウイルス(cytomegalovirus <CMV>)、Epstein-Barr <EB>ウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19、ヒトヘルペスウイルス、B型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス)が引き起こす疾患名を列挙できる。	C-3-1)-(3)-①
主なリボ核酸<RNA>ウイルス(インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコー(enteric cytopathic human orphan <ECHO>)ウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス)が引き起こす疾患名を列挙できる。	C-3-1)-(3)-②
人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。	C-5-4)-②
ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。	C-5-4)-③
ストレス対処法を概説できる。	C-5-4)-④
集団の中の間人間関係(競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ)を概説できる。	C-5-7)-④
視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。	D-2-1)-(7)-②
ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。	D-2-1)-(7)-③
起立性低血圧、神経調節性失神の診断、予後、治療を説明できる。	D-5-4)-(10)-②
基礎体温の所見を説明できる。	D-9-2)-(2)-②

評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する
-----------------	--

伝達事項	健康管理行事に理由無く欠席しないこと
------	--------------------

教科書・参考図書	No			
	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曾根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生 吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編集委員会	日本図書センタ 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新 行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新 女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ばーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店	978-4-8159-1760-9

				2006年	
9.	『コンサイスガイド 女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社	1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会 何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院	2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康 社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会	2006年	4-13-060406-6
添付ファイル ※3つまで、1 ファイルにつき 5MBまで、圧 縮ファイルOK					

授業予定表					
回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/29(月)	1時限	講義	講義室 303	9:00-10:10
	タイトル	セグメント8ガイダンス／講義・実習・TBL・CBT・OSCEに向けての体調管理			
	担当者(所属)	横田 仁子 長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-3)①,A-9-1)②-⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)	1			

〔健康管理〕

科目責任者：加藤 多津子（衛生学公衆衛生学）

大項目	中項目	小項目
I. 身体の健康管理	1. 生活リズムと食生活	1) 体内時計と光と食 2) 月経周期と体重・食欲の変化 3) ストレスと食行動 4) 摂食障害 5) 日常生活の工夫 6) 食事の摂り方
	2. 感染症対策	1) 健診スケジュールとワクチン接種 2) 出席停止となる感染症 3) 小児4種感染症 4) インフルエンザ 5) ノロウイルス 6) 新型コロナウイルス感染症 7) 子宮頸がん 8) 医学生としての感染対策への責任
	3. 定期健康診断	1) 学校保健法と定期健康診断 2) 健診の項目 3) 結果の判定 4) 事後措置 5) 健康診断書の利用方法
II. 大学生のメンタルヘルス	1. ストレスとストレス対処法	1) ストレスとは 2) ストレスと心身の反応 3) 医学部生活でのストレス 4) ストレスコーピング 5) リラクゼーション
	2. 大学生時代に注意したい精神健康障害	1) 適応障害 2) うつ病 3) 外傷後ストレス障害 4) 医学部カリキュラムと心の危機 a. 解剖実習 b. CBT, OSCE c. 臨床実習 d. マッチング e. 国家試験
	3. リーダー・メンバーとして	1) チームとグループの違い 2) リーダーとは 3) リーダーシップ 4) メンバーの役割 5) クラブ幹部の役割
III. 女性の健康	1. ライフステージと女性の健康	1) 思春期から性成熟期への体の変化 2) 若年女性の健康問題 a. やせ b. 貧血

	<p>2. 女性の健康の心理的要因</p> <p>3. 女性の健康と社会的要因</p>	<p>c. 心身症</p> <p>d. 月経関連症状</p> <p>1) ストレスと心身の反応</p> <p>2) 自律神経症状</p> <p>3) バイオレンスと心身への影響</p> <p>4) 対等な関係とは</p> <p>1) 女性の健康に関する時代背景</p> <p>a. アルマ・アタ宣言</p> <p>b. 男女雇用機会均等法</p> <p>c. 国連女性会議</p> <p>d. 男女共同参画基本法</p> <p>e. 女性活躍推進法</p> <p>2) 健康決定要因の枠組み</p> <p>3) 持続的開発目標 (SDGs)</p> <p>4) ライフサイクルにおける性差別と健康</p> <p>5) 女性医師のキャリア</p>
--	---	--

基礎研究医養成プログラム

(趣旨)

第1条 本規程は、東京女子医科大学（以下「本学」という。）大学院学則（以下「大学院学則」という。）第8および9条関係「履修方法に関する内規」に関し、本学の医学部学生（以下「学生」という。）で本学の基礎医学系大学院への進学を希望する者に対する仮単位履修制度の取り扱いに関し必要な事項を定める。

(名称)

第2条 本履修制度を「基礎研究医養成プログラム」と称する。
2. 「基礎研究医養成プログラム」登録を行った者は、医学部在学中より本学医学研究科大学院の単位を仮単位として履修し、初期臨床研修の2年間を大学院の1～2年次と兼ねることができる。

(目的)

第3条 本プログラムは、医学部在学中に医学部のカリキュラムと並行して大学院医学研究科の教育を受け、研究マインドを醸成し、基礎医学系の研究者を育成することを目的とする。

(資格)

第4条 以下の資格条件を満たすものを対象とする。
(1) 本学医学部の3年から6年次に在籍する学生。
(2) 所属を希望する本学基礎医学系講座の教授・講座主任（機能学系、形態学系、社会医学系）または先端生命医科学系専攻の大学院教授から推薦のあった者
(3) 原則として初期臨床研修を東京女子医科大学内の病院で行う予定の者。ただし、教務委員会が認めればその限りでない。

(定員)

第5条 各講座（または専攻）につき若干名（指導する基礎医学系講座の教授・講座主任または先端生命医科学系専攻の大学院教授の判断による）。

(登録)

第6条 本プログラムの履修を希望する者は、所属を希望する分野の指導予定教授の許可を経て次の書類を学務課に提出しなければならない。
(1) 基礎研究医養成プログラム登録申請書
(2) 所属を希望する分野の指導予定教授の推薦書

(登録許諾)

第7条 教務委員会において、書類審査及び必要に応じて面接（志望者および当該教授・講座主任または大学院教授）で個別に審議し、許可する場合は大学院委員会の承諾を得る。

(登録取り消し)

第8条 登録を取り消す場合は、理由書を付して教務委員会に提出する。教務委員会において、個別に審議し、取り消す場合は大学院委員会の承諾を得る。

(履修科目および単位数)

第9条 履修科目および単位数については以下に定める。
医学部在籍中（3～6年次）に、大学院学則第8および9条関係「履修方法に関する内規」に定める学科目のうち、次のものを履修し、仮単位とすることができる（大学院修了に必要な最低修得単位数30単位のうち、最大24単位まで）。
・大学院共通カリキュラム：実習（機能学系、形態学系、社会医学系、先端生命医科学系専攻の実習）4単位（2系の実習）
・大学院共通カリキュラム：教授・講座主任による講義 5単位（講義25コマ）

・主分野 15 単位

- 1) 履修方法は、東京女子医科大学大学院学則ならびに大学院学則第 8 および 9 条関係「履修方法に関する内規」による。
- 2) 医学部在籍中の本プログラムによる履修に要する学生の費用負担はない。

(履修学科目、仮単位の認定)

第 10 条 履修学科目、仮単位は、大学院委員会において、「仮単位申請書」により個別に審議する。

(本学大学院入学の単位申請)

第 11 条 6 年次から後期臨床研修修了までに、大学院入学試験を受験する。分野は原則として医学部在籍中に登録した基礎医学系講座と同一の分野または登録した先端生命医科学系専攻と同一の所属とする。入学許可後、第 9 条において認定した仮単位を既修得単位とする。

Problem based learning (PBL) テュートリアルと Team-based learning (TBL) について

PBL テュートリアル (テュートリアル) と TBL の概略

テュートリアルと TBL はいずれも active learning に含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として 1990 年度から導入し、TBL を問題解決能力の向上のための学修法として 2008 年度から導入した。

1. PBL テュートリアル (テュートリアル) とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

- 1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修）。
- 2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
- 3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修）。
- 4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論）、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1 年生から 4 年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

2. Team-based learning (TBL) と高学年セグメントでの学修の継続

TBL では教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008 年度より 4 年生後期（セグメント 8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わって TBL を導入し、診療上の問題解決の中で、診療・

治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020 年度より 2, 3, 4 年生（セグメント 3-7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020 年度から開始された 4 年生後期（セグメント 8）の「入門型臨床実習」、5 年生（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning (TBL) について

科目責任者：中村 真一（消化器内科）

※2022年度は新型コロナウイルス感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBL の特徴

1. 予習（事前学修）を前提としている。
2. 個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3. 1 人もしくは 2 人の教員がすべてのチームを管理。
4. 教員は司会者および専門家として機能する。
5. 学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S8では、臨床推論入門及び臨床倫理などに関する考え方を修得することを目的とする。よって、診療上の問題解決の中で、診断治療を中心に考え方を学ぶ TBL が行われる。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。

TBL の概要

事前学修に始まる以下の 3 つのプロセスで構成される。

I. 予習

事前に学修すべき項目が提示される。
項目に沿って個々に事前学修する。

II. 基本ユニット

個人テスト

- ・ 学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）

チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成

チーム間討論とフィードバック

- ・ チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論
- ・ 専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

III. 応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決

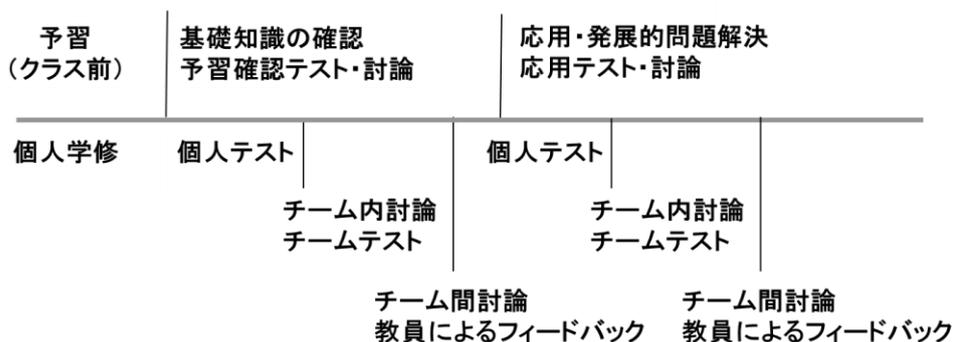
応用テストにおいてII.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBLの進行（1回の授業）

I. 予習

II. 基本ユニット

III. 応用ユニット



具体的な進め方

進行の仕方

以下の I から III のプロセスを1回の授業の中で繰り返し、1つの課題を学ぶ。

I. 予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

II. 基本ユニット

1. 個人テスト

- ・ 事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。

2. チーム内討論とチームテスト

- ・ 個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。
- ・ 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。

3. チーム間討論

- ・ 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
- ・ チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。
- ・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。

4. 専門家によるフィードバック

- ・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。

III. 応用ユニット

- ・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。

IV. アセスメント

- ・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。

V. 評価

- ・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は5点満点で、課題毎に評価が行われる。
- ・ 講義開始時のレスポンスアナライザー端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
- ・ これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。
- ・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が2点未満の場合は進級できない。
- ・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価も行う場合がある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

1. TBLは授業であるので飲食は行わない。
2. 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。
3. 臨床推論を学ぶ授業の一環であるが、個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる）。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が発せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

チュートリアル・TBL日程

課題番号	回数	実施日程年月日 (YYYY/MM/DD)	曜 (S4～S6は月木実施)	時間	講義室 (その期間の 学年講義室)	担当科	担当教員 (課題作成者) 氏名	備考
オリエンテーション		2022/9/26	(月)	9:00～10:10	201		※TBL委員会で選出するため不要です	配信
1	1	2022/10/07	(金)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
2	2	2022/10/11	(火)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
3	3	2022/10/14	(金)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
4	4	2022/10/18	(火)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
5	5	2022/10/25	(火)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
6	6	2022/10/28	(金)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
7	7	2022/11/01	(火)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom
8	8	2022/11/04	(金)	14:00～15:40	チュートリアル 室17,18			Zoom

IV 試験科目表・試験日程表

[試験科目・試験日程]

	年月日	曜	時間	講義内容	試験場
1	2022/10/3	月	10:00 ~ 11:30	麻酔・周術期管理	303講義室
2	2022/10/4	火	10:00 ~ 11:30	基本的治療法	303講義室
3	2022/10/5	水	10:00 ~ 11:30	救命救急医療	303講義室
4	2022/10/6	木	10:00 ~ 12:00	診療の基礎	303講義室
5	2022/11/10	木	10:00 ~ 11:30	麻酔・周術期管理(追・再試験)	大実習室3
6	2022/11/10	木	13:00 ~ 14:30	基本的治療法(追・再試験)	大実習室3
7	2022/11/10	木	15:00 ~ 16:30	救命救急医療(追・再試験)	大実習室3
8	2022/11/11	金	09:00 ~ 12:00	P-SAT 出席番号1-58	PC室1
9	2022/11/11	金	09:00 ~ 12:00	P-SAT 出席番号59-115	大実習室3
10	2022/11/11	金	14:00 ~ 16:00	診療の基礎(追・再試験)	大実習室3
11	2022/12/09	金	09:00 ~ 12:00	CBT(ブロック1~2)出席番号1-58	PC室1
12	2022/12/09	金	12:50 ~ 17:30	CBT(ブロック3~7)出席番号1-58	PC室1
13	2022/12/10	土	09:00 ~ 12:00	CBT(ブロック1~2)出席番号59-115	PC室1
14	2022/12/10	土	12:50 ~ 17:30	CBT(ブロック3~7)出席番号59-115	PC室1
15	2023/1/11	水	09:00 ~ 12:00	P-SAT(追・再試験)	PC室1
16	2023/1/21	土	08:30 ~ 17:00	OSCE	テュートリアル室
17	2023/1/25	水	09:00 ~ 12:00	CBT(ブロック1~2)(追・再試験)1回目	PC室1
18	2023/1/25	水	12:50 ~ 17:30	CBT(ブロック3~7)(追・再試験)1回目	PC室1
19	2023/2/17	金	09:00 ~ 12:00	CBT(ブロック1~2)(追・再試験)2回目 ※追試の再試となった場合のみ実施	PC室1
20	2023/2/17	金	12:50 ~ 17:30	CBT(ブロック3~7)(追・再試験)2回目 ※追試の再試となった場合のみ実施	PC室1
21	2023/2/18	土	08:30 ~ 17:00	OSCE(追・再試験)	テュートリアル室

総合試験について

- 1) 目的 医行為を伴う臨床実習に参加するための基本的知識および問題解決能力を修得していることを評価する。
- 2) 試験内容 ①共用試験CBT(320問6ブロック、及び7ブロックは試験についてのアンケート)、②問題解決能力評価(Problem-solving ability test,P-SAT)
- 3) 試験範囲 ①医学教育モデル・コア・カリキュラム、②テュートリアル、臨床診断学各論、「至誠と愛」の実践学修
- 4) 出題形式 ①PCを用いた五肢択一型問題、多選択肢型問題、および順次解答型4連問(ただし予定、CBTホームページ参照)、②PCを用いた多選択肢型および記入式問題

問題解決能力試験 (P-SAT)

Problem-solving ability test

I. P-SAT

目的： 医学生として必要な問題解決能力を評価することを目的とする。症例の問題を見極め、臨床推論を行うために必要な医療面接、身体診察、検査などについて、必要な情報は何かを考え、得られた情報からどのように考えるかを問う。チュートリアル、Team-based learning (TBL)、診療の基礎などでこれまでに修得した能力を評価する。

臨床実習前に修得すべき臨床上の問題解決能力を評価する試験であり、全国医学系共用試験としての CBT, OSCEとともに特別科目に位置付けられる。

1 実施日：本 試 験 令和4年11月11日(金) 9時～12時

追・再試験 令和5年1月11日(水) 9時～12時

2 試験形式：コンピューターによる問題の提示と解答

問題数および試験時間 20問/60分 を 2サイクル

3 評価方法：100点満点にて点数化を行い、

S. 極めて良く理解している (90点以上)、A. 良く理解している (80点以上90点未満)、B. 理解している (70点以上80点未満)、C. ある程度は理解しているが、十分ではない (60点以上70点未満)、D. あまり理解できていない (60点未満) のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

総合試験委員会

委員長 三谷 昌平 教授 (生理学 (分子細胞生理学分野))

- [CBT実施部会]

部会長 柳澤 直子 准教授 (微生物学免疫学)

部会委員 中村 史雄 教授 (生化学)

部会委員 中山 寿子 助教 (生理学 (神経生理学分野))

部会委員 菊田 幸子 助教 (顕微解剖学・形態形成学)

部会委員 吉井 亜希子 助教 (国際環境・熱帯医学)

部会委員 宮山 貴光 助教 (衛生学公衆衛生学 (環境・産業医学分野))

- [P-SAT実施部会]

部会長 野原 理子 教授 (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野))

部会委員 櫻谷 あすか 助教 (衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野))

臨床実習前客観的臨床能力試験(OSCE)

Pre-Clinical Clerkship Objective structured clinical examination (Pre-CC OSCE)

I. Pre-CC OSCE

目的:「診療の基礎」実習終了後、病院実習に入る前に学生が医学生として、最低限必要な基本的な診療技能、態度を身に付けているかどうかの到達度を形式的に評価することを目的とする。

全国医学系共用試験の実施試験として位置づけられる。

1 実施日:令和5年1月21日(土)、午後8時30分～午後5時 第3土曜日(外来休診日)を予定。

2 評価者

1) OSCE推進委員、臨床実習担当全科

2) 標準模擬患者(医療面接)

3) 外部評価委員(予定)

3 模擬患者

1) 身体診察:研修医ならびに教職員

2) 医療面接:標準模擬患者

4 評価項目および課題

評価項目の選択および課題は、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構より割り振られる。

5 実施場所:彌生記念教育棟 テュートリアル室および講義室

6 ステーションの数

いくつかのステーションを設け、医療面接、頭頸部、胸部・全身状態・バイサルサイン、腹部、神経、基本的臨床手技、救急、四肢・脊柱などの課題を中心に試験を行う。

7 OSCEの運営にあたっての実務は、OSCE委員会が担当する。

8 追・再試験実施日:令和5年2月18日(土)で実施予定。

OSCE 委員

委員長	村崎 かがり	教授	(予防医学科)
副委員長	板橋 道朗	教授・基幹分野長	(外科学(炎症性腸疾患外科学分野))
	中神 朋子	教授	(内科学(糖尿病・代謝内科学分野))
	飯嶋 睦	臨床教授	(内科学(脳神経内科学分野))
	西井 明子	准教授	(予防医学科)
委員	志関 雅幸	准教授	(内科学(血液内科学分野))
	有泉 俊一	准教授	(外科学(肝胆膵外科学分野))
	山村 幸江	准教授	(耳鼻咽喉科学(耳鼻咽喉科学分野))
	飯塚 淳平	准教授	(泌尿器科学(泌尿器科学分野))
	森山 能仁	准教授	(内科学(腎臓内科学分野))
	石垣 景子	准教授	(小児科学(小児科学分野))
	橋本 弥一郎	准教授	(放射線医学(放射線腫瘍学分野))
	井坂 珠子	准教授	(外科学(呼吸器外科学分野))
	堀内 喜代美	講師	(外科学(内分泌外科学分野))
	小木曾 智美	講師	(内科学(消化器内科学分野))
	岸野 麻衣子	講師	(内科学(消化器内科学分野消化器内科部門))
	八木 理充	講師	(内科学(呼吸器内科学分野))
	関口 治樹	講師	(総合診療科)
	大森 久子	講師	(足立医療センター内科)
	鬼澤 俊輔	講師	(八千代医療センター消化器外科)
	久保田 英	准講師	(救急医学(救急医学分野))
	並木 みずほ	助教	(救急医学(救急医学分野))
	坂井 晶子	助教	(内科学(循環器内科学分野))

VI 第4学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

教育委員会

委員長	田中 淳 司	教授・基幹分野長	(内科学 (血液内科学分野))
副委員長	長嶋 洋 治	教授・基幹分野長	(病理診断科学 (病理診断学分野))
	佐藤 麻 子	教授	(臨床検査科)
委員	菊池 賢	教授	(感染症科)
	針谷 正 祥	教授・基幹分野長	(内科学 (膠原病リウマチ内科学分野))
	松岡 雅 人	教授・基幹分野長	(衛生学公衆衛生学 (環境・産業医学分野))
	野原 理 子	教授・基幹分野長	(衛生学公衆衛生学 (公衆衛生学分野))
	木村 容 子	教授	(東洋医学研究所)
	多賀谷 悦 子	教授・基幹分野長	(内科学 (呼吸器内科学分野))
	矢口 有 乃	教授・基幹分野長	(救急医学 (救急医学分野))
	板橋 道 朗	教授・基幹分野長	(外科学 (炎症性腸疾患外科学分野))
	長坂 安 子	教授・基幹分野長	(麻酔科学 (麻酔科学分野))
	中神 朋 子	教授	(内科学 (糖尿病・代謝内科学分野))
	大月 道 夫	教授・基幹分野長	(内科学 (内分泌内科学分野))
	林 基 弘	准教授	(脳神経外科学 (脳神経外科学分野))
オブザーバー	西井 明 子	准教授	(予防医学科)
	佐藤 梓	講師	(統合教育学修センター基礎科学)

チュートリアル・TBL 委員会

委員長	中村 真 一	教授	(内科学 (消化器内科学分野))
副委員長	飯嶋 睦	臨床教授	(内科学 (脳神経内科学分野))
	越野 一 朗	講師	(生化学 (生化学分野))
委員	吉永 健太郎	講師	(内科学 (血液内科学分野))
	川口 鎮 司	臨床教授	(内科学 (膠原病リウマチ内科学分野))
	並木 みずほ	助教	(救急医学 (救急医学分野))
	岩崎 直 子	教授	(成人医学センター)
	松村 剛 毅	准教授	(医療安全科)
	有泉 俊 一	准教授	(外科学 (肝胆膵外科学分野))

「至誠と愛」の実践学修／医療・患者安全学教育委員会

委員長	西村 勝 治	教授・基幹分野長	(精神医学 (精神医学分野))
副委員長	柳澤 直 子	教授・基幹分野長	(微生物学免疫学 (微生物学免疫学分野))
	岩崎 直 子	教授	(成人医学センター)
	佐藤 梓	講師	(統合教育学修センター基礎科学)

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	岡本 高 広	教授・基幹分野長	(外科学 (内分泌外科学分野))
S7担当	岩崎 直 子	教授	(成人医学センター)

国際コミュニケーション委員会

委員長 長坂安子 教授・基幹分野長 (麻醉科学 (麻醉科学分野))

副委員長 遠藤美香 講師 (統合教育学修センター基礎教育学)

基本的・医学的表現技術教育委員会

委員長 木林和彦 教授・基幹分野長 (法医学 (法医学分野))

副委員長 辻村貴子 講師 (統合教育学修センター基礎教育学)

学生委員

水主川 純 教授 (母子総合医療センター)

三谷 昌平 教授・基幹分野長 (生理学 (分子細胞生理学分野))

西村 勝治 教授・基幹分野長 (精神医学 (精神医学分野))

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1. 科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
英語（Medical Discussion）	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
英語（Basic Listening）	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級韓国語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限

開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/13から9/14、後期は9/21から翌年1/25までの水曜日5限（15：20～16：30）、6限（16：45～17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について

・**ガイダンス** 今年度はガイダンスを開催しません。学修の手引きと追加資料（1年生には新入生オリエンテーションにて配布予定、2年生以上にはポータルサイトに掲載予定）を参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について

1年生前期：

新入生オリエンテーション時の配布資料をよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、履修希望科目を選び、送信すること。

登録期間は4月7日(木)12:30まで

- ※1. 期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
- 2. Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 3. 科目によって受講者数を制限することがある。
- 4. 登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト1年総合掲示板に掲載する。
 - 3. により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。

1年生後期、および2～4年(前・後期)：

新学年ポータルサイトからのweb登録のみ受付を行う。

登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。

登録期間は次のとおり。

前期分…4月1日(金)～4月7日(木)12:30まで（期間を過ぎると登録できない。）

後期分…8月29日(月)～9月7日(水)12:30まで（ ” ” ）

- ※1. web登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
- 2. 受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について

各科目は2単位(半年間)の科目を4年次までにのべ6科目以上(12単位以上)履修しなければならない。

そのうち2科目以上は人文・社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表I)とする。

各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。(以上、**学生便覧参照**)

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別な配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

前 期 (4月13日～9月14日)	
初級フランス語Ⅰ (〇)	令和4年度は非開講
英語 (Medical Discussion Ⅰ)	(スタウト)
初級中国語Ⅰ (館)	(共通)
哲学A (梶谷)	(共通)
医療人のための法学A (中島)	(共通)
医療と社会デザインA (坂元)	
フィットネスの理論と実技A (沢田)	※

【水曜 6限 16:45～17:55】

前 期 (4月13日～9月14日)	
初級ドイツ語Ⅰ (伊藤)	(共通)
英語 (Basic Listening Ⅰ)	(スタウト)
医療英語 (Medical English Ⅰ) (〇)	(共通) — 令和4年度は非開講
初級コリア語Ⅰ (朴)	(共通)
倫理学A (磯部)	(共通)
歴史学A (林)	(共通)
心理学A (大塚)	
医療人のための経済学A (栗沢)	(共通)
数学A (小野木)	
医学情報学 (佐藤) 2～4年	

後 期

【水曜 5限 15:20～16:30】

後 期 (9月21日～1月25日)	
初級フランス語Ⅱ (〇)	令和4年度は非開講
英語 (Medical Discussion Ⅱ)	(スタウト)
初級中国語Ⅱ (館)	(共通)
哲学B (梶谷)	(共通)
心理学B (宮脇)	
医療人のための法学B (中島)	(共通)
医療と社会デザインB (坂元)	
生物学 (後期) (石井)	
物理学 (後期) A (辻野)	
化学 (後期) (中村)	
フィットネスの理論と実技B (沢田)	※

【水曜 6限 16:45～17:55】

後 期 (9月21日～1月25日)	
初級ドイツ語Ⅱ (伊藤)	(共通)
英語 (Basic Listening Ⅱ)	(スタウト)
医療英語 (Medical English Ⅱ) (〇)	(共通) — 令和4年度は非開講
初級コリア語Ⅱ (朴)	(共通)
倫理学B (磯部)	(共通)
歴史学B (林)	(共通)
医療人のための経済学B (栗沢)	(共通)
数学B (小野木)	
物理学 (後期) B (辻野)	
食と栄養の科学 (松井)	

(共通) は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

<看護学部の開講科目>

【水曜 5限 15:15～16:25】

前 期 (4月13日～9月14日)	
文化人類学A (宍戸)	※ (共通)
女性とジェンダーA (平川)	※ (共通)

【水曜 5限 15:15～16:25】

後 期 (9月21日～1月25日)	
文化人類学B (宍戸)	※ (共通)
女性とジェンダーB (平川)	※ (共通)

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか1つしか履修できません。

VIII 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第1週	8/29 月	(講義) オリエンテーション セグメント8ガイダンス/ 講義・実習・TBL・CBT・ OSCEに向けての体調管理 (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋)(学生健康管理室 横田)	(講義) オリエンテーション クラスオリエンテーション (産婦人科学(産婦人科学分野)水主川)									
	8/30 火	(講義) 麻酔・周術期管理 科目の概要 麻酔概論 (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(1) オリエンテーション・便秘・下痢 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(2) 頭痛 (内科学(脳神経内科学分野) 飯嶋)	(講義) オリエンテーション P-SAT説明会 (生理学(分子細胞生理学分野) 三谷) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 野原)							
	8/31 水	(講義) 麻酔・周術期管理 静脈麻酔法 (麻酔科学(麻酔科学分野) 野原)	(講義) 麻酔・周術期管理 麻酔前の患者管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 濱田)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(3) 脱水 (総合診療科 佐藤)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(4) 発熱 (内科学(血液内科学分野) 志関)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(5) 咳・痰 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(6) リンパ節腫脹 (内科学(血液内科学分野) 志関)					
	9/1 木	(講義) 麻酔・周術期管理 ペインクリニックでの疼痛管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 笹川)	(講義) 麻酔・周術期管理 小児の麻酔管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 黒川)	(講義) 麻酔・周術期管理 侵襲医学の中の麻酔科学 (麻酔科学(麻酔科学分野) 土井)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(7) 体重減少・体重増加 (内科学(高血圧学分野) 森本)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(8) 貧血 (内科学(血液内科学分野) 志関)						
	9/2 金	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(9) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘍 (外科学(下部消化管外科学分野) 井上)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(10) 吐血・下血 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 小川)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(11) 浮腫 (内科学(腎臓内科学分野) 佐藤)	(講義) 麻酔・周術期管理 麻酔器と麻酔回路と気道の確保 (麻酔科学(麻酔科学分野) 神谷)	(講義) 麻酔・周術期管理 特殊疾患と麻酔 (麻酔科学(麻酔科学分野) 横川)	(講義) 救命救急医療 救急医学総論 (救急医学(救急医学分野) 矢口)					
9/3 土												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

303講義室

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第2週	9/5 月	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 基本的治療法	(講義) 基本的治療法	(講義) 国際コミュニケーション	(講義) 診療の基礎	(講義) 基本的治療法	(講義) 国際コミュニケーション	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	
		症候と病態・疾患(12) けいれん	症候と病態・疾患(13) 悪心・嘔吐	化学療法の基本理論	栄養の基本と病態栄養	History Takingの表現・演習	症候と病態・疾患(14) ショック	(内科学(脳神経内科学分野)丸山)	(内科学(消化器内科学分野)中村)	(化学療法・緩和ケア科学分野)出雲	(内科学(消化器内科学分野)小木曾)	(統合教育学修センター基礎教育学 Foo, Ying, 遠藤)	(救急医学(救急医学分野)矢口)
	9/6 火	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理	(講義) 麻酔・周術期管理
		麻酔後の患者管理	ICUでの重症患者管理	症候と病態・疾患(15) 月経異常	症候と病態・疾患(16) 食思(欲)不振	症候と病態・疾患(17) 全身倦怠感	症候と病態・疾患(18) 局所麻酔法	(麻酔科学(麻酔科学分野)石川)	(集中治療科 野村)	(産婦人科学(産婦人科学分野)中林)	(成人医学センター 岩崎)	(成人医学センター 岩崎)	(麻酔科学(麻酔科学分野)中澤)
	9/7 水	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療
		応急処置	心肺蘇生法	症候と病態・疾患(18) 嚥下困難・障害	症候と病態・疾患(19) 不安・抑うつ	前期 V-14	前期 VI-14	(救急医学(救急医学分野)武田)	(救急医学(救急医学分野)武田)	(消化器内視鏡科 岸野)	(精神医学(精神医学分野)赤穂)	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55
	9/8 木	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 診療の基礎	(講義) 診療の基礎	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療	(講義) 救命救急医療
		症候と病態・疾患(20) もの忘れ	症候と病態・疾患(21) 尿量・排尿の異常	救命医療の治療手技	中毒(1)	中毒(2)	(精神医学(精神医学分野)押淵)	(泌尿器科学(泌尿器科学分野)飯塚)	(救急医学(救急医学分野)久保田)	(救急医学(救急医学分野)並木)	(救急医学(救急医学分野)並木)	(救急医学(救急医学分野)並木)	(救急医学(救急医学分野)並木)
9/9 金	(講義) 基本的治療法	(講義) 救命救急医療	(講義) 基本的治療法	(実習) 「至誠と愛」の実践学修	(実習) 「至誠と愛」の実践学修	(実習) 「至誠と愛」の実践学修	基本的治療法	基本的治療法	基本的治療法	基本的治療法	基本的治療法	基本的治療法	
	放射線療法	集中治療医学総論	RI内用療法	行動科学(8)「行動変容の理論と技法」	行動科学(9)行動変容の理論と技法	(放射線医学(放射線腫瘍学分野)唐澤)	(救急医学(救急医学分野)矢口)	(画像診断学・核医学)金子)	(埼玉医科大学総合医療センター 小林)(精神医学(精神医学分野)井上、辻)	(埼玉医科大学総合医療センター 小林)(精神医学(精神医学分野)井上、辻)	(埼玉医科大学総合医療センター 小林)(精神医学(精神医学分野)井上、辻)	(埼玉医科大学総合医療センター 小林)(精神医学(精神医学分野)井上、辻)	
9/11 土													

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

303講義室

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45	
第3週	9/12月	(講義) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 行動科学(3)行動科学とは※配信 (統合教育学修センター基礎教育学 諏訪)	(講義) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 行動科学(4)保健医療行動と動機づけ※配信 (統合教育学修センター基礎教育学 諏訪)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(22) 血痰・咯血 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(23) 呼吸困難 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木)	(講義) 救命救急医療 急性呼吸不全 (集中治療科 野村)	(講義) 救命救急医療 敗血症と多臓器不全 (救急医学(救急医学分野) 矢口)
	9/13火	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(24) 発疹 (皮膚科学(皮膚科学分野) 石黒)	(講義) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 行動科学(5)「行動変容ステージと各種アプローチ」※配信 (統合教育学修センター基礎教育学 諏訪)	(講義) 救命救急医療 救急医療の診断学と症候学 (救急医学(救急医学分野) 久保田)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 チーム医療(14) TeamSTEPPS (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 加藤)(看護学部 吉武、國江)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 チーム医療(15) TeamSTEPPS (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 加藤)(看護学部 吉武、國江)	
	9/14水	(講義) 救命救急医療 救急医療に関わる法的問題 (法医学(法医学分野) 木林)	(講義) 救命救急医療 災害医学 (救急医学(救急医学分野) 武田)	(講義) 基本的治療法 心理的支持と精神症状への対応 (精神医学(精神医学分野) 赤穂)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(25) 腰背部痛① (内科学(消化器内科学分野) 担当者未定)	(選択科目)収録・配信 15:20~16:30 前期 V-15	(選択科目)収録・配信 16:45~17:55 前期 VI-15
	9/15木	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(26) 運動麻痺・筋力低下 (内科学(脳神経内科学分野)学 吉澤)	(講義) 診療の基礎 症候と病態・疾患(27) 胸痛 (内科学(循環器内科学分野) 佐藤)	(講義) 救命救急医療 ECMO (臨床工学科 市場)	(講義) 麻酔・周術期管理 吸入麻酔法 (麻酔科学(麻酔科学分野) 山本)	(講義) 麻酔・周術期管理 筋弛緩薬 (麻酔科学(麻酔科学分野) 津久井)	
	9/16金	(講義) 基本的治療法 手術療法(免疫療法を含む) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(講義) 基本的治療法 栄養評価と栄養管理 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 小川)	(講義) 基本的治療法 癌の疫学と予防 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 野原)	(講義) 国際コミュニケーション History Takingについての講義 (統合教育学修センター基礎教育学 Foo, Ying、遠藤)	(講義) 麻酔・周術期管理 麻酔中の呼吸・循環・代謝管理 (麻酔科学(麻酔科学分野) 原村)	(講義) 麻酔・周術期管理 麻酔に関する生理・薬理学的基礎 (麻酔科学(麻酔科学分野) 岩出)
	9/17土						

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第4週	9 /19 月	敬老の日											
	9 /20 火	(講義) 収録・配信 基本的治療法 集学的治療、癌治療の現状 (放射線医学(放射線腫瘍学分野) 小藤)	(講義) 収録・配信 基本的治療法 緩和ケア (化学療法・緩和ケア科 中島)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 症候と病態・疾患(28) 意識障害・失神 (内科学(脳神経内科学分野) 北川)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 症候と病態・疾患(29) 動悸 (内科学(循環器内科学分野) 柳下)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 症候と病態・疾患(30) 関節痛・関節腫脹 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 川口)							
	9 /21 水	(講義) 収録・配信 基本的治療法 癌治療に必要な分子生物学的基本 (薬理学(薬理学分野) 塚原)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 症候と病態・疾患(31) 胸水 (内科学(呼吸器内科学分野) 赤羽)	(講義) 収録・配信 救命救急医療 外傷学 (救急医学(救急医学分野) 武田)	(講義) 収録・配信 麻酔・周術期管理 周術期モニター (麻酔科学(麻酔科学分野) 長坂)	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-1	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-1						
	9 /22 木	(講義) 収録・配信 基本的治療法 臨床化学療法総論 (化学療法・緩和ケア科 倉持)	(講義) 収録・配信 国際コミュニケーション Medical Paper を読む (外科学(脳神経外科学分野) 平)(統合教育学修センター基礎教育学 遠藤)	(実習) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(2)ワークショップ (臨床研究推進センター 時田、佐藤)	(実習) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(3)ワークショップ (臨床研究推進センター 時田、佐藤)	(実習) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 臨床研究倫理(4)ワークショップ (臨床研究推進センター 時田、佐藤)	(実習) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修 チーム医療(16)ケーススタディ (内科学(消化器内科学分野) 徳重)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)(看護学部 吉武)						
	9 /23 金	秋分の日											
	9 /24 土												

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第5週	9/26 月	(講義) 収録・配信 オリエンテーション	(講義) 収録・配信 救命救急医療	(講義) 収録・配信 救命救急医療	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎
		TBL&入門型臨床実習II (担当者未定)	特殊救急 (救急医学(救急医学分野) 久保田)	腫瘍の病理・病態と発生要因 (病理診断学(病理診断学分野) 長嶋)	腫瘍の臨床的診断、緩和療法 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	医療安全(1)医療安全とチーム医療 (医療安全科)						
	9/27 火	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 基本的治療法
		血液製剤の取り扱い、適正輸血、輸血副作用 (輸血・細胞プロセッシング科 槍澤)	自己血輸血、成分採血、臓器移植と輸血 (輸血・細胞プロセッシング科 小林)	症候と病態・疾患(32) 血尿・タンパク尿 (内科学(腎臓内科学分野) 佐藤)	症候と病態・疾患(33) 外傷・熱傷 (救急医学(救急医学分野) 久保田)	医療安全(2)インシデント・アクシデントレポートと原因分析 (医療安全科)	リハビリの目的・方法、ADL、装具 (リハビリテーション科 若林)					
	9/28 水	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55		
	医療安全(3)ヒューマンエラー (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 加藤)	トータルペインの治療 (化学療法・緩和ケア科 中島(マ))	医療安全(4)ノンテクニカルスキル～KYT/team STEPPS～ (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 加藤)	症候と病態・疾患(34) 腰背部痛② (整形外科(整形外科分野) 岡崎)	後期 V-2	後期 V-2						
9/29 木	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 基本的治療法	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎					
	医療機器の種類と原理 (臨床工学科 亀井)	人工臓器の種類と原理 (臨床工学科 亀井)	症候と病態・疾患(35) 黄疸 (外科学(肝胆膵外科学分野) 有泉)	症候と病態・疾患(36) 腹痛 (外科学(肝胆膵外科学分野) 有泉)								
9/30 金	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 診療の基礎	(講義) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修	(実習) 収録・配信 「至誠と愛」の実践学修	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習II	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習II						
	症候と病態・疾患(37) めまい (内科学(脳神経内科学分野) 飯嶋)	症候と病態・疾患(38) 心停止 (内科学(循環器内科学分野) 嵐)	行動科学(6)ストレスと行動科学 (埼玉医科大学総合医療センター 小林)	行動科学(7)ストレスと行動科学 (埼玉医科大学総合医療センター 小林)	オリエンテーション1 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)(予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	オリエンテーション2 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)(予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)						
10/1 土												

	I		II		III		IV		V		VI	
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45
第6週	10/3 月	(試験) 麻酔・周術期管理(10:00～11:30)										
	10/4 火	(試験) 基本的治療法(10:00～11:30)										
	10/5 水	(試験) 救命救急医療(10:00～11:30)							(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-3	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-3		
	10/6 木	(試験) 診療の基礎(10:00～12:00)					(実習) 「至誠と愛」の実践学修 災害医療(2) 「Psychological First Aid」 <small>(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 大沼)(精神医学(精神医学分野) 末木)</small>	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 災害医療(3) 「Psychological First Aid」 <small>(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 大沼)(精神医学(精神医学分野) 末木)</small>	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 災害医療(4) 「Psychological First Aid」 <small>(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 大沼)(精神医学(精神医学分野) 末木)</small>			
	10/7 金	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ POMR演習1 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)		PC室1		(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題1		(TBL) 自己学修			
	10/8 土											

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

PC室1

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
10 / 10 月	スポーツの日					
10 / 11 火	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習1/フィードバック (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習2 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)	(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題2		(TBL) 自己学修
10 / 12 水	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習2フィードバック (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)		(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II 症例報告オリエンテーション (内科学(内分泌内科学分野) 大月) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-4	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-4
10 / 13 木	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II 症例報告演習1 (内科学(内分泌内科学分野) 大月) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II シミュレーション学修1 (静脈採血) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)		(実習) 収録・配信 入門型臨床実習 II 症例報告演習1フィードバック (内科学(内分泌内科学分野) 大月) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習 II 遺伝カウンセリング事前説明(配信講義) (ゲノム診療科 山本) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)
10 / 14 金	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習3/症例課題 (内科学(腎臓内科学分野) 佐藤) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題3		(TBL) 自己学修
10 / 15 土						

第7週

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

PC室1

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45	
第8週	10/17 月	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習3フィードバック/症例課題解説 (内科学(腎臓内科学分野) 佐藤) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習 II 薬物治療の安全確保と適正化 (薬剤部 木村)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習 II 医療安全啓発センター/チーム医療 (小児外科 世川)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 収録・配信 診療の基礎 EBM 情報の適応、診療行動の決定、フィードバック (外科学(内分泌外科学分野) 岡本)		
	10/18 火	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習4 (予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00~15:40 課題4		(TBL) 自己学修	
	10/19 水	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II 症例課題 (予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習 II POMR演習4フィードバック/症例課題解説 (予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(選択科目)収録・配信 15:20~16:30 後期 V-5	(選択科目)収録・配信 16:45~17:55 後期 V-5	
	10/20 木	10 女子医大祭の準備					
	10/21 金	10 女子医大祭					
10/22 土	10 女子医大祭						

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

PC室1

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第9週	10/24 月	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ シミュレーション学修2 (手術時手洗い・ガウンテクニック) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 診療参加型臨床実習のための放射線安全講習会 (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(実習) 収録・配信 入門型臨床実習Ⅱ 電子カルテ、医療情報の取り扱い、個人情報の保護 (精神医学(精神医学分野) 西村)(統合教育学修センター 基礎科学 佐藤)(医療記録管理室 櫻井)	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習Ⅱ 電子カルテシステム (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)
	10/25 火	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 入院時診察演習 (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)	(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題5		(TBL) 自己学修
	10/26 水	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ シミュレーション学修1・2課題解説 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(実習) Zoomで参加 入門型臨床実習Ⅱ 遺伝カウンセリング 全体説明 (ゲノム診療科 山本)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) Zoomで参加 入門型臨床実習Ⅱ 遺伝カウンセリング 実演① (ゲノム診療科 山本)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-6	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-6
	10/27 木	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 診察演習課題 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野) 田中)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(1) オリエンテーション・POMR (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(2) 全身状態・バイタルサイン (内科学(高血圧学分野) 森本)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(3) 基本的臨床手技① 速乾性アルコールによる手指消毒、滅菌手袋の装着と廃棄、消毒と滅菌、清潔と不潔の概念 (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(4) 頭頸部 (耳鼻咽喉科学(耳鼻咽喉科学分野) 山村)
	10/28 金	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 診察演習課題 (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷、辻)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(TBL) 自己学修	(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題6		(TBL) 自己学修
	10/29 土					

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

PC室1

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第10週	10/31	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ POMR演習5 (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷、赤羽) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(実習) 収録・配信 入門型臨床実習Ⅱ 診療参加型臨床実習に向けて (医療安全科 寺崎) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(講義) 収録・配信 診療の基礎 診療の基礎 診察法・診断法(5) 基本的臨床手技④ 静脈採血 (内科学(高血圧学分野) 森本)		(講義) 収録・配信 診療の基礎 診療の基礎 診察法・診断法(6) 医療面接① (内科学(血液内科学分野) 志関)	
	11/1	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 症例課題 (内科学(呼吸器内科学分野) 八木、赤羽) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(TBL) 自己学修		(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題7				(TBL) 自己学修	
	11/2	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ POMR演習5フィードバック/症例課題解説 (内科学(呼吸器内科学分野) 桂、有村)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 遺伝カウンセリング実演② (ゲノム診療科 山本)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-7		(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-7	
	11/3	文化の日											
	11/4	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 症例報告演習2 (内科学(内分泌内科学分野) 大月) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)				(TBL) 自己学修		(TBL) 自宅からZoomで参加 14:00～15:40 課題8				(TBL) 自己学修	
	11/5												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

PC室1

	I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第11週	11/7 月	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 症例報告演習2フィードバック/症例解説 (内科学(内分泌内科学分野) 大月) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(実習) 収録・配信 入門型臨床実習Ⅱ 感染予防と感染制御 (感染制御科 満田) (統合教育学修センター基礎科学 佐藤)		(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(7) 胸部(肺) (内科学(呼吸器内科学分野) 八木)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(8) 胸部(心臓) (内科学(循環器内科学分野) 高木)
	11/8 火	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ シミュレーション学修3(PPE着脱) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)	(PCR検査日)			
	11/9 水	(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ シミュレーション学修4(縫合) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)		(実習) 自宅から参加 入門型臨床実習Ⅱ 入門型臨床実習まとめ (内科学(糖尿病・代謝内科学分野) 中神)(予防医学科 西井)(統合教育学修センター基礎科学 佐藤)	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-7	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-7
	11/10 木	(追・再試験) 大実習室3 麻酔・周術期管理(10:00～11:30)		(追・再試験) 大実習室3 基本的治療法(13:00～14:30)		(追・再試験) 大実習室3 救命救急医療(15:00～16:30)
	11/11 金	(試験) PC室1, 大実習室3 P-SAT(9:00～12:00) PC室1(出席番号1～58) 大実習室3(出席番号59～115)		(追・再試験) 大実習室3 診療の基礎(14:00～16:00)		
	11/12 土					

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第 12 週	11 / 14 月	(実習) 臨床基礎実習 放射線診断演習オリエンテーション 大実習室3 (出席番号 1~58) (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)	大実習室3	(実習) 臨床基礎実習 放射線診断演習オリエンテーション 大実習室3 (出席番号 59~115) (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)	大実習室3	(実習) 臨床基礎実習 臨床基礎実習オリエンテーション (臨床検査科 佐藤)	203講義室
	11 / 15 火	(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習	
	11 / 16 水	(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習		(選択科目)収録・配信 15:20~16:30 後期 V-8	(選択科目)収録・配信 16:45~17:55 後期 V-8
	11 / 17 木	(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習	
	11 / 18 金	(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習		(実習) 臨床基礎実習	
	11 / 19 土						

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 13 週	11 / 21 月	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 22 火	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 23 水	11 勤労感謝の日											
	11 / 24 木	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 25 金	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 26 土												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 14 週	11 / 28 月	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 29 火	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	11 / 30 水	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-10		(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-10	
	12 / 1 木	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	12 / 2 金	(講義) PC室1 オリエンテーション CBT事前体験 出席番号 1～58 (生理学(分子細胞生理学分野) 三谷) (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤)	(講義) PC室1 オリエンテーション CBT事前体験 出席番号 59～115 (生理学(分子細胞生理学分野) 三谷) (微生物学免疫学(微生物学免疫学分野) 柳澤)	(講義) 203講義室 国際コミュニケーション English Medical Interview (総括) (統合教育学修センター基礎教育学 Foo, Ying、遠藤)	(講義) 203講義室 国際コミュニケーション English Medical Interview (演習) (統合教育学修センター基礎教育学 Foo, Ying、遠藤)	(講義) 203講義室 診療の基礎 診察法・診断法(9) オリエンテーション (OSCE・小グループ実習) (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)(予防医学科 村崎)	(講義) 203講義室 診療の基礎 診察法・診断法(10) 基本的臨床手技②手術時手洗い・ガウンテクニック (外科学(炎症性腸疾患外科学分野) 板橋)(泌尿器科学(泌尿器科学分野) 飯塚)						
12 / 3 土													

		I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第15週	12/5 月	(創立記念日)					
	12/6 火		(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(11) 腹部 (外科学(肝胆膵外科学分野) 有泉)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(12) 神経・四肢① (内科学(脳神経内科学分野) 飯嶋)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(13) 神経・四肢② (内科学(脳神経内科学分野) 飯嶋)		(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(14) 四肢脊柱 (整形外科学(整形外科学分野) 岡崎)
	12/7 水		(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(15) 基本的臨床手技③手指消毒・衛生的手洗い/PPE(個人防護具)の着脱・廃棄 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 飯塚)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(16) 医療面接② (内科学(血液内科学分野) 志関)	(講義) 収録・配信 診療の基礎 診察法・診断法(17) 救急蘇生 (救急医学(救急医学分野) 久保田)	(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-11	(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-11
	12/8 木						
	12/9 金	(試験) CBT(ブロック 1～2) (9:00～12:00) 出席番号 1～58	PC室1		(試験) CBT(ブロック 3～7) (12:50～17:30) 出席番号 1～58	PC室1	
	12/10 土	(試験) CBT(ブロック 1～2) (9:00～12:00) 出席番号 59～115	PC室1		(試験) CBT(ブロック 3～7) (12:50～17:30) 出席番号 59～115	PC室1	

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第 17 週	1 / 2 月	冬季休業											
	1 / 3 火	冬季休業											
	1 / 4 水	冬季休業											
	1 / 5 木	PCR検査											
	1 / 6 金												
	1 / 7 土												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I 09:00	10:10	II 10:25	11:35	III 12:30	13:40	IV 13:55	15:05	V 15:15	16:25	VI 16:35	17:45
第18週	1 / 9 月	成人の日											
	1 / 10 火	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習
	1 / 11 水	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習
		(追・再試験) P-SAT 追・再試験 (9:00~12:00) (PC室 1)								(選択科目)収録・配信 15:20~16:30 後期 V-12	(選択科目)収録・配信 16:45~17:55 後期 V-12		
	1 / 12 木	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習
	1 / 13 金	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習	(実習) 診療の基礎 内科系・外科系各科実習
	1 / 14 土												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I 09:00 10:10		II 10:25 11:35		III 12:30 13:40		IV 13:55 15:05		V 15:15 16:25		VI 16:35 17:45	
第19週	1 / 16 月	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
		(実習) 収録・配信 臨床基礎実習 CPCオリエンテーション (病理学(病態神経科学分野) 増井)		/									
	1 / 17 火	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	1 / 18 水	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(選択科目)収録・配信 15:20～16:30 後期 V-14		(選択科目)収録・配信 16:45～17:55 後期 V-14	
	1 / 19 木	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	1 / 20 金												
	1 / 21 土	(試験) OSCE(8:30～17:00)											

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第20週	1 / 23 月	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	1 / 24 火	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	1 / 25 水	(追・再試験) CBT追・再試験(ブロック 1~2) (9:00~12:00)				(追・再試験) CBT追・再試験(ブロック 3~7) (12:50~17:30)							
		/		/		/		/		(選択科目)収録・配信 15:20~16:30 後期 V-15	(選択科目)収録・配信 16:45~17:55 後期 V-15		
	1 / 26 木	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習			
	1 / 27 金	(実習) 臨床基礎実習				(実習) 臨床基礎実習 自己学修		(試験) 臨床基礎実習 203講義室 CPC試験		(講義) オリエンテーション 203講義室 セグメント9臨床実習前 オリエンテーション (内科学(膠原病リウマチ 内科学分野) 針谷)(臨 床検査科 佐藤)(予防医 学科 西井)		(講義) オリエンテーション 203講義室 Student Doctor証用写 真撮影 (予防医学科 西井)	
	1 / 28 土												

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 21 週	1 / 30 月	(実習) 入門型臨床実習 II				
	1 / 31 火	(実習) 入門型臨床実習 II				
	2 / 1 水	(実習) 入門型臨床実習 II				
	2 / 2 木	(実習) 入門型臨床実習 II				
	2 / 3 金	(実習) 入門型臨床実習 II				
	2 / 4 土					

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I 09:00 10:10	II 10:25 11:35	III 12:30 13:40	IV 13:55 15:05	V 15:15 16:25	VI 16:35 17:45
第 22 週	2 / 6 月	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 7 火	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 8 水	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 9 木	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 10 金	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 11 土	2 建国記念の日					

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I		II		III		IV		V		VI		
	09:00	10:10	10:25	11:35	12:30	13:40	13:55	15:05	15:15	16:25	16:35	17:45	
第 23 週	2 / 13 月	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	
	2 / 14 火	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	
	2 / 15 水	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	
	2 / 16 木	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	
	2 / 17 金	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	(実習) 入門型臨床実習 II	
		(追・再試験) CBT 追・再試験(ブロック 1~2) (9:00~12:00)			(追・再試験) CBT 追・再試験(ブロック 3~7) (12:50~17:30)								
	2 / 18 土	(追・再試験) OSCE(8:30~17:00)											

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 24 週	2 / 20 月	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 21 火	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 22 水	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 23 木	天皇誕生日					
	2 / 24 金	(実習) 入門型臨床実習 II					
	2 / 25 土						

令和4年度 Segment8 講義・実習時間割表

	I	II	III	IV	V	VI
	09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第 25 週	2 / 27 月	(実習) 入門型臨床実習 II				
	2 / 28 火	(実習) 入門型臨床実習 II				
	3 / 1 水	(実習) 入門型臨床実習 II				
	3 / 2 木	(実習) 入門型臨床実習 II				
	3 / 3 金	(実習) 入門型臨床実習 II				
	3 / 4 土					